

11月29日 土曜日

松下春江

奈良公園・東大寺

8C平安文化の繁栄に伴う仏教文化をつぶさにみる

歩きのコースから始まって12月4日午後5時40分新横浜に帰着するまでの見学する場所をていねいに説明していただいた。JICAの江崎さんも出席しておられた。

○久保谷団長さんより歌舞伎観覧券を各自いただいた。

2時限 金平先生

朗読詩「子供たちへの物語」教材を新たに頂く。各自朗読する箇所をきめてしばらく練習してそれから一斉に朗読した。

私たち自身の練習だけでなく、実際指導する時に、起・承・転の部分に気を付けて、美しくかなしく印象深くあつかうのが演出の要点であること。結の部分は十分に余韻が残るようになど指導上のポイントを教えていただいた。

○又、紙芝居を読んできかせる時も表情や動きが感じられるような読み方を工夫することが大切だと改めて考えさせられた。紙芝居「たつのこことろう」のはじめの部分を久保谷さんと藤井さんが指名されて、表情を工夫して読んだ。

大変よく工夫して読んでくれました。

3時限 2時～3時 中学部部長さんの話

玉川学園中学部の年中行事の説明

12月23日中学部のクリスマス礼拝が例年通り行なわれる希望者は出席するよう招待された。

冬休み中一部の生徒はスキー学校

寒、武道……身体をきたえる。

行事を通して情緒的、生活指導面からも重点的に力を入れている。

部長先生より現地の教育に関していくらかの質問が提起され日本語だけでなく生活指導の面も考えさせられた。

○玉川学園の体育祭 音楽祭のビデオをいただいた。

4時限 なし

11月20日 木曜日

松下春江

1時限 正善先生

子どものための日本語教育

うたによる教育は非常によい

(1)ゴンベさんの赤ちゃん

(2)オーケストラ

(3)「きずついた はと」劇(正善達造作)の実習

配役をきめて読み方の練習から始めた。ムーブメント(動作表現)創造力をつかってことばに情感がこもることが大切である。一息きたことば

この息きたことばを学習するために劇は最適である。実際に台本を読みながら、生徒に指導する大切なポイントを具体的に説明していただきよい勉強になった。

○城田志津子さん(本邦研修生AコースOB)がサンパウロ日本語普及センターの機関誌「虹」に投稿された「楽しいごっこ遊び」の抜粋が紹介された。

本邦研修で研修したことは、直ちに活用されるものもあれば日が過ぎて活用されるものもある。又その教師の受け取り方次第でもある、と述べている。

2時限 片山先生 日本語学

先週の質問に答えて

①親を手伝う

②親に手伝う

どちらが正しいと結論されない。実際にどう使っているかということからどつとも使える、ということ。但し、使い方のちがいはある。

本日のテーマ 「敬語」について

敬語はふつう尊敬語、謙譲語、丁寧語の三種類に分けられる。しかし、現代では、丁寧語を丁寧語と美化語の二つに分けて、都合四種類に分ける。

敬語目上の人や相手を敬って使うことばで日本語の特色の一つである。話す相手によってまた、その場の様子によって使い方がそれぞれ違うのでむずかしくてめんどうだといわれている。しかし、人にこころよい感じを与えるためのことばづかいであるから敬語の基本的な形を正しく理解しておく必要がある。

正しい敬語の使い方はむずかしいもので、終り頃の30分間は、みんなから、白頭疑問に思っていることがらの質問が出され、教えていただいた。

例 ○○○様 と○○○殿の使いわけ

自分の学校(園)の校長(園長)を校長又は園長と言うとき、学校社会の場合

○○先生と呼びあう

生徒の呼び方

○○○くん ○○さん

実事現地では敬語の指導をするのがむずかしい。

3時限 長野先生 日本語教授法

要点をまとめる。 要点→要約→要旨

一つの段落のうちに例と結論がある。

段落ごとに要点をまとめたり段落相互の関係をおさえたりしながら説明されていることがらを正確に読みとることが大切。

「動物のへんそう」を実際に読んで段落ごとの要点をまとめる作業をしたがむずかしいと思った。日頃は、生徒にさせて自分ではいいかげんにしていた怠慢をはずかしく思う。

4時限 なし

11月21日 金曜日

松下 春江

高橋靖直先生 教師の役割

教育は、人類の文化遺産を教師が受けついでそれを子どもに伝える重要な意味をもっている。

コンピューター・マスメディア・テレビの発達普及に伴い効率的な学習は確かに高められている。そこでマスメディアが発達したら教師（人間）はいらないのか。答えは「NO」である。

人間教師はぜひ必要

face to face の学習。生きた人間が交流し合い子供の反応をつかみ、子供たちはなまの大人をみて成長していく。

人との出会い人との交わりその時間が人生だ。教師は、大人は、親は、人生そのものという考え方でそこで教師は、子供を心理的哲学的に理解し、どのようにかかわっていくかということに心がける。

又文化遺産を正しく理解し、手助けする。学習を成立させるための知識と技術の向上が求められる。

先生と生徒の人間関係を充実し、望ましいものにするために教師がたえず意識しておかなければならない重要な点がある。

1) 信頼される

知識の信頼されるための条件の一つ。しかし、その外に人間的な大切なものがある。子供一人ひとりを大切にする。教育に対する情熱を失わないこと。

2) 努力する。

たえず努力する。現代は無条件で信頼されない時代になっている。

3) 人間（人生）の価値観

人生をどのように生きているか、何を大事に生きているか。「一人ひとりを生かす」口で言うのはやさしいがむずかしい。お金、地位などを大事にする日本の社会の大きな波にのみこまれないようにしたい。一人ひとりの子どもが価値ある人間だ。各々ががっている。緊張の中で教育することが求められている。

宮沢賢治の詩「雨ニモマケズ」をながおかのりこ朗読できく。

高橋靖直先生のことば（おくることば）

教育の花はさく庭をえらばず

朗読をきいて……その人の生き方、経験、生活があらわれる。私たち教師も教育にたずさわる者として、えりをただす思いにせまられた。

子供たちに奉仕するよるこび日本語教育を通して人間を育てるという尊い使命に新たな決意を胸に秘めて……

とてもいい話をきかせていただき研修生ひとりひとり以前にも増して情熱をもって励みたい所存です。

2時限 長野先生 授業演習

小学6年 国語学習参観 担当 脇 恵先生

単元名「短歌を味わう」

生徒は短歌をよくおぼえ朗読していた。声優の朗読をカセットテープできいて、そのあとに朗読した生徒たちは、やはり前よりも感情をこめて朗読していた。

百人一首を使ってかるたとりをした。私たちもいっしょに読んだりとったりして、楽しい授業だった。

3時限 永井先生 体操 於多目的ホール

音楽で、歩いたりとんだり優雅な動作をしたり、リズムによって久しぶりに学生に戻った気分で楽しく学習した。又姿勢を正しく美しくする運動を習い毎日短時間ずつするように、とすすめられた。

4時限 高橋靖先生

幼児と環境との関わりについて

日本の幼児をとりまく環境

情・意の目に見えない部分の教育をおろそかにしている感がある中学生、高校生では、家の中でテレビをみたりゲーム遊び勉強などして家の中で遊ぶ子供が多い(96%)。

物がありすぎて大事な心の部分をおしつぶしている。

親子のふれあいが日本の子どもは少ない。保育所育ち問題のある家庭がふえている。

確かに昔も農村や漁村で働いていた母親があった。学力的には低いかもしれないが、正しく育てるための知恵があった。

8才までに育てられる環境によって、子どもの感情は一生を左右するといわれている。

終了後全15名、新宿の東京厚生年金会館へ行く。

玉川学園 演奏会 「第九」の鑑賞

各指揮者の熱演もさることながら、玉川大学生のプロを凌ぐほどのすばらしい演奏をきいて、感激も一人でした。

どうもありがとうございました。

本日（11月21日金曜日）をもって本厚木のホテルから横浜の移住センターに宿を移す。

11月22日 土曜日

松下春江

午前11時より 4時 Aコース全15名

東銀座の歌舞伎座に於いて、歌舞伎鑑賞

1. 新薄雪物語（三幕）
2. 二人椀久

はじめて歌舞伎をみる機会を得た人も多くありがたく思います。日本の文化にふれ口には表現できないほどの日本情緒、日本人の感覚を再認識したように思います。

日本文化の伝達のためにも益々日本語教育の使命を感じ努力したい所存です。ありがとうございました。

11月25日 火曜日 晴

新井慶子

11月10日から21日まで私達Aコース研修生は、本厚木シティホテル玉川学園まで通わせていただき電車の乗りかえもなく時間的にもとってもらくでした。21日授業が終わり全員新宿厚生年金会館での玉川大学“第九”の演奏会を聞きにいき、すばらしい演奏に皆感激して帰ってきました。センターに着いたのが夜11時、本厚木から送った荷物を受け取り、それぞれの部屋まで中古味さん、鍋山さんや開発青年の方に手伝っていただき運びました。私と楠本さん、久保谷さん吉田さん、中古味さん、鍋山さんの部屋が又変わっていました。

300号の鍵を受け取り、お部屋に入ったとたんにはこの臭気で頭が痛くなり、夜中1時頃まで窓を開け掃除をしましたが、臭気は消えず疲れてくたくたになって休みました。朝方鼻つまりとどの痛みで目が覚め、咳も出て来て、学校に行けるかと心配しましたが、なんとか頑張って出掛けました。

朝出掛ける時、山本総務課長さんにお逢いしたので部屋の臭気を消す方法がないでしょうかとお話した所、学校から帰って部屋に入るととても良いにはいがして たばこのいやなくさみは大分うすれておりました。すぐに私の希望を実行して下さいまして本当にありがとうございました。

11月23日（日）24日（月）と二日休みが続く外泊している方も多くセンター内はとても静かでした。

今日（25日火）は、第二時限の授業があると思い全員玉川学園に行きましたが、授業はなく、第三時限、第四時限が長野先生の講義とのことで、それぞれ 購買部に行く人、早めに食事をする人、図書室に行ったりしてすごしました。

第三時限 Aコースのみ 長野先生

第四時限 A、Bコース合同 長野先生

今まで長野先生がして下さった講義の復習の意味で、OHPを使ってくわしく説明して下さいました。

「プログラム学習の原理」「学習形態」「学習の進め方」「人間の言葉」「教師の資格」について。特に教師は自己の人格、能力、技術についての認識を持つこと、良い教師になるためには、毎日毎時間の自己の反省が必要であると述べられ、反省のない教師は子供に好かれる教師になれない、教育愛をいかに表現するかは、一日一日の指導技術しかないと、「指導技術」の体系、「授業展開」の技術と四時半までビッシリ講義して下さいました。

長野先生の講義を聞いて、子供一人一人の性格を見ぬき落ちこぼれをなくするのが教師として一番大事な役目で、子供の成績の良し悪しは、すべて教師の責任であると云われましたが、この研修でとても身にしみて考えさせられた言葉でした。

夜は、センターで書道があり、「静」という1字を大きく書いて掛け軸を作る準備をしました。皆とても良い字を書けていました。掛け軸が出来るのが楽しみです。

11月26日 水曜日 晴れ

柿本ソメ

本厚木シティホテルから帰って今日で四日ここ二ヶ月の間に五回にわたる引っ越しをした。今日も玉川から帰る夜、開発青年の方達とブラジルの教育について話し合った。

其の後 今日宿題である短歌をおわって日記を書いている夜中1時半、引っ越のたびに教材を箱づめのためいざ教材が必要になると箱をひっくりかえしてのおおそうどう、本厚木から帰って三百号室に入れて頂いたが、びっくり息がつまりそうであった。又夜になるとデントウが暗いので目をこすりながら本を読んだり書いたりである。OHPの宿題の時などは、ゆかにうづくまりふんとうして作った。

一時限 ナシ

二時限 大竹先生心理学 Aのみ

6 学習面の問題

1 発達段階

2 感覚運動段階

1 発達段階

2 感覚運動段階

1 動機づけ

統合的動機づけなど

第三時限

金平先生 Aのみ

最後の授業とあって15名皆一生懸命に短歌を作った。先生が一人一人手を取るように教えて下さり今まで一度も短歌を作らなかった方も二つの歌ができ友々によるこでいる。又金平先生は明るくなごやかな教えを通して短歌のすばらしさを話して下さり今後もつづけて作ってほしいむねをのべた。楽しい1時間半があつと云う間にすぎさいごに皆一緒に写真におさまりサヨウナラをした。

11月27日 木曜日 晴

吉田 オラシオ

今朝九時センター出た。

今までに最高に寒さを感じた。冷たい風が顔を硬直させた。

今日もAコースの研修を全員寒さにもめげず、元気で出席した。

玉川での研修も明日は終了式となる。

名残り惜しい思いがするが…。

Aコースの研修生全員は、一生けんめい頑張り通したので思い残すことはないのは同感であろう。

今日の1時限目 ナシ

2時限目は幼児部の本田先生(A、Bコース)

幼児部の児童と共に「手つなぎおにごっこ」

棒を使ってのゲーム等、たまに幼な心になり、楽しい一時を過ぎた。

3時限目 幼児部の高橋先生

講義の要旨

○大自然の中で情緒豊かな精神と健全なる身体の育成

○幼なき日に自分のつくり主を覚えよ

○謙遜な心、自律心、規律正しい児童の育成。

4時限目は上原先生の講義

日本語の音声は感覚なり

11月28日 金曜日 曇

久保谷 信治

修了式の日、Aコース全員出席

1時限目は長野先生による。O、H、Pの使い方について学んだ。Aコースの先生の作品を、先生

たちの実演による発表は、たいへん面白くまた良い勉強になった。

2時限目は長野先生と、玉川の大学A・Bコース全員会議室に集って懇談会。

3時より、玉川大学終了式をカフェテリアの一部をしきって、行われた。

思えば、本当に短い二ヶ月だった。

式のあとの懇談会で、先生たちは研修生から写真とあく手ぜめに合った。

移住センターに帰って、最後の書道の時間7時半にはじめて、終わったら9時半であった。神山先生
ゴク로우サマ。

明日は関西研修旅行楽しみである。

11月29日 土曜日

鍋山儀典

前夜、気が高ぶって眠れず。同室の中古味先生も同様。語り合ううちに3時になりぬ。

しかし、あら不思議。二人とも6時にごそごと起き出し、急ぎ旅支度をととのえ、いざ行かん、関西へ。

だれかさんとだれかさんが、あやうく別の列車につれられて乗車するところを救助されるハプニングで修学旅行は始まった。定刻どおり0842に新幹線ひかり361号は新横浜駅をあとにする。富士の山頂あたりは雲で見えず。景色として、やはり海岸線が最高だと思うが(パラグアイには海がないからよけいにそう感じる。)山が見えるのもいい。浜名湖が美しかった。

京都より近鉄で奈良へ。出されたおしぼりで国鉄の汚れをふきとり、昼食のおすしを味わいながら30分で奈良到着。ホテルフジタ奈良に荷物を置き、徒歩で東大寺に向かう。

南大門の金剛力士像に再会し、大仏殿の大仏様を拝む。23年前に見た時は「でっけえあな」と思ったが、今回の印象は、なんだか以前のより小さくなって、「大仏様もお年を召したね。」といった感じ。

二月堂の回廊をいっきにかけて上がり、そのお堂より奈良の街を見る。三月堂の観音様、日光・月光菩薩像などを拝み、春日大社を抜け、若草山のふもとを歩き、新薬師寺の薬師如来像、十二神将像を拝む。

11月30日 日曜日 晴

代筆

関西旅行 20日 奈良 フジタホテル

7時45分ロビー集合8時バス出発 法隆寺・中宮寺・薬師寺へ、ここで昼食 午後唐招提寺-秋篠寺-興福寺国宝館を見学ここからホテルへ徒歩で軒並ぶ土産店に見とれながら16時にたどりついた。

12月1日 月曜日 晴

上村スマ

この日は9時フジタホテルを出発し京都へ向かう。

○岩船寺では本堂の工事が行われており仏像高さ3メートルもあるという古代の像を見ることが出来た。他の仏像は隣の家の中に一時移されていたため座敷に上りお坊さんの説明を聞きお茶をいただいて後にした。

○浄瑠璃寺へ徒歩で向う途中農家の人が旅する人への思いやりをこめた主なき出店に目をうばわれあれこれと新鮮な食べ物を買って石地蔵のある場所は修業に入った坊さんのお寺の跡ということで深い谷あいの静かな小道を落葉を踏みならしながら平等院にたどり着きここで昼食、午後は醍醐寺三寶院を見学16時京都東急ホテルにたどりついた。

古都奈良から京都の名所めぐりも観光バスまた徒歩でとたのしい3日間を迎え Aコース15名、Bコース11名 研修生は名勝地の景色や料理を味わいながら、7、8名世紀の建物、仏像を見ることが出来、その上専門科の瀬山先生の御説明を受け大変有意義な関西旅行となり海外で日本語の指導に当たっております私達の知っておかねばならないあらゆる日本の文化をこの旅行で体得出来る事業団、玉川学園へ感謝の念で一杯です。

それぞれのお寺の絵はがきを買って記念写真を撮り道々拾った紅葉を押し葉にしブラジルの児童へ日本の歴史や文化を伝えるものと残る見学旅行 胸ふくらまで明日の活力を得るに京都での第一夜に感謝で眠る。

12月2日 火曜日

水沢京子

朝9時ホテル出発、スケジュールを変更して、神護寺に向かう。右手に大文字を見ながら進む。昔は御所より京のすべてが見えていたと、ガイドが云っていた。

ならびケ岡が一の岡、二の岡、三の岡とみえる。この二の岡で吉田兼行が徒々草を書いたという。

「つれづれなるままに、日暮し靨に向いて、心に浮ぶよしなし事を、そこはかたなく書きつづれば…」高校時代にならった徒々草を思い出す。高雄神護寺より梶尾高山寺へ

石水院には、葉師如来像や、鳥獣戯画などがある。

350 段の石段をあがるのに汗をかいた。また同じ石段をおりてバスへ。

ここは、もみじのてんぷらと北山杉の産地。鬱蒼と繁って幽玄境の感じ。ここは小泉八雲が小説にえがいた地だという。今日は幸い上天気だが、例年であれば、霞がかかってもっとうす暗い場所だという。こういう自然の風景は南米大陸では、ぜったいに見られぬものである。ブラジルの子供達にこれをどのように伝えればいいのか。人間の精神面には、風土は大いに影響があると思うけれど南米のかわいた大地に育った若者達に、この日本をどうやって説明してやったらいいのか。華やかさは無いが、この何とも云えぬ、ため息の得るような奥ふかい美しさを見る事の出来ない人達は、かわいそ

うだと思う。

又、この同じ道を歩いている人間でも感受性の違いによって受け取り方がさまざまだろうと思った。高い北山杉をみて、この杉は何千年ここに立って人間達を見下ろしているのだろうと思った。バスは嵐山へ。途中バスは丸太町通をとおる。ここは昔、樹尾の北山杉を切り出してここまで運んできた場所だという。

11時40分嵐山着。渡月橋を渡って12時まで川岸で遊ぶ。

渡月亭で昼食。すごい会席料理で始めはみんな食べていたけれど、途中からこれは大変だと思って少しづつ残し、そのかわり、全部の料理の味をみる事にした。食後、又、写真を撮ったり風景をながめたりしたが、残念ながら、紅葉はもう落ちていた。1時20分バスで龍安寺へ、ここでは有名なとらの子渡しの石庭をみる。

15個の石がならべてあるが、14個しかかぞえられないと云う。私は数えなかった。禅ではこれを宇宙を表わしているといわれているが、普通の人はただいいなあと思って見ればいいのですよ、と瀬山先生が私に云われた。

又、裏庭に日本最古の佗助椿や「吾れ、唯足ることを知る」とほった石を見る。2時半龍安寺出発、残念ながら、時間がないので大徳寺はカット、二條城へ。

1603年家康の居城として築城されてから徳川慶喜が太政奉還するまでの歴史をみてきた城かと思うと感慨深かった。

ずいぶん色々考えた一日だった。

12月3日 水曜日

藤井美智子

今日も天候に恵まれて、最高の旅日和り、コースは、東寺から三十三間堂、清水寺、ここ清水願正にて昼食、名物豆腐料理に舌つづみ、午後は、徒歩で平安神宮へ、旅も5日間、徒歩で40分はさすがに疲れた。東寺では五重の塔の内部を拝観できて幸運であった。三十三間堂では、有志数名で瓦を寄贈、サインをして良い、記念を残すことができた。この日は行く先々で修学旅行の高校生の一団と一緒に、30年前の我が姿と重ね感慨も一入。

平安神宮から、ホテルまでタクシーに分乗して4.00帰省、一息ついて夜は、東山ドライブウェイを通過して、途中、美しい京都の夜景を楽しみ現代っ子ガイドさんの愉快的説明を聞きながら、菖蒲園にての夕食に向かう。この夜は旅行最後の夜、お座敷にて記念撮影等もして9.00にはホテルに帰り着く、最後の夜、このまま寝につくのは惜しく、一部屋に集まって、若りし頃の思い出話を披露したり一日の疲れもどこへやら、話が弾んで、時間も忘れる程。

この楽しい旅行も、一重に事業団の皆様のお蔭と感謝。

Aコース全員、これを縁にそれぞれの国に帰っても交流を忘れず、3年每位には集まって、この日の

ような楽しい一刻を過ごしましょうと誓いあう、素晴らしい15名の兄弟姉妹達いつまでも元気に頑張ろう!

12月4日 木曜日 晴

宮田好江

5泊6日の関西研修旅行も最後の日となりすばらしいホテルに別れをつけ9時バスに乗り込みました。

今日のコースは初めに円通寺

比叡山を借景にした庭園だそうで畳に正座してみる庭の静けさ又前方に見える比叡山厳かな感がありました。

次に行ったのが、京都 大原 三千院 歌にもなっている所です。写経をしないと中を廻れないと言う事で皆一生懸命に机に向かっていました。

極楽往生を願う人々の信仰を集めた所だそうです。

芹生茶屋にて昼食 三段重のしゃれたお弁当で器の可愛らしさに持って帰りたいと思ったのは私だけでしょうか。?

昼食後バスに乗り15分位で詩仙堂着

瀬山先生のお言葉 きれいな庭ですから存分に見学をという事で用意されているゾウリで庭におりました。

池の鯉と戯れ紅葉したもみじの下で写真を撮りシンオドンにびっくりし思う存分楽しみました。

バスで京都駅へ向い3時11分の新幹線で帰路につきました。

往路では良く見えなかった富士山がくっきりととてもきれいでした。

一千年以前にあの様な建築物が作られたという事ですが、信じられない気持ちです、又 この庭園も手入れがゆきとどいているのに感心しました。

瀬山先生 江崎さんおつかれ様でした。

すばらしい旅をありがとうございました。

12月5日 金曜日 晴

千田由紀

楽しかった関西旅行も あっと言う間に終り、今日はセンターで 授業がありました。

午前中 石井 和夫先生に、レクリエーションの指導を受けました。教育の原点についての講義を受け子供の環境は家庭、学校や社会であり、その中に起こる問題を取り入れてくださいました。

遊ぶ事によって創造性が養われ、今の子供は遊ぶ事が出来なくなっている。授業中でも集中しない子にどんな事を教えても覚えぬい そのため教師は生徒を引きつける手段を知っておかなければと、ゲ

ーム、指遊び 歌と共に身体を動かす遊びなどを教えてもらいました。
午後は正善多津子先生に手作り教材で軍手の指人形やライオンや折り紙をおしえてもらいました。
今日、教えていただいた事はすべて取り入れ利用したいものばかりでした。

12月6日 土曜日 晴

宮崎 高子

外国人子弟への日本語教育の先駆者として、活躍中の白鳥幸子先生が、海外移住センターへ来てくださって、講義してくださいました。我々中南米で日本語教育に携わる者にとって、最も役に立つ指導ができる先生である事を知っていたが、なぜか今年の研修プログラムに入っていなかった。それでも、ありがたいことに、我々の声を取り上げてくださった事業団の職員の皆様の御蔭で、実現された。

白鳥先生の講義

午前9時より午後4時30分

内容 1)外国語としての日本語を教えるための補助教材の紹介とその解説

視聴覚教育の効果(目:83%、耳11%)がいかに大であるかの具体的な教授方法として、我々が生徒になって実習。

2)白鳥先生の活躍の場、インテルナショナルスクールでの授業風景のビデオ・テープの鑑賞とその教授法の説明。

3)白鳥先生の考案した「動詞カード」「あいさつカード」「漢字カード」を使っただけの教授方法と、その実習、とても楽しく児童心理学が活かされている。

4)いかに、速く、いかに、効果的に教授できるかの説明として、魔法の袋、Vゲーム、Yゲーム サイコロ使用、指人形、数字カードの説明。

その他、数多く、我々が直ぐ利用できる色々な教材とその使用法の説明があり、玉川大学では学べなかった第2言語の教授法の習得はまことに大きかった。

白鳥先生は、日本語を教えるために、その背景になっている国の文化を教えなければ生きてきた言語が教えられないといわれた。同感だった。

4日後には、インテルナショナルスクール見学があり、それが待ちどおしい。

12月7日 日曜日 晴

塚田 ミサ子

今日は日曜日それぞれ思い思いの所に出かける。

千田さんと二人で、小田急多摩センターにある私立織田幼稚園を訪ねる

この幼稚園は園児130名という。ユニークな幼稚園で今日はバザー日、お母さんや先生方 それに大勢の見学者で大賑わいだった。

手作りコーナー、子供の作品コーナーでは、3才～5才児の絵（おはなし、行事など）、ちぎり絵、などすばらしいのが部屋一杯にはられてあった

中でも、3才児の子供たちの手足型の大きな紅葉の絵はめずらしいもの、廃品利用のサンタクロース 各種動物（うさぎなど）も、よいアイデアだと感心する。

最もおもしろかったのは お化けコーナー、いま、子供たちに人気のある、ゲ、ゲ、ゲの鬼太郎皆さんで作ったという、ほうたいにまかれ、黒い暗いへやになっている姿は、本当によく出来たと思う。こんな変なものが、人気があるのは、どうしてかな。

食堂では、コーヒー、サンドイッチ、豚汁、ごはん等、とぶ様な売れゆきであった。とても冬とは思えない、うらかな日で、楽しく、有意義であった。

12月8日 月曜日 晴

西谷 江美子

9時 移住センターを出る

2時限 （長野先生）

A. Bクラス O. H. P 残りの人皆さん各々良いアイデアで発表される。

昼食

1時より （長野先生）

一般常識 国語テスト 2枚

2時 植樹祭

A. B合同で 桜の苗

スコップ二本 皆さんで植える。

記念撮影

2時30 （小宮路先生）

音楽 楽しく実演と歌で過ごす。A. B合同

5時 玉川学園通り コスモス喫茶にて玉川の先生方 A. Bコースとの謝恩会 自己紹介、歌 余興で2時間30分位楽しく過ごす

玉川学園とも今日でお別れ本当にお世話に成った2ヶ月、早いもので晩秋もたけなわ人生思いでの一コマ。玉川学園サヨウナラ。

12月9日 火曜日 晴

鍋山 儀典

9時より短大-201 教室で、今日の奈良・京都研修旅行の感想文を書かせられた。

作文が、いやだなと思いながら、書き始めたが、なかなか進まない。別に不満があった訳でなく、いいこと、楽しかったことばかりだったが、それを表現することができない。となりの人がサッサと書き進めているのを意識したら、よけいに気ばかりあせってしまった。でもなんとか2枚にしてしまった。提出した後、あれも書いておけばよかったなあと思ったりするのは昔も今も同じ。書けない作文をどう生徒に教えるというのか。しかし、やはり考えをまとめるという作業として作文はとても良いのだろう。変てこな文ができたが、頭の中では関西旅行の印象が整った様な気がしている。

夜、センターで人形作りの講習を受けた。クマ、キツネ、ネコなどのうちから、1つを選んで希望者がそれぞれ夜中までがんばったのだが、ついに私は完成させることが出来ず、疲労困憊のうちにベットにもぐり込んでしまった。先生がセンターを出られたのは、11時半で、電車が心配だったが、慣れない針仕事で気も狂わんばかりのつらい夜だった。

12月10日 水曜日

鍋山 儀典

梅津職員に率いられて、渋谷のジャパン・インターナショナル・スクールを訪問。

正善先生の授業

白鳥先生の授業などを見学。日本語学級、国語学級を駆け足的に見学。最後に好調の土井レジナ先生のお話。先生は、ジョリアード音楽学院で学ばれたとのこと。その後、コロンビア大学、ハワイ大学でも勉強なされたという。クラシック音楽から学校経営と日本人にはない（しかも、女性）スケールの大きさに圧倒されてしまった。社会人になっても、またいつでも自分の選んだ研究が出来るという環境がアメリカにはあるのだろう。

<印象に残ったこと、再認識したこと>

- ・生徒にまず興味を持たせること。それには、教師も役者であるべきだということ。
- ・絵を見せ（目で覚える）、動作をともなって（体で覚える）教えるということ。
- ・単なる知識の理解でなく、文化の理解でなければならないということ。

12月11日 木曜日 晴

郷里研修

12月22日 晴

新井 慶子

12月11日よりそれぞれの郷里研修で 日本各地に出発 12月20日 移住センターに帰ってきました。なつかしい郷里で大歓迎をうけ 新聞にも大きく報道された方が多数いました。 私達一世にとって

は郷里の同窓生などと逢える一番楽しい思い出の研修でした。

12月22日 今日はこの研修最後のプログラムの東芝科学館に行って来ました。科学館では現在の日本の進んだ技術をつぶさに見る事が出来ました。“人と科学のふれあい”の場として電気やエレクトロニクスの高度の技術を“動く展示”“使う展示、参加する展示”でわかりやすく説明して下さいました。アマゾンの子供達にこんな所を見せてやりたいと痛切に思いました。時間がなく全部見学出来ませんでした。又いつの日か未来に拓く東芝のすばらしい技術を見る事が出来る日を願って最後の15名全員の写真を撮りました。

5月9日 金曜日 晴

肱 岡 春 香

1986年度、現地日本語教師本邦研修生（Bコース）の乗るVARIG832便はサン・パウロを5月7日（水）に出発し、5月9日予定より2時間以上遅れて、午後4時15分、成田に到着した。

大半の先生方は、リオ、リマの空港で胸の名札を頼りに挨拶を交わしていたが、出迎えに来て頂いた浅津職員の点呼でもう一度確かめ合う。カナダの先生が見当たらないので、一時間近く待ってみた。カナダからの便が遅れて、後で一人で横浜へ行かれるということだったので、他の11名の研修生はバスに乗り込み移住センターへ向かう。

午後7時10分ごろ、宮広所長と江崎職員の待機下さっているセンターに無事到着する。荷物をバスから下ろし、子弟研修生の方々に上まで持って行って頂く。私たちはそのままビデオ室に入り、宮広所長のお言葉を頂き、江崎職員による部屋分けの発表を聞き、各部屋の鍵を手渡される。3階の301、303、305、307、309、311号室と各部屋2名の部屋割りとなる。子弟研修生に上げて貰った荷物を各自部屋に運び入れる。

30時間以上座りつめの後、久しぶりに足を伸ばし、熱い味噌汁に御飯を頂き、ホッと一息つく。久しぶりに汗を流し、二日間張り詰めていた気持ちも少しほぐれる。

5月10日 土曜日 曇

一 甲 真由美 エジナ

到着したばかりなので未だ時差ボケがとれていない為、皆眠そうな顔で食堂で朝食を頂いた。

10時から開講式が4階の第1研修室で行われることになっていたのですが、その前、皆、根岸駅の近くまで国際電話をかけた。

ちょうど10時に皆研修室に集合し、江崎職員より研修内容について色々な説明を受け、銀行の通帳と印鑑をいただいた。

その後、私達、12名の日本語教師研修生の紹介があり、海外移住センター所長の御挨拶を聞かせていただいた。

開講式が終り、所長の御案内で移住センター内を見せて頂き、色々な御注意やセンター内のルールの説明を聞かせて頂いた。

12時頃昼食を頂き、午後は自由時間となっていたので、松原さんと私は江崎職員にお願いして、入院していらっしゃる去年の本邦研修生の串間ジルダさんの所へお見舞いに連れて行ってもらった。

串間さんの元気な様子を見て安心して帰って来た。

皆、旅行で疲れて、夜早く眠ってしまった。

5月12日 月曜日 晴

松原 美智枝

今日は色々なオリエンテーションの日でした。

午前10時から宮広所長の講話でしたので、日本と言う国はどう言うふうになり立って来たかを分かりやすく話して下さいました。科学的ではなく、日本人の目で見る歴史、それからどうして現在まで天皇の貴種と言う物がずっと続いて来られた事も聞かせていただきました。

その後山本課長と江崎職員より研修のプログラムについての説明、今年はプログラムが4期間に分けられる事になりました。そしてその第1期のスケジュールの説明をされました。

センターの皆様から辞典を6冊と「日本語を外国人に教える日本人の本」と言う本をいただきました。

午後から能力テストがある事が報告されましたので、みんなは昼食を心配半分すませました。テストは難しく、皆さんは非常に気疲れしました。

夜はセンターの皆様が私達の歓迎会を開きました。残念ながら立山小百合さんは時差ボケがまだとれず、この歓迎会に参加出来ませんでした。センターの皆様や研修生達はとても心暖かく私達を迎えて下さったのでテストの疲れを忘れることが出来ました。

5月13日 火曜日 晴

福岡 ソフィア

今日は、立山小百合さんも元気になり、9時30分頃江崎職員に引率され、私たち研修生は事業団本部へむかう。駆け足で電車に間に合いましたが災難なり、先の駅で信号事故が有り13分ほど遅れ、11時15分頃三井ビルへ到着。

浅津担当職員の司会のもとに懇談会が始まり、部長の挨拶の後、研修生の自己紹介があり、事業団側からは細川部長様が出席者の紹介をされた。

引き続き事業団本部の皆様と小林外務省担当事務官が研修の内容の説明を主にされ、私たち母国のお話とともに楽しく昼食をごちそうになる。

45階から見える東京の説明をいただく。

1時に懇談会は閉会となる

江崎様と星クララさんはセンターに帰り、残りの11人の研修生は秋葉原まで買い物に行く。

坂岡さんに頼り、無事6時近くにセンターへ着く。

5月14日 水曜日 曇りのち雨

黒田 恵美

今日は川端課長さんに案内してもらって、玉川学園を見学に行った。来週から私たちはこの玉川大学の教育学科の中で「教育の原理」と「道徳教育の研究」の2科目を学習させてもらうことになっ

ている。

昼食をいつもより早くいただき、12時ごろセンターを出て、根岸駅から町田駅まで行き、乗り換え、玉川学園前で降りた。

玉川学園は予想していたよりはるかに広く、門から大学まで坂道を徒歩で上がって、女子短期大学にたどりついたとき、すこしつかれていたほどだった。

雄大な緑の自然の中に設けられたこの学園の中を見てまわれればかるく3、4時間はかかるそうだ。

私たちは女子短期大学内にある国際教育室の田中さんに学園内を案内してもらった。

小学部の生徒たちが、何人かの先生たちに指導してもらいながら、あちこちにすわって写生をしていた。みんな熱心に絵を書き、私たちが通ると行儀よく挨拶をしてくれた。みんな自由にのびのびとしていて、とてもさわやかな雰囲気を見せていた。

小学部、中学部、大学の校舎や野外演劇場や礼拝堂などを見てまわり、そのあと会議室で玉川学園の教育を撮ったビデオを見せてもらった。

1時半ごろ、玉川大学の学長さんの子息の小原先生をはじめ、「教育の原理」の高橋先生、「道徳教育の研究」の佐藤先生、10月から教えてもらうことになっている「国語研究」の長野先生を紹介してもらった。

先生方のそれぞれの自己紹介と授業のだいたいの説明のあと、いろいろなオリエンテーションの他、本を2冊もいただいて帰って来た。

5月15日 木曜日 晴れ

立山 小百合

今日は午前中磯子の外国人登録に江崎さんと行って外国人登録書を取りにまいりました。

区役所の中を案内して貰いました。

午後には山本さんと横浜の市役所へ行って横浜の歴史や町の問題を聞かせていただきました。

とても親切に横浜の歴史について話してくださいました。

私たちにとても良い所だと思いました。なんとなく外国人が住みやすい街だと思いました。

たしかに楽しい時間をいくらかあたえてくださるのではないかな…と思います。

5月16日 金曜日 晴

井関 泉

今日は大変楽しかった。

午前10時から丸山先生が社会の授業があって先生は私たちが分かるために皆の国の事を研究して教えてくれた。

今の日本の位置や時差や形や面積や人口や密度などを伝えそして、発達してきた日本、午後2時に

山本課長が私たちに3人の先生方を紹介してくれた。氷保先生、古沢先生と最後に土井先生、いろいろな質問が出て来て答えるのがむずかしいと思った。次に山本課長と面接があって私たちは少し心配していたが最初に志風さんが行って内容を聞いて安心した。

5月19日 月曜日 晴

熊谷智美

今日私たちが日本へ来て、2度目の月曜日を迎えました。

今週からいよいよ本格的に授業が始まりますので、全員、少し早めに第1研修室に集まりました。

8時50分頃から、みんなで前の日の出来事を話していて、8時55分江崎さんが挨拶に来られました。

9時5分山本課長が政治経済を教えて下さる関田先生と見え、紹介して下さいました。

この先生との授業では、日本憲法、戦争のこと等の話しをしてくださって11時52分終了。

1時5分から午後の部が始まり山本課長が、日本語聴解の先生、青木先生を紹介していただきました。

この先生とは、簡単に難しいことを色々教えてもらいました。

とても若くて楽しい先生で、コーヒーを休み時間に一緒に飲みました。

日本語聴解の授業4時10分終了。

その後、体育の時間でしたが、先生の都合がわるくて、今週は、来ませんでした。でもみんなでグループみたいにして、キャッチボールを好きな人は、それをやり、マラソン、テニスをやっていた人もいました。

とても楽しい1日でした。

5月20日 火曜日 雨

辻口サ

6時起床。今日は玉川大学に初登校。でも朝から雨が降っていたので少しゆううつな気持ちで大学についた。

10時40分から高橋先生の教育原理の授業を聞くことになり教育大の文学部、4階の401号室で日本の大学生とともに勉強することになった。このクラスは100人近い学生がおり、とても大きな教室だ。でも私たちは“ほかの人種”といった見られ方をされているのではないかと思う。同じクラスなのにだれも話し掛けてはこない。そして私たちもなんとなく話しにくい雰囲気だった。

高橋先生の授業は少し難しかったけれどとても大切な科目だとおもう。今日は教育と教育の目的を勉強した。どのような教育法がよりよい効果を上げるか、そして目的とは生徒1人1人の人格の完成をめざすこと。

12時に昼食をとった。食堂はまるで戦争のようだった、女の子も男の子も我が先と押し合う。午後

からの授業は佐藤先生の道徳だった。とてもすばらしい課目だが先生には聞く人の心をひきつけるものが欠けていると思う。授業中居眠りをする生徒が何人もいた。事実私も少し眠くなった。2時半に授業が終わり、それからまっすぐセンターには帰らず町田のデパートで中津海さんといっしょに買い物をした。でもデパートがあまり大きいのでとうとうはぐれてしまって帰りは1人。心ぼそく、もしや反対の方向へ行っているのではないかという心配もあった。でもぶじセンターに着いた時、中津海さんも私と同じようにはぐれてしまって1人で帰って来たという。

今日はとてもつかれた。

5月21日 水曜日 雨のち晴

中津海 マルタ クリスティーナ

“住めば都”と言われ、なんとなく日本に慣れたせいか、今日は6時30分の「ピンポンパンボン…」をむしして7時に起床。

日本は南米とちがって時間厳行しなくてはならない。さっさと朝食をすませ、8時20分山本総務課長とともにセンターを出る。

いよいよ、期待してた初学校参観日、8時20分根岸小学校へ着き、土屋校長より、700年前の記録全においての学校史、現在の学校経営の重点、または教育方針などについてくわしい説明があった。

8時45分：1536年に建てられ、根岸小学校の初めの校舎として使われた“大聖院”の見学がおこなわれた。

10時40分 3校時授業参観

}	1年 1組	} 国語	2年 1組	} 算数	3年 1組	} 図形
	1年 2組		2年 2組		3年 2組	
	1年 3組				3年 3組	

11時30分 4校時授業参観

4年 1組	} 算数	5年 1組	} 国語
4年 3組	} 国語	5年 2組	} 社会
4年 4組		5年 3組	} 国語

12時15分：子どもたちのにぎやかなふんい気に囲まれて、給食を試食することになった。

13時45分：1年生担当の先生方との懇談会がおこなわれ、教材の活用によって児童の教え方の能率や効果を高めようとする指導法にあってうされた。

14時20分：センターへもどり、14時55分ふたたび山本さんとともに、根岸中学校参観がおこなわれた。当校校長の案内により、31日におこなわれる合唱コンクールの練習を見学させていただいた。

15時50分：すばらしい、豊かな経験を含め、センターへ帰った。

5月22日 木曜日 晴れ

星 クラール

第1時限目 歴史 (迫田満夫先生)

授業内容:

1. 日本のあけぼの
 - a. 縄文時代
 - b. 弥生時代
 - c. 大和国家の成立

第2時限目 作文 (土井真美先生)

授業内容:

1. 「もしお金持ちだったら」の題で作文
2. 読点のうちかた。

歴史の授業は日本のあけぼのを指す特定の言葉が多く、難しい面もあったが興味深いクラスだった。作文を書かされたのは、この研修では、はじめてだったので、かなりみんなにハードだったと思う。明日の横浜観光がたのしみだ!

5月23日 金曜日 晴れ

志 風 記

横浜市内観光、7時間つめ込んでしました。

コース: 市電保存館(30分)、三溪園(70分)、中華街(40分)、港の見える公園(40分)、開港資料館(30分)、港内遊船(40分)

ツアーのハイライト: 1. 三溪園で自然に囲まれて心がおちついた。そこで矢節原という古い建物に入ってみた。昔、どういふ暮らしをしたかと想像できたし、冬には淋しかったでしょうと感じた。
2. 中華街で中華料理を食べた。

今日のハイライト: いずみちゃんの誕生日で夜に「びっくりパーティ」を開いた。さゆりちゃんとエミちゃんの部屋を「トアレットペーパー」で飾り、雰囲気がとても良かった。特にいずみちゃんには忘れられない日でしょう。

5月26日 月曜日

肱 岡 春 香

第1時限 社会 (丸山先生)

時間の勘違いがあって授業は1時間ほど遅れて10時に始まる

授業内容 ○日本の気候 ○日本の位置

○日本の季節

第2時限 日本語聴解（青木先生）

授業内容 ○濁音、長音などの発音と聴音の練習

○歌詞の聞き取りと書き写し。

第1時限目の社会の授業では、日本がこの地球上のどのあたりにあるのかそして、どんな季節の移り変わりがありどんな気候なのかといろいろと教えて頂く。各季節の特徴とその原因の詳しい説明もあり、たいへんよかったと思う。

第2時限目はいつものように聴音と発音の練習をやってから、ビデオを使って歌詞の聞き取りをやった。歌を聞きながらそのことばを一つ一つ聞き取って書くので、少しむずかしかった。書き写した後でみんなでチェックし、それをまたビデオを見ながら歌ってみた。たいへん楽しい授業であった。

日本語聴解の授業が終わってから、根岸中学校へ全員で行き、そこの先生に「ストレッチ体操」を教えて頂く。「ストレッチ体操」は「むかし」の柔軟体操に相当し、少し違うのは「1、2、3、4」とかけこえはかけないで、少しずつ体をほぐし、柔らかくしていくところだそうだ。体操の後、根岸中学の先生方も加わり、バレーボールの基礎練習を少しやり、3チームに分かれて試合をやった。

久しぶりに体を動かしたので気分はとてもよいが、明日あたり、あし、こしが痛むのではないかなと少し心配だ。

5月27日 火曜日 晴

— 甲 真由美 エジナ

玉川大学へ通った日は2回とも雨だったが、今日は珍しく青い空に太陽が照っていた。

センターを8時25分より出かけ、8時37分の電車に乗った。

授業の始まる1時間前に玉川へ到着し、大学の前で皆話し合っていた。

高橋先生の教育原理の授業は10時40分に始まった。

先生は「教育目的と人間観」という題で授業なされた。

まず“OHP”で教育目標群を見せられた。それは次のようでした。

- ・認知的領域
- ・情意的領域
- ・精神運動的領域

認知的領域の説明は簡単になされた。けれども、情意的領域は、例を挙げて理解させた。

最初に、8つのテープレコーダーで聞かせて、各歌によって好き嫌いを決めさせた。その後好き嫌いの理由は説明できないことに気づかせた。情意的なものは人の知識に関するものではないことを述べた。

精神運動的領域を説明なさる為には、次のような例を挙げられた。3人の学生達にキャベツを刻ま

せてみた。慣れていなかった学生は、どうしてもはやく刻むことができなかった。しかし、先生にとっては、これは幼い頃からなまっていたことだったので、上手に刻むことができた。そこで、上手下手は人間の知恵だけで決められるものではなくて、訓練があるかないかの問題も大切だと仰っしゃった。

ですから、日本語を外国語として教える場合、生徒達に言葉を暗記させることだけでは、なかなか日本語を教えたとは言えない。すなわち生徒達が言葉や文型を覚えたと感じた時、それを会話の練習で実際に使わせなければ、何年経っても日本語が上手にならないということだと思った。

この授業は12時に終わり、皆急いで昼食をしに行き、昼の授業は13時に始まるので、それまでに教室へ戻った。が13時過ぎても先生がお見えにならなかったなので、授業がないことを確認して、皆、それぞれ買い物へ行ったり、玉川学園を歩いてみたりした。

5月28日 水曜日 晴

松原 美智枝

今日は午前10時から政治経済の関田先生の授業であった。

日本国憲法に定められた国民のいろいろな権利と義務を勉強した。それから日本と他の国の国会と比べながら、選挙について、話していただいた。もっと効果的な研修になるため、私達のクラスが2つに分けられて、日本語読解の授業を受けた。午後1時から3時まで、1つのクラスは永保先生の授業を受け、もう1つのクラスは古沢先生の授業を受けた。永保先生は「日本の国土」と言う文章を私達に読ませて、それについて、質問や説明をしてくださった。古沢先生の授業では「赤いろうそくの人魚」という童話を主にして、文型とか文法、または少し文学的な勉強もした。こうして、国語を学んでいけば、かなり発達できると思う。

9月29日 木曜日 晴れ

福岡 ソフィア

第1時限 歴史 (迫田先生)

授業内容 ○日本のあけぼの

d) 古墳文化と渡来人

○古代国家の歩み

1. 東アジアの動きと聖徳太子

a) 隋の中国統一

b) 唐の統一

c) 聖徳太子

d) 飛鳥文化

第2時限 1時、宮広所長と相談会

3時、自己研修

第1時限目の授業は聞きなれない言葉や、読みなれない感じが少しずつ理解できるようになる。

授業の指導を少しゆっくりと黒板に絵を書いたり、写真を見せてもらい、だんだんと面白くなる。

第2時限目は1時5分頃に私達研修生は食堂にある会議室で宮広所長と江崎職員と川端会長と日本へ着いてから20日間の研修の内容や勉強や生活の問題についてケーキをいただきながら意見を聞いていただく。

○生活に対しては

- 夜食の時間が少し早くて、6時に食べなくてはいけないことや朝食のコーヒーのかわりに時々ミルクがほしい事。
- スープの日にも何か飲みものがほしい。
- お風呂を週に2回はほしいこと。
- 洗濯機がいつも従事していること。

勉強問題については歴史の授業が少し難しい事と玉川大学の学生達と打ち解けるのがまた難しい事でした。

終に宮広所長はできるだけみんなが第一に健康よく、生活や勉強に問題ないようにしてゆきたいと言われた。

皆に集団で話しができるルールが必要だと、そしてホームシックにかからないで快適で自由な生活をするためにこのような会を月に一度自己研修の時間にすることがきまった。

5月30日 金曜日 雨

黒田 恵美

今日は午前9時から、丸山先生の社会の授業。月曜日にできなかった1時間をとりもどすため、早く始まった。

授業の課題に入る前に、丸山先生から、現在、日本から外国へ派遣されている人たちの子供の学業に関する状況を聞かせていただく。仕事で家族とともに外国へ派遣される場合、その子供たちは学業に関するいろいろな問題や支障に直面すると先生はおっしゃった。外国へ行っている間、その子供たちのために日本人学校、つまり日本の学校と同じカリキュラムをそろえ、同じ制度を持っている学校が数多くあればまだ良いが、国によって、そういう学校が数少ないか全く無い所もある。その場合、帰国した子供たちは、日本の学校について行けなくなったりすることもある。その反面、日本人学校に入学すれば現地の学校へ行かないことになるので、その国の言語をマスターする機会を失う。それはコミュニケーションができないということにつながり、ノイローゼになったりすることもある、と、このような問題を先生から聞かせていただいた。それから今日の課題の「日本の災害」と「日本人」

について講義をしていただいた。丸山先生はごく細かく火山、地震、つなみ、台風、冷害、雪害、干害などについて説明をしてくださる。地震ははっきりと予告することはできないが、今年あたり、大きいのが来るのではないかと予測されているとおっしゃった。日本とは苦勞の多い、たいへんな国だと思う。次の課題の「日本人」に時間が少なくなったので、来週の授業、続けることになった。しかし、日本人は同一民族であり、同一言語を使い、同一文化を持っているという説明はしていただいた。そして、それは良い結果をもたらすこともあれば悪い点も及ぼすとおっしゃった。たとえば、外国人との交際が不得手という傾向があるという例が挙げられた。しかし、世界中でもめずらしいと言う同一民族、同一言語と文化を持つ国として、日本はとても興味深い国だと思った。

午後からは土井先生の日本語（作文）の授業だった。今日は読点のつけ方や、文を書くことについての問題、書き言葉と話し言葉の違い、推敲の仕方、原稿用紙の使い方、作文の添削に使う記号とその意味などを教えていただく。

夕食の後、根岸中学校の合唱コンクール特号参加にそなえて、「しあわせなら手をたたこう」のレッスンをした。

5月31日 土曜日 晴

立山 小百合

今日は私たちは、12人で隣の根岸中学校で合唱祭コンクールに参加をしました。

とてもすばらしいコンクールでした。

組みに分けていろいろな外国と日本の音楽を聞かせてもらいました。

1週間前に私たちがそのコンクールで何か歌うようになったのであら！しまったと思いました。

そしてどの曲が良いかと考えていた時、“しあわせなら手をたたこう”をと誰かが提案をしました。

だからその曲に決めました。4カ国語でその曲を歌いました。（エイ語、スペイン語、ポルトガル語、日本語）

みなはとても楽しそうに私たちを見つめていました。

プログラムはすこし遅れましたが、時間どうり終わりました。（9:30h~12:00h）賞状までいただきました。

私たちが一生懸命に練習をしたように日本へいる間みなと一緒にがんばりたいと思っています。

みないっしょにがんばりましょう！

6月2日 月曜日 晴

井関 泉

横浜開港記念日で町は休みであったが私たちは、毎週月曜日のとおり朝の9時から授業に参加した。でも10時ごろになると気分がわるくなって来たので先生にことわって教室を出た。12時までは自分の

部屋で休んでいたが午後からはサトミちゃんと小百合ちゃんと一緒に医者へ行った。自分は授業には、ほとんど参加しなかったが他の仲間達に聞いたらなんとなく午前中のは大変むずかしくて、分かりにくかったようだ。

6月3日 火曜日 晴

熊谷智美

いつもの火曜日と同じように8時20分センターを出て玉川大学へ行きました。玉川へは少し早めに着き、食堂の前にある自動販売器でコーヒーやジュースを買って、みんなで休みました。

1時限目：教育原理の授業が始まりました。

12時10分食事の時間になると食堂へ行きました。いつもと同じくたくさんの生徒たちの中に入って戦争のようにしてお弁当を買って食べました。

2時限目の道德教育の授業が始まって、生徒たちがおしゃべりをしていたので、ふつうは何も言わない先生だが、今日は話している生徒たちを怒って

「お話しがあるならローカですませてから入って来てください」と言いました。

さすが、誰も行きませんでした。！！

私には、少し難しい授業でしたが頑張りたいと思います。

帰りはみんな別々になってしまいました。

とても楽しい1日でした！！

6月4日 水曜日 晴

辻口サ

今日はセンターで1日勉強をした。朝は10時から歴史の授業を受けた。先週の“古代国家の歩み”の続きを説明してくれた。

2 律令政治の展開：

①-大化の改新

-方針

-進展

②律令政治の始まり

-大宝律令の制定

-政治

-班田収授の法

③奈良の都

-聖武天皇

一公地公民制

- ④遣唐使
- ⑤天平文化

3 平安の都と貴族

- ①平安の都
- ②新仏教
- ③摂関政治
- ④荘園
- ⑤国風文化
- ⑥院政

午後からの授業はいつもの通り13時から、日本語読解で古沢先生と、永保先生の2つのグループに分れた。

私は先に古沢先生の授業を受けた。“赤いろうそくと人魚”という童話を読んだ。とてもいいお話だけどこの時間は少し眠くなった。

その次の永保先生の授業はもっとダイナミックで眠気などなかった。今日は立山さゆりさんが欠席だ。みんな少しホームシックにかかっているらしくこのごろ病気になる人が多い。

私も今から気をつけている。

6月5日 木曜日 晴

中津海 マルタ クリスティーナ

江崎職員とともに根岸駅を8時に出発し、9時に渋谷駅で土井先生と合い一緒にNHK放送センターの近くにあるJAPAN INTERNATIONAL SCHOOLを訪ねた。

9:30 J. I. Sへ着き、白鳥先生とつか先生から現在この外国人学校がどのような仕組みになっているか説明があった。

内容：－日本に在留する外国人子弟のために設けられ、授業はほとんど英語であること。

－日本の学校とは違った形で運営されていること。

－約390人中、20%が日本人であること。

－学校教育法上の「学校」とは認められてなくても、どうして日本人の親がこの学校を希望するかとのこと。

1) 日英両国語を使えるようになるため

2) 英語の力をつけるため

3) アメリカ式の教育で個性を伸ばし、国際社会に適應できる人間に育つため

4) 天才教育をするため

—文部大臣認定の教科書を使い、日本人向けに国語と日本語の特別授業が行っていること。

9:50 中級生(1・2・3)授業参観 課目・国語 担当:とっこう先生 生徒数:16人

授業内容 「君死にたまふことなかれ」与謝野晶子作による俳句の文語文の解説

10:35 初級生授業参観

Aクラス 課目:日本語 担当者:白鳥先生 生徒数:3人

授業内容:ゲームやフラッシュカードを見ながら日常生活に使う語いを深め、どうじに文を組み立てる

Bクラス 課目:日本語 生徒数:10人

授業内容:1つの会話を基本としていろいろな形容詞を覚えていく。

11:30 先生たちに囲まれて懇談会が開かれた。始めに校長先生より学校の経営について話しがあった

12:15 演劇部の担当者から無言劇(パントマイム)のデモンストレーションがあった

12:35 自然の状態において楽しく無理なく生徒たちに日本語を教えることを味わってJ、I、Sを出た

6月6日 金曜日 晴れ

星 クラーク

土井先生の授業は毎週午後からだだが、きょうは午前9:00からだ。午後からは丸山先生の授業。先週のテーマ(日本人は同一民族、同一語、同一文化の国民)の詳しい説明があった。このことはたいへん良いことであるが、反対に島国根性、非国際性、非独立性という欠点があると説明してくれた。

6月9日 月曜日 晴れ

脇岡 春香

第1時限 歴史(追田先生)

授業内容

- ・平安時代
- ・平安の都
- ・新仏教
- ・摂関政治
- ・荘園
- ・国風文化
- ・院政
- ・武士の成長
- ・武士のおこり

- ・保元の乱
- ・平治の乱

第2時限 日本語聴解（酒入先生）

授業内容：・撥音の発音と聞き取り

- ・まとまったテストの聞き取りと書き写し
- ・聴解

歴史の授業はたいへんおもしろいはずなのだけれども、何か、あまり時代が違い過ぎて先生のお話だけではなかなか理解しにくいと思う。もう少しバラエティーのある授業だともう少しみんな関心を持つのではないかなと感じた。資料（教材）はあるはずだから、それを使ってみんなに見せたり聞かせたりするのも1つの手ではないかと思う。

2時限目の日本語聴解の授業は13:00に始まった。今日からは今までの青木先生ではなく、元アナウンサーをしていた酒入先生が授業をなさることになった。授業は前回と同じく、発音と聞き取りで始まり、会話の聞き取りそして、まとまった文章の聞き取りをやった。まとまった文章の聞き取りは、よほど日本語との免疫がないと、ある程度の速度で話されるとたいへんなものだと感じた。毎週月曜日は体育の授業がある。今日はまたバレーボールをやらされ、みんなくたくたになって帰ってきた。週1回思いきり体を動かせて、気持ちは爽快。

6月10日 火曜日 晴

— 甲 真由美 エジナ

今日も毎火曜日のように8時25分にセンターを出かけて玉川大学へ向かった。

昼食の時間に食堂がいっぱいになることを承知していたので皆お弁当を買うことにした。

10時40分に教育原理の講義が始まるので教室へ上がったが、今日は先生が実習生達と共にどこかへ行かれたと言う話で、講義はなかった。

大学からお知らせもなしに講義がなかったのは今日で2回目だった。

この場合には大学から通知があった方がいいと思う。

この時間を利用して、私達は、古沢先生の授業の宿題をしたり、玉川学園内を歩きまわったりした。

13:00から佐藤先生の講義を受けた。

講義の内容

題：青年前期の道徳的成長

- ・生理的変化（青年の見方：「子供ではない」という自覚が出てくる）
- ・不透明性（父母とはあまり話さない）
- ・反抗心
- ・非寛容性

- ・感情の不安定（子供でも大人でもない）
- ・友情
- ・私淑性（誰かを自分の人生のモデルにする）
- ・自律する（精神的に独立する）

「上の特徴をもっている青年達に、どういう風に授業するかをよく考えなければならない。幼児には「教えよ」という考え方をもちて教える方がいい。けれども、青年時代になると、自分でいろいろ考えたり、判断したりするので「学ばせよ」という気持ちで教えた方がいい」と先生がおっしゃった。幼児に教えるように、一々教えていたら、青年達は「うるさい！」とって反抗するからでしょう。

6月11日 水曜日 晴れ

松原 美智枝

夏が近づいてくると、夜が早く明けてきて、起きる時間になるともう日が高く上がっている。

午前10時から政治経済の授業を受けた。今日は行政の働きについて、関田先生からいろいろな話しを聞かせていただいた。そして、その行政の働きだけに限らず、日本の今の貿易状態に対して、黒字が多くて困っていることも話していただいた。それから、土地を広めるため、日本の政府はどういうふうに働いてきた事とか私達がいる根岸も前は海だったことも話して下さった。

その仕事だけではなく、治山、または治水におよ自然災害の防ぎとめることも一つの政府の仕事だと話された。自然災害について、関田先生は台風の目に入った時の体験談を話して下さった。

午後の読解の授業では単語を増し、新しい表現を覚え、少し日本の文化にも深めることができた。

夜の8時から4階の講義室で私達（日本語教師研修生）と子弟研修生が集り、課長にこの間の相談会の結果を発表していただいた。

6月12日 木曜日 晴れ

福岡 ソフィア

第1時限 社会（丸山先生）

授業内容 日本人

第2時限 歌舞伎鑑賞教室

（国立劇場）

1時限目は丸山先生が日本民族の独特な文化の中で、文字、宗教、風俗習慣、精神、国民性（島国根性）の事について話した。

2時限目には午後1時に宮広所長の引率でセンターを出発。国立劇場へ向かい、5分近く遅れて着いた。岩井半四郎さんが歌舞伎のみかたについての解説をした。楽器の音や舞台と観客のことや伝統的な舞台芸術のことも説明する。

そのあと、義経千本桜の一幕を見せてもらい、あまり話していることが聞き取れなくてすぐに理解することができなかったが、舞台や衣装の美しさに圧倒されて見た。ぜひ、もう一度見に行きたいと思った。

6月13日 金曜日 晴れ

黒田 恵美

第1時限 政治・経済（関田先生）

今日は日本の生活環境の整備、社会保証の整備、社会秩序の維持、教育文化の向上、外交防衛のための行政のはたらきについて講義があった。排気ガス、悪臭、騒音などによる公害問題やその防止の仕事、体の不自由な人を社会的に守る仕事、学校教育制度や文化施設などを保つ仕事、また日本では、夜おそく1人歩きをしても95%だいじょうぶであり、2人でいればほとんど100%だいじょうぶであると言うようなこと、自衛隊は最近、量よりも質を重要視しているということを説明していただいた。

第2時限 日本語（土井先生）

短い雨話の会話を読んで敬語の使い分け方を勉強する。そのあと、文法（助詞の「が」と「は」の使い分け方）の勉強をした。これは私たちが、4コマのマンガを見て書いた感想文や説明にあったまじがいを直して行きながら同時に学習した。その他、いろいろな言い方（目をまるくする、目を三角にする、目を細めるなど）とその意味、多義語についてざっと勉強した。この日は4時半から日本語サロンゼミナールへ屋外研修に行くことになっていたため、授業は3時40分で終わった。そのあと、4時に夕食を食べ、川端課長さんと土井先生に引率されて出かけた。6時15分ごろ、東京都杉並区にあるスペースアルク（株式会社アルク地下ホール）という会場に着いた。6時40分に「ビデオを使った日本語教育」というテーマで米国国務省日本語研修所主任教官の高見沢孟氏が講義をされた。現在、日本語教師がいかに必要であるか、また、どういう教師が必要なのか、教師がどういうものを持っていなくてはならないかなどについて約40分くらい話された。その内容によると、日本へ留学する人達や一般社会人やビジネスマンに日本語を教える教師が必要になってきているということだった。それに日本語教師として備えていなければならないものは、情熱、生徒たちをひきつけるための明るい声、日本についての知識（教師を通して日本を見ることができるよう）であるということ。いろいろな教授法があるが、生徒の言語を知っていることはそうとうな強みになるともおっしゃった。教材の1つであるビデオは言語学習プラス情報提供に有利であると述べられた。講義の後、会話と文法の説明を織り混ぜた日本語の教材用のビデオを見て、そのあと、高見沢講師を中心に聴衆の日本語教師の方々が現在自分の仕事について感じていることや問題点などについて話し合いをされた。終了後、私たちはビデオの良かった点やあまり感心できなかったところについて話し合いながら帰途についた。

6月14日 土曜日 晴れ

立山 小百合

今日は自己研修の日です

今週に学んだことを復習するためです。

けどこの自己研修の時間が自由時間だったら、いろいろな本屋さんや歴史的な場所を見学できるはずですよ。

6月17日 火曜日 雨

井関 泉

今週火曜日のおり玉川大学へ行って授業に参加した。雨のためにつごうが悪くて大変だった。なんとなく梅雨が始まったようだ。ヒジオカさんがかぜをひいて休んだがこれから気をつけないとだんだん治りにくいそうです。玉川大学の授業は私にはむずかしくて分からない事が多いと思う。

授業中は生徒たちは平気でおしゃべりをして、寝る人も多くて、ブラジルにくらべて違う。

次に金平先生が第34回学校劇夏期大学の事でオリエンテーション(会の構成参加のしかた)を2時40分～3時50分まで、いただいた。

6月18日 水曜日 曇り

熊谷 智美

今日は、午前10時より根岸駅を出発し、東京外国語大学へ向かった。川端研修課長と研修生11名そして11時45分に中河原駅で土井先生と落ちあうことにしていました。

昼食は中河原駅ですませた。

12時30分東京外国語大学、到着しすぐに大学の先生方にこの大学での組織についていろいろと簡単な説明をしていただいた。

この学校にはオーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、タイ、シンガポール、マレーシア、アルゼンチン、ブラジル、ホンコン、フィリピン、等いろいろな国から来た留学生で1/3は男性です。

その後、各クラスに2人ずつにわかれて授業を見学させてもらった。私が最初見学したクラスは男ばかり8人でした。先生の授業はとても自然であいさつをしながらいつの間にかテーマに入りこんでいた。

2時限目に見たクラスでは女性3名と男性3名でした。とてもおもしろそうに勉強していた。2時限目が終わると、再び先生方と話し合っているいろいろな質問に答えてもらい、いろいろと参考になった。

帰りは、2、3人は土井先生と新宿へ行き、そして私たちは川端課長と一緒に帰ってきた。

6月19日 木曜日

辻 ロ サ

第1時限 社会 (丸山先生)

授業内容 宗教

- ・古来 (もともとあった) → 神道
- ・伝来 (外国から伝わって来た)
 - ・仏教 (約1450年間)
 - ・キリスト教 (約437年前)

鎖国 = キリスト教の教えが国の政府にとってはマイナスになるので外国との交際を断ち切った。

開国 = 明治時代再び外国との交際が始りキリスト教も自由になった。

日本人の国民性: 敗戦を境として大きくちがってきた。

国民の思想: 仏教、儒教の影響

午後13:00から土井先生の作文の時間だった。先週の東京外国語大学付属日本語学校見学のことに
ついて話あった。先生方がどのような方法で教えているのかそして各クラスの授業内容について話あ
った。

土井先生の授業は13:00から17:00まで、4時間つづいているので少し疲れた。17:30ごろ歯医者
へ行ったので今日は少し遅くに夕食を食べた。

6月20日 金曜日 晴れ

中津海 マルタ クリスティーナ

第1時限 政治・経済 (関田先生)

- 授業内容
- ・日本の刑事裁判 (有罪か無罪かをきめ、有罪の場合にはどんな刑罰にするかをきめる)。
 - ・原告と被告 (検察官が原告となり、犯罪をおかした疑いのある人が被告となる)。
 - ・検察庁と検察官 (検察官は検察庁ではたらく法律の専門家検事ともいわれる)。
 - ・裁判官の判決 (事件のようすをはっきりさせて判決をいわたす)。

第2時限 読解 (古沢、永保先生)

授業内容

- ・永保先生
 - 日本語 (中級1) 第1課 “日本の国土” の問題集について訂正があった。
- ・古沢先生
 - “赤いろうそくと人魚” (作者: 小川未明): 第2部の文の解剖があった。

関田先生の授業はなんとなくフォーマルすぎる。たしかに政治の仕組みについての知識を持つとい
うことは大事だと思うけれど、社会人として、今: 昭和61年に行われている政治の歩みをしておく
ことはもっとも大切だと思う。

古沢先生の授業はいつものように単調で飽き飽きしてきた。もう少し変化のある授業だとマイペー

スに行くと思う。

今日は授業のせいか、気分転換したくなかったのでみんな（エミさん、ソフィアさん、クラークさん、ローサさんと私）で森林公園まで歩いていった。緑に囲まれて、新鮮な空気を吸い、どことなくうっとうしい顔も「フッ」ときえてなくなった。

6月23日 月曜日 曇り

星 クラーク

第1時限目：社会（丸山先生）

日本人は戦後どれだけ性格までかわってきたことを、戦前、戦後次の比較により明らかにされた。

1. 戦前

全体主義

家族主義

勤勉努力

親切（義理人情）

儉約家

礼儀正しい

2. 戦後

個人主義

核家族主義

省力（楽をもとめる）

無関心

消費型（消費は美德）

挨拶もできない

それから日本人の性格の特徴として、集団同質螺集型、短兵急、短絡的であることが指摘された。

第2時限目：聴解（酒入先生）

日本語教育学会の「日本の放送」により授業が行われた。

会話のクラスで使える教材として、4コマまんがをどのように利用できるかを教えてくれた。

きょうは酒入先生の私たちへの授業の最後の日だった。短かい期間だったが、とても能率的な授業のはこびかたをしていたので、これで終わりなのはとても残念だ。

最後に月曜日は体育の日で、ピンポンとバトミントンをやった。

6月24日 火曜日 雨後曇り 玉川大学

肱 岡 春 香

第1時限 教育原理（高橋先生）

授業内容 教育の方法

第2時限 道徳教育の研究（佐藤先生）

授業内容 学校での道徳の時間

教育原理の授業は教育の方法という課題であった。

今回は、生徒に授業の内容を直接体験させることの大切さを教えていただいた。しかし、授業によって、直接体験が不可能な場合がある。たとえば、歴史とか、地理（特に外国に関する時）。そうい

う場合はいろいろな手段を用いて、間接的な体験をさせればよいとのことであった。間接体験の1つの手段として視聴覚教材（今回はビデオ）を使ってその間接体験の説明され、私たちは直接体験をさせてもらった。

第2時限目は、学校で道徳教育がどう取りあつかわれているか、そして授業はどう編成されているか、年間計画はどうかという話された。後で、授業の指導案の変成についてもくわしい説明があった。こんどの授業も教材や、各授業に必要とされるであろう資料を教師が前もって集め、自分でそれを整理しておく必要性を話された。

今日、私たち研修生に取って、大変な事件が起きた。それは1時限目の終わり近く（11:55分）、初めての地震の体験である。震度4でたいへんつよい揺れ方で、揺れた時間も長かったのだが、授業中だったため、さすがに逃げ出す者はいなかった。

6月25日 水曜日 曇り後雨

— 甲 真由美 エジナ

第1時限：政治・経済（関田泰行先生）

授業内容：日本の産業

- 農業地位の低下
- 日本の農業経営の特色

第2時限：日本語読解（古沢先生・永保先生）

授業内容：古沢先生 —— 「赤いろうそくと人魚」

永保先生 —— 「手紙の書き方」

関田先生は今日、日本の農業生産や農業就業人口についてお話ししてくださった。

工業が大変発達した為、農業は急速に小さくなった。

日本の耕地面積は狭くて、農家一戸の面積は平均1haであるとおっしゃった。

ブラジル、パラグアイやアルゼンチンと比べるととても小さい土地だと思ってびっくりした。

それから、集約農業について授業を進ませた。

専業農家、兼業農家、三ちゃん農業（じいちゃん、ばあちゃん、かあちゃんの3人を中心として行う農業）についてお話しなさせて、私達に南アメリカの農業の行い方と比較させた。

第2時限目は古沢先生と永保先生の日本語読解の授業だった。

「赤いろうそくと人魚」を読んでいながら、この童話に出てくる言葉の説明やその言葉と意味の似ている言葉の比較（意味のニュアンス）と使い方を教え、例文も挙げられた。

永保先生の授業には、手紙の書き方を勉強した。

初めに、1通のお礼の手紙を読ませて、その中の新しい言葉の説明をなさせた。

それから案内状の書き方も指導なされた。手紙のエチケットについてのプリントもくださった。
外国にいる私達が母国に出す手紙にさっそく使えることなのでこの授業はとても為になったと思う。

6月26日 木曜日 晴れ

松原 美智枝

10時から追田先生の歴史の授業を受けた。

今日の授業の内容：

- ・庶民の成長と戦国大名
- ・室町時代の文化
- ・封建社会の完成
- ・ヨーロッパ人の来航
- ・織田信長の統一事業
- ・豊臣秀吉の全国統一

今日は午後からセンターで逃亡訓練があり、センターの職員の方々子弟研修生と共に参加した。雨のためにいろいろな訓練はできなかったが、主な説明はしてもらった。

もう少し皆が真面目に逃亡していたら、もっと効果的だったと思うが、私達には良い経験になった。
やはりこういう訓練をしていると、いざという時に何をすればいいかすぐ分る。

訓練が終わって、私達が実際に火事にあわないですむようにと考えた。

6月27日 金曜日 晴れ

福岡 ソフィア

第1時限 社会（丸山先生）

授業内容 日本人の生活

- ・衣・食・住

第2時限 日本語作文（土井先生）

授業内容

- ・アクセント
- ・「ために」「たために」「から」
- ・敬語
- ・「こ」「そ」「あ」
- ・要約文

1時限目は丸山先生が日本人の生活について「衣」「食」「住」の特色な事を明治時代より前から、現代の日本になるまでのお話しをきく。たとえば、衣服では、身分によってちがっていたことや、はれ着、ふだん着、しごと着の区別があることや、明治維新以後西欧のまねをするようになったことや、

四季のために、夏物、冬物、合着を用意しなければならないことだ。

食については、やはり身分によって食べ物がちがっていたことや、みんながお米を食べられるようになったのは戦後だったことや、近頃、食生活がたいへん変わってきたこと、たとえば、パンやコーヒー、バターやチーズという外国の食べ物や肉類を食べたり、インスタント食品が多くなったり、輸入食料品の割合が高くなったことを話した。

住については、日本の家は気候によくあって作られていることを話した。

2時限目は土井先生がアクセントのルールと「ために」「たために」「から」の使い分けと少し読むという言葉で敬語の使い方と「こ」「そ」「あ」の使い分けを説明した。最後に要約文の書き方を習い4時45分に授業が終わり、とっても効果的な授業だと思った。

6月28日 土曜日 晴れ

黒田 恵美

今日は永保澄雄先生の第1回目の教授法の授業が午前9時から11時50分までであった。先生は自己紹介の時黒板に御自分の名前とお顔の略画を書かれた。かんたんに書いていながらよく特徴をとらえていてとてもうまいと感心した。先生は私たちに、ノートに書く心配をせずに、気楽に授業を聞いてくれとおっしゃった。日本語を覚えるためには、できるだけ多くの言葉を聞き、リズムをつかみとることだとおっしゃった。最初、母音を教えるときは、はっきりきちんと発音することがたいせつだとおっしゃって、いろいろな文を言わせて、発音の練習をしてくださった。折り紙の指導もしてくださり、それを使っていろいろな語彙や動詞を教えることができることも実演してくださった。次は歌と略画面を使って語彙や動詞を教える指導もしてくださった。ひじょうにバラエティーに富んだ教授法の実演をしてくださって、とてもおもしろい授業だった。

午後から、肱岡さん、一甲さん、福岡さん、立山さん、井関さん、中津海さんの6名が子供たちのための学校劇指導講座を受講しに出かけた。

6月30日 月曜日 雨

立山 小百合

今日は9:00~11:50まで丸山先生の授業がありました。この先生は外国へは何回かいらしたので私たちの考え方が解るのです(社会)

午後は青木先生の読解力授業がありました。

いつもはがらかであかるい先生です。根岸中学校で休業の時間がありました。

スケジュールがハードでつかれました。

7月7日 火曜日 晴

井 関 泉

玉川大学で教育原理の授業は高橋先生が遅刻して少しおくれた。先生は初めて松原さんに質問をしたが彼女はびっくりし、なんとなく答えて安心したと思う。先生はアルゼンチンがワールドカップを優勝したから辻さんと中津海さんへ、お話しをしてくださいとたのんで、2人は「うれしい、今はアルゼンチンではおおさわぎでにぎやかである」と言いながら説明して、先生は2人の笑顔を見て、少し分かるようになったと、皆で拍手した。

「おめでとう お2人さん!!」

「ありがとうイズミちゃん」→ロサ マルタ

7月2日 水曜日 雨

熊 谷 智 美

今日はいつものようにセンターにて授業。

9時50分から江崎さんが新しいスケジュールを持って来られ変更があったのでそれを説明して下さった。

10時から政治経済の授業が始まり、先生が前の授業の続き日本の産業についていろいろと話して下さった。

1時からは古沢先生と永保先生の授業で人魚と赤いろうそくの続きと手紙の書き方の続きをした。

午後7時から第2講義室にて書道をやりたいと希望する人たち全員集まった。この中には子弟研修生たちも一緒だった。

先生は自己紹介をして、それから私たちも全員自己紹介した。そして簡単な説明をしていただきました。来週の月曜日から授業が始まるそうです。みんな楽しみにしているようです。

7月3日 木曜日 曇

辻 ロ サ

今日は国際学友会日本語学校見学があった。朝から曇りであまり天気はよくなかったけれど10時に川端課長とともにセンターを出発し、電車を2回ほど乗り換えて11時30分に大久保駅に着いた。昼食は12時10分まで各々すきなところで食べた。そして12時30分に学校へ到着。森田先生がお出迎えて下さって学校のクラス編成、生徒数、学生のコース、プレースメントテストなどいろいろと詳しく説明をして下さった。

13時からそれぞれ当てられたクラスで授業の見学をした。私は4時限は国師先生のB1クラスに行った。授業内容は“日本語でれんしゅうちょうの26課と27課だった。

例： たなかさんはえいごがはなせます。たなかさんはちゅうごくごがはなせます。

A：たなかさんはえいごもはなせますし、ちゅうごくごもはなせます。

B: たなかさんはえいごもはなせるし、ちゅうごくごもはなせます。

問題IV: 助詞の練習

例: 私はにく□すきだ、さかな□すきです。

13時50分に終わり10分ほど休憩し、14:00から5時限が始まった。この時間は立園先生の教えるB5クラスに行った。このクラスは前のクラスより明るい印象を受けた。私たちは自己紹介をさせられ、いろいろと質問までされた。授業内容は“あたらしいことば”をつかって文を作る。“あたらしいいかた”

例: ①あべさん、みなさん、あいだ、あつさ

②でんしゃがこんでいてのれませんでした

先生方はもう20年以上も教えているベテランなのでとても自信を持って教えていた。私も早く良い先生になりたいと思った。

帰りになったら頭痛がして熱が出て来た風邪をひいたのかもしれない。

7月4日 金曜日 晴

中津海 マルタ クリスティーナ

第1時限 歴史(追田先生)

授業内容・桃山文化

- ・江戸幕府の成立と鎖国
 1. 江戸幕府の成立
 2. 大名の統制
 3. 日本人の海外発展と鎖国
 4. 身分制度
- ・産業と文化の発達
 1. 産業の発達
 2. 都市の繁栄と町人の台頭

第2時限 原先生とはっとり先生からの子弟技術研修生日本語講習についてお話しがあった。

- 内容
- ・講習の経過
 - ・講習の目標
 - ・講習の全体像
 - ・作文の扱い
 - ・2クラスに分けての指導

今日は朝から気分が悪くて授業に集中できなかった。ざんねんながら午後14:15時から開かれた原先生とはっとり先生の座談会には参加できなかった。

明日はぜったいに永保先生の授業に出席したいので、気分が良くなりますように…アーメン。

7月5日 土曜日 雨

星 クラール

永保先生の第2回目の授業はイラストをどのように描いて、それを使って日本語を教えられるかについてだった。動詞を簡単に表わせられる絵、顔のさまざまな表現、動物や花をつぎつぎと教えてもらった。

最後に折り紙を使って、敬語、形容詞、色、数え方、動詞、文型をごく自然に伝えられることを教えてもらった。

や な生徒を にさせるのは先生の工夫と勢力！

7月7日 月曜日 雨

肱 岡 春 香

第1時限：政治、経済（関田先生）

授業内容：水産業

工業

第2時限：聴解の授業が休講になったため宮広所長、川端課長、江崎さんとカリキュラムの編成について対談

午後7時半からは書道の初授業が行われた。思っていたより非常にむずかしいと思ったが楽しい1時間の授業であった。

今日は七夕の日なので初めて書いた字をみんなに『字が上手になりますように』という願いをこめて笹につるした。

さて効果があればよいのだが、後が楽しみである。

7月8日 火曜日 曇り

一甲 真由美 エジナ

第1時限：教育原理（高橋先生）

講義内容：子供に対する理解

第2時限：道徳教育の研究（佐藤先生）

講義内容：一斉対話形式の学習例

高橋先生の講義が始まった時、クラス全体がガヤガヤ話していたので、先生は学生達に大声でご注意なさった。講義中に友達と話したり、先生の前で居眠りをしたりする学生がいる大学は世界中探し

ても1つもないと言われた。授業中に雑談することが当たり前だと思う人は授業中のマナーができていない学生だとおっしゃった。

それから講義に入ったが、先生達が子供を理解してやる為にどうしたらいいかを考えさせる講義だったので、先ず「子供達の食卓」という題のビデオをうつした。

「食事はいつも誰と一緒に食べますか。」という質問を子供に答えさせるビデオだった。「1人で食べる。」と答えた子供が多かったので私達は大ショックだった。1人で食べなければならないことの原因を聞き、もっと驚いた。中には「お母さんはテレビを見ていて、お父さんは新聞を読んでいるから1人で食べます。」という子供もいた。

ビデオが終わってから先生は、私達、西洋人の食事のし方について興味を持っていたそうで、福岡さんと屋さんにその質問をなされた。

2人は、いつも家族全員で食べる習慣があると答えた。

いくら、ブラジルではまだ家族全員で食事の時間を楽しむ子供が大勢いるといっても、私達はその子供達に授業する段階になったら、中には家庭が貧しくて、父母は遠くで働いていて、おそく帰る為、1人で食べている子供もいるかもしれないので、その点を考えながら、教えていかなければならないと思う。

愛を求めている子供がいるからその子供達を心から受けとめてやるのが大切だということをいつも頭において授業すべきだと思う。

第2時限日には佐藤先生が道徳の授業の1つのやり方について講義なされた。

- 悪い例の1つ:

- 問い→先生の方から直接答えを出すよりも、なるべく、問いを出して、生徒たちに答えさせる方がいい。
- 消去法→だめな答えを捨てる。
- 流れの操作→「ちょっとあぶない。」と思った時、その答えのし方を中止し、模範的な生徒にその質問をしたり、問題を違う観点から見せたりする。

- 悪い例の1つ:

- 未処置→十分な答えが出ないうちに授業を終る。
- 転移不十分→どうしようにしたら最もいい効果があるかを考える。それを考えずに授業するのは無理である。
- ねらい→生徒にねらいのポイントをいわせる。それを先生が言ってしまうのはまずい。

- グループを使う学習

- 個別学習

午後2時40分より、学校劇夏期大学のオリエンテーションが行われた。

7月9日 木曜日 晴

第1時限：社会（丸山先生）

授業内容：人生の儀礼

第2時限：読解（永保先生・古沢先生）

授業内容：永保先生「手紙の構成」

「手紙の用語」

古沢先生「赤いろうそくと人魚」

丸山先生の授業はいつものようにとても面白くて、分かりやすかった。今日は日本人の一生のいろいろな儀礼を説明された。その儀礼について、面白い話しを聞かせて、日本人というのは他の国の人達と違って、こういう特別な習慣があると言われた。

永保先生の授業では手紙の構成、用語の説明。日本語で手紙を書く時はもう決まった言葉を使い、相手に対して失礼にならないようにと考えながら書かなければならない。それだけ、ポルトガル語と違って日本語は改まった、堅苦しい言葉であると思つづく思つた。

古沢先生は今日の授業で「赤いろうそくと人魚」という童話の説明を終わり、次の授業から「夢の十夜」を勉強するようになった。

7月10日 木曜日 雨～晴れ

第1時限 歴史（追田先生）

授業内容・黒船（ビデオ）

・幕政の移りかわり

1. 綱吉と白石の政治
2. 享保の改革

・開国前の日本

1. 農村の変化
2. 田沼の政治と寛政の改革

第2時限 根岸小学校で箱根林間学校についてのオリエンテーション

今日もまた雨…と窓のカーテンを開けて、ああ～蒸し暑いなあと思い朝食に行く。

歴史の授業はいつもよりは少し変化があり、そして内容としてもだんだんと面白くなりつつあるという先生の言葉がありました。

午後から2時半に根岸小学校で箱根林間学校についてのオリエンテーションを校長先生と石田先生がしました。「早くその日が来ないかなあ」と待ち遠しく感じた。帰りには生徒さん達が植えて育てた花を貰う。

5時頃には移住者の人と一緒にバレーボールをして汗を流して、マルタやレイコちゃん、トコちゃんのユーモラスがありとても気持ちよかった。

7月11日 金曜日 曇り

黒田 恵美

今日の午前中の授業は関田先生の政治・経済で、資本主義経済の特徴やいろいろな問題点などについて勉強した。この内容はとても興味深いものであり、解らないところを質問したかったのだが、日本語でどう言えばいいのかわからず、自分で自分をなさけないと思ってしまう。

午後からは土井先生の日本語（作文）の授業。

最初は、国際学友会にて行われた研修について、ディスカッションをやり、文法や教授法の良かった点やあまり感心できなかった点などを指摘したり、どう改めたら効果的かを話合った。その後、前の授業に書いた要約文の中のまちがいを直し、書き直す。テキストを読んで、内容を理解し、要約文を書くことは易いようでそうではないと思う。人が読んで、その短い要約文だけで、原作者が何をうったえようとしているのかを読みとれるような書き方をしなければならないと思う。

7月12日 土曜日 雨

立山 小百合

わあ…楽しいな～！今日は永保先生の授業があります。先生はいろいろな方法をつかって日本を教えてください。

歌、おりがみ、へとにのつかいかた、とにやのつかいかたも教えてくれました。

私たちはあまりじょうずにできないのに、先生は“とてもきれいです”。とか“とてもはやいですね”と言ってくれました。

私たちが一生懸命永保先生みたいな楽しい授業を進めたいと思っています。

努力して歌、おりがみ、絵を勉強してかわいい子供たちに日本語を教えたいと思っています。

がんばりま～す！

7月14日 月曜日 晴

井関 泉

歴史はいつものとおりではなくて、少し変わった授業へ参加した。「江戸時代から東京へ」を20分ほどビデオで見た。新しい時代には：

→鉄道馬車が走る。

→着物が服になる。

午後は玉川大学の3人の先生が私たちの希望を聞いて話し合った。皆が一番気があるのは教材研究

や文化史が大切だからぜひたのんでた。

つづいて、聴解の中里先生が最初の授業で緊張したが、少しづつなれてきた。私たちはいつものとおり、自己紹介をして、先生の質問も答えた。

7月16日 水曜日 曇り時々雨

熊谷智美

センターに於て社会の授業。10:05時に丸山先生がみえた。授業は日本の公害についてでした。私はこんな科学の発展している国をいつもうらやましく思っていたが、先生の話によるとたくさん問題があるそうだ。このような問題は自分の国ではまだみられないことだがそれの方がいいのではないかとつくづく思った。

授業は休みなし、12時まででした。最後に先生が私たちの日本に来てから思ったこと感じたこと等を書いて欲しいと言った。これが夏休みの宿題なのかもしれない。

12時45分から江崎さんが今度の伊豆、長岡で行われる夏季大学のことについていろいろと説明してくださった。

1時15分になると古沢先生がクラスにきました。今日新しい所を勉強した。そして宿題を先生にわたした。

3時25分永保先生との授業が始まった。手紙の続き、敬語、敬称等のことを教えてくださった。この後おり紙をやるはずだったが時間がなかったので先生がおり紙をくださったけれどもおり方はやらなかった。

昨日遊びすぎたせいなのか今日はとてもつかれた一日だった。

7月17日 木曜日 曇り

辻ロサ

9時50分起床。いつも思うことだけれどもう少し早く起きれないものだろうか…すばやく身仕度し、トイレへ駆け込んで10:00時きっちりに教室へ到着。先生はまだ来ていなかった。

今日は朝政治の講義があり、箱根山がどのようにして出来たのかを話してくださった。そして前回の工業のつづき、中小企業のことについて説明し、教材として京都で作られた“にしじん織り”のネクタイを持って来て見せてくださった。

12:00時に昼食。今日はカレー。この言葉を聞いただけで私たちの中で何人かは「エーッ!？」と言った顔をする。私もその一人。

13:00時から作文の授業。この前の要約文について話し合い、今日は新しい“連体修飾”を習った。そして最後に“外来語について”の要約文を作り夏休みの間の宿題を出された。17:00時に授業が終わり、少し体を伸ばすためにピンポンで遊ぼうと思ったけれど体育室にはカギがかかっていたので出

来なかった。

19:30時から書道の授業を受けた。“いし”という字を練習したけどとてもむずかしくて思うようには出来なかった。

夏休みまであと2日まちどおしいな。

7月18日 金曜日 晴

中津海 マルタ クリスティーナ

今日はきびしい暑さの中で新宿日本語学校を訪ねた。

9:15時に着き、9:40時からビデオを通しながら江副校長より学校の経営について説明があった。

10時:会議室に集まり、ふたたび江副校長よりこの学校の教育方針についてくわしい説明があった。

内容: ・外国人学生にどのようにしてより理解しやすい日本の文法を教えるか。

・単純な方法ながら教える側として、習う側にとって負担のないような文法構造を提示する責任から出た日本語学習指導法。

・学習ノートの活用:

a)動詞グループ

b)形容詞グループ

c)な名詞グループ

d)名詞グループ

e)時数詞グループ

f)する名詞グループ

g)内外

h)副詞

i)表現

j)文法

色分けになって活用されている。

12:20時:ブルー校舎へ移り授業参観

第1時限目 課題:日本語 担当者:江副校長 生徒数:10人

・授業内容:実用日本語、第2課:「かいもの」のビデオを通しながら会話の練習。

第2時限目:課題:日本語教授法 担当者:江副校長 生徒数:4人

・授業内容:「外国へ派遣されて行く教師が使用される日本語教育の方法」

・実用日本語、日本語教授法の一考案:

a)第5章:「全て日本語というのではなく、…」

b)第8章:「外国人に教える文法」

・「かわいそうな赤ちゃん!」

・「モットーは簡潔」

・「クラス内では」

学生たちによりわかり易い方法をその場その場で適切に与えて、またそのタイミングに習熟された授業が見られた。

28日から始まる集中講座が楽しみだ！！

7月24日 木曜日 曇り

星 クラウラ

21日からきのうまでの3日間、1かい目の夏休みだった。短すぎるので、日本語教師の大部分はセンターで過ごしたが、日帰りで行ったり、上野水族館、映画館へ行ったり、雨の中の山下公園の花火大会を見に行ったりした。

きょうは、全員午前5:30に起床、7:00には根岸小学校の5年生と箱根林間学校にバスで発った。

箱根の長尾峠から深良水門に高原ホテルまでの4時間のハイキングコース、非常にはげしかったが、生徒たちには負けてはいられないので、最後まで元気よく歩くように努力した。

曇りで富士山は見えなかったが、山々の緑はなんともいえない感動を受けさせた。

ホテルに着き、全員温泉に入って力を取りもどしたので、夜のキャンプファイヤーには元気よく参加できた。

それから小学校の先生方と反省会があり、南米の小学校にはハイキングの習慣はないことを話したりした。

7月25日 金曜日 曇り

肱 岡 春 香

午前5時半の起床、前の日のハイキングのため皆少しつかれぎみであった。ラジオ体操と朝食を終えて、荷物の整理をし、ホテルを出発した。ホテルから徒歩10分ぐらいの所のケーブルカー乗り場まで行き、そこからケーブルカーで、「こまがたけ」に登った。

肌寒い朝の霧の中を頂上へと向かった。頂上も霧にまかれて真っ白だった。一面真っ白で、気持ちの良い寒さは何とも言えなかった。帰りは歩いて山を下りることになっていた。頂上を少し見てから下りが始まった。朝露で濡れた石だたみをこぼさないようにと気を付けて下った。ふもとへ着いた所から船で「芦の湖」をわたり、箱根町まで行った。

そこで昼食を取り、関所を見学したり、公園で休んだりした。

帰りは予定より少々早く、無事センターへ帰ることができた。

7月28日 月曜日 晴

一甲 真由美 エジナ

新宿日本語学校集中講座

9時20分→講座の説明(吉村先生)

第1時限

第2時限

} 9時30分～11時10分

B1a クラス(中島先生)

授業内容: 復習:

- ・時数詞(月、火、水、木、金、土、日)
- ・四季(春、夏、秋、冬)
- ・形容詞(否定形も練習する)
- ・自己紹介の仕方
- ・OHPで会話の練習をする
- ・数字
- ・かたかな言葉→先生は英語で黒板に書き、生徒達にその言葉をカタカナで書かせる。
- ・ビデオを利用して新しい一課を導入する。
- ・新しい文型: どんな名詞がいいですか。

～のがいいです。

例: どんな地図がいいですか。

大きいのがいいです。

第3時限

第4時限

} 11時30分～13時10分

B1b クラス(大坪先生)

授業内容: テスト(約20分)

復習: ものの数え方(～本、～枚、～個、～人、～冊)

OHPで新しい一課の導入をする。

新しい言葉 : 先ず

それと

カメラ

ストロボ

新しい言い方: もう少し先

～を知っていますか。

～を知りません。

OHPを使って会話の練習をする。

第5時限：日本語教授法講座

江副先生（14時～17時）

講義内容：助詞の使い方と意味。

19時30分～20時30分：書道の時間

内容：

今日は朝早く起きて、夜の20時30分まで皆頑張りましたね。おつかれさまでした。明日はまた一生懸命やりましょう。

7月29日 火曜日 晴

松原 美智枝

昨日と同じく朝早く起きて皆と一緒に新宿日本学校へ行った。3つのグループに分れて授業を参観した。私のグループの第一～二時限は角谷先生のクラスだった。このクラスは西洋人が多く全然漢字の分からないクラスだった。新しい課題に入る前にもう習った文型を使いながら生徒達に日本語を話させるように先生はいろいろな質問をしていた。例えば「どこへ行きましたか。」「どこへ行きたいですか。」それから新しい漢字、新しい文型を教えた。この先生はまだ経験が浅いそうで、直接法に迷ってしまい、学生達はあまり分かっていなかったようだった。第3～4時限は中島先生の授業だった。この先生はもうマレーシアでも日本語を教えた経験があるそうで、外国人の生徒たちがすぐ分かるように上手に直接法を利用しながら授業を進めていた。新しい課題に入る前に数字のテストをやりました。それから「～です」「～と思います。」「～でしょう」「～かもしれません」の説明とそれぞれの違いを教えました。そして「～の方」の説明もした。午後からは江副先生による教授法講座で、文法の説明があった。その時間には授業参観についての皆の感想が聞かれました。私もやはり成人に教えているのでこの授業参観はとても役に立ったと思い、できたらまたゆっくりその学校の教授法について勉強したいと思っている。

7月30日 水曜日 晴れ

福岡 ソフィア

今日もまた朝早く起きて、目をこすり、こすり、電車に乗り、新宿日本語学校での研修は最後の日でした。

9：30～11：10まで一甲さんと駄岡さんは一緒に麻生先生のクラスを見学した。そこでは、テストの提出があり、10時半頃ほんとうの授業がはじまり、先生の教え方に少し覇気がなくて学生がかわいそうだった。

11：20～13：10にワープロの使い方について中島先生が指導してくれました。皆ワープロを使う事ができました。

14:00~16:00に広島先生から教授法について教えてもらった。皆、集りなれていない電車通行、そしてなんともいえない暑い日だったので5時頃、急いでセンターへ帰り、明日から3日間、伊豆長岡温泉である、学校劇夏期大学へ行く用意をした。

7月31日 木曜日 晴れ

黒田 恵美

今日は伊豆長岡で開催される学校劇夏期大学の第1日目である。私たちは8時半にセンターを出て、新横浜で、玉川大学の金平先生と落ち合い、新幹線こだま号で三島まで行き、昼食をとって、電車で長岡まで行き、旅館のバスで長岡ホテルへ到着した。着いた時間開会式を始めようとしており、私たちもプログラムやテキストなどが入ったふうとうをもらい部屋の番号を確認してから大宴会場へむかった。開会式ではこの夏期大学がどう進められて行くか、またその目的は何かを説明されたり、時間割などについてオリエンテーションがあった。午後2時から、劇作家であり演出家の佐藤信氏が「演劇のある場所」というテーマで講演を行われた。講演のあと参加者たちは各分科会に分かれて実習を行なった。夕食がすんだあと、1時間ぐらいで、7時半から始まった「北から南から」という自己紹介を兼ねた参加者たちの触れあいの集いのための寸劇を考えなくてはならなかった。うまくいくかどうか私はすごく心配で緊張していたが、「北から南から」はとても楽しい雰囲気の中で進められていった。

8月1日 金曜日 晴れ

立山 小百合

伊豆はとてもきれいな所だと言われますが、私たちは伊豆長岡ホテルしか知ることができませんでした。

2日目には7時ごろ起き、大変おいしい朝ご飯を頂き、また楽しい日を迎える事ができました。

9時から1時まで各分科会へ分かれ、3時から6時までは即興劇実習をしました。

夕食の後には即興劇の発表がありました。その夜の集いが終わった後でコンパがあり、皆で楽しく歌ったり踊ったりしました。

あ!!! 「北から南から」の発表で私たちの部屋のグループが優勝して、すてきな本を頂きました!!

とても楽しい一日でした…

8月2日 土曜日 晴れ

井関 泉

第34回学校劇夏期大学の最後の日がいよいよ来て、少しさみしい感じだった。今朝、分科会へ参加する前に金平先生と一緒に長岡ホテルの藍染教室へ行った。藍と言う草をくされている水に置いて、

その中へ入れる。すぐに変化して、青白くなって来る。あと、きれいな水へ入れると、青くなる。濃くするためもう一度、入れなおす。

昔は虫が来ない、とてもじょうぶな布と言われていた。木綿がよく染まる。

素材は、ハンカチ

テーブルクロス (大、小)

のれん (大、小)

時間は、30分～60分位

「1回の体験から藍がすきになり、藍を語る仲間となる」と言ってる。さて、お別れの時間が来てこの3日間、歌い、踊りながら、汗を流し、劇をしながら参加した。

劇のクライだった私、いろいろな事に出会い、自分で体験して見て、初めて、他人に話すことが出来るようになりました。

8月7日 木曜日 晴れ

熊谷智美

今日から夏期集中講座がはじまりました。

午前10時から「日本の唄」というリラックス授業でした。若松先生から芸能界の話をいろいろときかされました。松田聖子、美空ひばり他、有名な歌手のことを知っている人ですばらしいなあ～と思いました。

午後からは日本の昔しの歌、歌謡曲などをカラオケで歌ったりしました。

この先生は歌がとても上手でしたのでおどろきました。

先生が帰った後も、全員でカラオケで歌って楽しく過ごしました。

いつもこんな授業だったらいいのになあ～

8月8日 金曜日 晴れ

日本語児童教育。

8月9日 土曜日 晴れ

中津海 マルタ クリスティーナ

今日は午前9時から12時まで正善先生の日本語児童教育講座に参加した。ほんのわずかな3時間だったけどとても楽しい一時を過ごした。いろいろな教材の作りかたを習った。ただ1枚の紙をさまざまな方向へ折ることによって、「何とかかわいらしい形が生まれてくるのだろう」と思った。または、タオル1枚からぬいぐるみの「寅吉君」が完成されることは考えてもみなかった。

工夫を本にして、教材を作り上げる事実がとてもいい参考になった。

8月11日 月曜日 晴れ

星 クララ

石井先生の「学習への導入とレクリエーション」というテーマで第1夏期集中講座はきょうで終わった。

先生は集団力学 (GROUP DYNAMICS) を利用して、どのように授業などを楽しくしていくかなどを教えてくれた。

午後はレクリエーション指導についてだったが、おもにレクソング (Recreation Song) とゲームについてだった。

教師ということは、ただ学習してほしいものを教えこんでいくことではなく、どのように楽しく、おもしろく、いつも「GOOD IDEA」を持って授業を進めていくかを考える人でなくてはいけないときょうの講座でみな感じただろう。

8月20日 水曜日

8月21日 木曜日 晴

一甲 真由美 エジナ

今日は第2夏期集中講座の2日目の日だった。野田先生の文法の講義が行われた。

第1時限：10：00～12：00

講座の内容「日本語の動詞の活用」

- ・動詞の分類
- ・5段・下1段・上1段動詞の例
- ・動詞の辞書形 (終止形) から「ない」の形 (未然形)、完了の助動詞「た」・接続詞「たり」・「て」の形、可能形 (れる、られる) 等を導く規則
- ・動詞の「ます」の形から「ない」、「～た」、「～たり」、「～て」、可能形等を導く規則
- ・「カ変」と「サ変」動詞、活用の例外な動詞の活用表を作り、例外的なところを指摘し、その原因を述べる。

第3時限：13：00～16：00

講座の内容：品詞分類

- ・名詞
- ・イ形容詞とナ形容詞の違い
- ・動詞とイ形容詞の違い
- ・名刺とナ形形容詞の違い
- ・助詞、接続詞、接続助詞、助動詞の使い方

・品詞という点から考えて、例外的な働きの言葉。(例えば:「暖かった」と「暖かだった」)

話す時はあまり文法の方は考えないけれど、文章を書いている時に、疑わしい点や怪しい点が出てくると、文法の上で考えると、正しい言葉の使い方や表現のし方をわかることができると思う。

日本語文法を勉強していくと、勉強する程、日本語を学ぶおもしろさを味わうことができ、とても楽しい。

8月22日 金曜日 晴

松原 美智枝

今日は久しぶりに青木先生の授業を受けた。いつものように明るくて面白い授業だった。

テープをどういう風に教室の中で使えるかを話してくださった。皆でいろいろテープの使い方とってよい点と悪い点を考えた。

午後から、そのテープの録音のし方と使い方について、説明していただいた。そして私達も少し簡単な会話を録音してしてみた。最初は皆緊張していたので、まるでお葬式のような声ではないかと先生に言われた。けれども最後の録音になると、皆の声に元気がありすぎてボリュームを低くしなければならなかった。

これから、ラジオの番組や日本人の会話を録音して来年ブラジルへ持って帰りたい。そして向こうでも自分でテープを作る自信ができた。

8月23日 土曜日 曇

黒田 恵美

今日の午前中は今泉先生による文法の授業で「と」「ば」「たら」「とき」の使い方について勉強した。授業の内容そのものは、それほど難しいものではなかったが、プリントに書かれてある説明の言葉が難しく感じられた。解りやすく書かれた説明ではなくて、レベルがちょっと高かったと思う。しかし、日本語を勉強しに来ている私たちにはその方がいいのかもしれない。文法の説明を一通りやりおえた後、先生はモンゴル語の直接法を使った教え方を見せてくださった。全然聞いたことのない言葉を理解しながら覚えていくことはとても難しい。ジェスチャーをあまり使用しないので、最初、文型をつかみとれなかったが、先生がゆっくりと発音して、何度もくりかえし会話を練習させていると、解かってきた。すると、おもしろくなってきた。日本語を外国人に教えるときも、解りやすく、おもしろく教えることが大切だが、子供の場合、それがいっそう困難な仕事だと思う。自分から興味を持って覚えようとしている子供が少ないからだ。その視点から考えて、モンゴル語の直接法を見せていただいたのは良かったと思う。みんなが聞いたこともなかった言葉であり、あまり興味をもたない言葉だからである。私たちが、子供の立場に自然に置かれて、短時間ではあったが、新しい言葉を

学習することになり、そこからいろいろな問題について考えさせられたからだ。午後からは永俣先生の教授法の授業だったが、前の授業のときに習ったことが多かった。しかし、「とつぜん」「だしめけに」「いきなり」「ふいに」のような、ほとんど同じ意味の言葉のニュアンスのちがいを考えることはおもしろいと思った。

9月1日 月曜日 晴

福岡 ソフィア

今日は一週間ぶりの授業でした。皆、楽しい夏休みの後なので少し疲れていた。

午前中は歴史の授業で初めに近代百年の歩みシリーズの明治時代文明開化の世の中を見る。それから明治維新の版籍奉還(1869)から領土の確定(1875)まで、富国強兵と文明開化の中では、地租改正、徴兵令、殖産興業、北海道の開拓、欧米の文化をとり入れる事。そして、立憲政治の成立の中では、自由民権運動の始まりや、士族の不満や国会開設の詔の事について講義を聞く。だんだんと近代歴史に入って来たので面白くなってきた。

午後は、3時から中里先生と日本語聴解の授業を受ける。テレビのニュースの聞き取りの練習をした。

夜、7時半から8時半まで書道の授業で「うめの花」を練習した。書道の授業が終わってすぐ、川端課長と江崎様と名古屋大学と明治村見学と鎌倉ツアーについての打ち合わせがあった。

9月3日 水曜日 曇

立山 小百合

今日は私たちは珍しく早く起きて、7時5分にセンターを出て名古屋へ行きました。

新横浜で新幹線に乗り換えて8時6分出発をしました。

名古屋駅からまっすぐ明治村へ行き4時まで見学させてもらいました。とても楽しい時間でした。

名古屋駅で地下鉄で一社駅まで行きました。とてもきれいな所ですけど、やっぱり私たちみたい
に10ヵ月住むにはちょっとむりだと思いました。

今日はとても忙しい日でしたが、一生忘れられない思い出になったと思います。

9月4日 木曜日 晴

井関 泉

名古屋大学:

- ・ オリエンテーション→土岐先生
- 10年ぐらい
- 最近は先生が21名

あまり出来ない生徒は夏休みに勉強をする

- インタビュー
→ 生徒～先生～生徒
会話の練習
- 講義→土岐先生
→ 発音の練習

最近は共通語という言葉がふえている

名古屋センター先生とのミーティング：

日本語にたいして、質問、説明など……

9月5日 金曜日 晴

熊谷 智美

名古屋へ来て2日目で、今朝は、荷物を持って研修センターを出て名大へ向った。

名大ではコンピューターで日本語を教える方法を少し説明してもらい、自分で実際にやらせてもらった。

その後、水谷先生がいろいろと日本語について話してくれた。ここで今まで自分がよくわからなかったことなど説明してくれた。

前の日と同じように先生方と食事をしながら懇談会。

午後から土岐先生の授業、ビデオ（ヤンさん）を見ながら質問をされながら、いろいろと教えてくださった。

名大での勉強はこれで終りだった。この土岐先生という方の教授法は、とてもおもしろくて、いい方法だと思った。

名古屋まで来て、街をぜんぜん見れなかったことが残念だったが、あわてて駅まで来て新幹線に乗って帰って来た。

9月8日 月曜日 晴

今朝8時に根岸駅から出発、大船駅からモノレールで江ノ島へ行った。少し歩いたが夏ほど人はなく、ウインドサーフィンをしている人たちが多かった。

海外移住から私たちの取材のためにいっしょに行った記者さんを含めて14：30時まで自由時間、私は昼食を食べてめずらしいものがたくさんあったのでブラブラしたり浜辺を歩いたりした。それから鎌倉の光明寺に行った、寺内見学、自由時間には海を見に行った。夕食後、仏教についてのお話があり、お風呂に入ってから自由時間、今日いっしょに来れなかった立山さんにみんなで電話をかけた。

10時にしようとうだったが、みんなでドクンバクン、まくらを投げ合ったり写真を写したり大変、でもとても楽しい一日でした。

9月9日 火曜日 晴

9月10日 水曜日 晴

星 クララー

明治村見学、名古屋大学で研修、鎌倉ツアと屋外研修が続いたが、きょうから3週間またセンターで授業を受ける予定だ。

第1時間目は社会で、日本の家庭（家族社会）について、戦前と戦後の変化を比べたり、現在の家族をめぐる問題点などをしょうかいされた。

日本語読解では、夏目漱石の「夢十夜」を読んだり、品詞の副詞について勉強した。

9月11日 木曜日

肱 岡 春 香

午前中10時から12時までの授業は政治経済であった。

現在、日本ではいろいろと問題になっている経済的に不安定な国鉄について話があった。

午後は日本語作文件文法の授業だった。今回は接続詞についていろいろ勉強した。継続を表す「て」について分析したり、応用について話し合ったりした。

一応5つに「て」を分けることができた。非常におもしろい授業であり、日本語のおもしろさをあらためて、味わうことができたみたいだった。

9月12日 金曜日 雨

一甲 真由美 エジナ

午前8時にセンターを出て、SAINT JOSEPH COLLEGEへ、授業参観に行った。

8時30分に、S. J. C. の日本語の担当責任者の奥原ジョージ先生とお会いし、9時から10時まで、学校の天主堂で、生徒達と一緒に、ミサに参加した。

10時から11時まで、一年生と二年生のクラスを紹介して頂き、11時まで、私達は3つのグループに分かれて、それぞれ一年生と二年生の授業を見せて頂いた。

私は、奥原先生の授業を見せて頂いた。6歳から8歳の生徒達の一年生のクラスだった。生徒達は全く日本語が分からないので、先生は、本にある絵を見せて、単語を教えていた。45分間の授業だった。

12時に、皆一緒に奥原先生とお食事をし、昼は自由時間となっていたので、石川町駅で皆解散した。

9月16日 火曜日 雨

松原 美智枝

第一時限 : 社 会 丸山先生
授業内容 : 日本の教育(戦前と戦後)

第二時限 : 政治経済 関田先生
授業内容 : 東西の対立
日ロ戦争
次い戦争
ロシアの革命
ベルリンの壁

第三時限 : 歴 史 迫田先生
授業内容 : 明治時代
日ロ戦争
日清戦争

今日ほどの科目の内容もどういふ風に戦争が日本に影響を与えたという事でした。そして戦争についてのビデオも見ました。もう二度とあのような残酷な事が世界で起こらないようにと考えました。

9月17日 水曜日 曇

福 岡 ソフィア

午前中10時から政治・経済の授業であった。南北関係の問題や大東亜共栄圏や脱亜入欧の事を話した。そして現在の経済的豊かな日本は良いのか弱いのか?心は幸福か不幸かについて話しました。

午後1時間目は古沢先生の日本語読解で夏目漱石の「夢十夜」の第六夜のテキストを再読した。

2時間目は永俣先生に敬語について練習問題をして、文法の本をプレゼントしていただく。

夜はいつもの水曜日のように書道の授業があった。

9月18日 木曜日 晴

黒 田 恵 美

今日は午前の授業の前に、江崎さんによる、玉川大学での研修について、オリエンテーションがあった。10月から12月の上旬まで、日本語教授法、日本語学、日本語生活研究、日本事情、日本語教育概論、授業演習、言語学習、心理学と玉川教育(概論、音楽、体育)を受講することになっている。5月から7月までは1週間に1度だけ通学していた玉川大学へ、今度から月曜から金曜日まで毎日行くことになっている。

午前中の授業は迫田先生の歴史の授業だった。「近代日本の歩み」の中で資本主義の発達と近代文化のことについて勉強した。

9月19日 金曜日 晴

立山 小百合

今日は丸山先生が社会の中で「日本における教育の過熱」というテーマを話ししてくださいました。それから「日本の治安」についていろいろ説明してくださいました。

昼から土井先生の授業がありました。新聞記事を持って来てくださって、意見を書かせていただきました。

ビデオを見て大事な所だけメモをとる練習もしました。連体修飾の説明もしてくださいました。

9月20日 土曜日

井関 泉

今日は、土曜日だったが、私達は、いつものとおり授業に参加した。永俣先生は日本語教授法については良い先生と思うが、しかし、三回も似たような方法で、教えてくださったのである。そのために少し時間がもったいなと思った。

午後から、皆、それぞれ、好きな事をして楽しんだ。

9月24日 水曜日

辻 口 サ

朝からバタバタ、寝坊をして10時に起きてぎりぎりセーフで教室へ行った、いつものとおり歴史はあまり良い授業ではなかった。11時に休んで、お昼までつづけた。

午後からは読解の授業、ナガホ先生（二人）にプレゼントをみんなて贈った。古沢先生の時間はつまらなくて寝むくなった。

18時から15回生のおわかれパーティーが始まった。みんなでカラオケをやったりワイワイさわいで23時に終わった。

15回生の人達が帰ってしまったらセンターも寂しくなる。

9月25日 木曜日 晴

中津海 マルタ クリスティーナ

1時限目（10時～12時）： 5ヵ月間にわたって、社会の最後の授業、今日は日本の文化の変化についての講義だった。日本文化の土台となってきた自然環境と歴史的な流れについてくわしい説明があった。

長いみたいでみじかい5ヵ月間、つねにユーモアで活発であった丸山先生の印象はえいえんに、私たちの心の中にのこるだろう。

2時限目（13時～17時）： 土井先生の作文の最後の授業、今日は品詞の分類の中に入る連体修飾の活用について授業を進めた。（A）（B）の文を上げ、（B）を修飾節として（A）（B）二つの

文を結びつけ、そこにどういふ構文的問題が起こるかを考えさせてくれた。

9月26日 金曜日 晴

星 クラウラ

午前10:00から午後13:00まで、早稲田大学の語学教室を見学した。

研究所では日本語授業のVTRや録画スタジオ、語学ラボラトリーや機械室を見学した。授業参観ができなかったのは残念だった。昼食は大学の招待で、語学の先生方との懇談会があった。

早稲田大学では、演劇博物館も見学した。そこでは原始芸能、伎楽、能、新劇などの資料が展示されていた。

見学が終わった後、上野西洋近代美術館にターナの展覧会をみにいった。

9月29日 月曜日

肱岡 春香

1時間目は歴史の最後の授業であった。

近代歴で私達に最も興味深い世界大戦とそれの日本に対しての影響を見ることができた。

2時間目は午後3時から6時まで、中里先生の聴解の授業であった。いつもはニュースを聞いたり、見たりしてしていたが、今回はまとまった一つの話を見ることになった。第二次世界大戦に基づいて作成された「マリコ」を3時間にわたって見た。前授業でみた歴史的なことが次々と出て来るので非常に分かりやすく、おもしろかった。

ただ3時間見つけるということが少々苦痛であった。

9月30日 火曜日 晴

一甲 真由美 エジナ

午後1時30分に玉川大学で明日から始まる2ヶ月コースのオリエンテーションがあった。Aコースの先生方も玉川へいらっしやった。

先ず最初に、森先生から、玉川学園の創立から今までの歴史のことを少しお話しして頂き、私達に講義なさる先生方を御紹介してもらった。

玉川学園の教育と考え方について知らせてもらって、スケジュールを説明して頂いた。

それから、文学部I、II、III、保育園、小学校、中学校、体育館の建物を案内して頂き、午後3時30分にオリエンテーションが終った。

10月1日 水曜日 雨

松原 美智枝

長い間通っていなかった玉川学園へ今日の朝替と一緒に行きました。

第2時限は金平先生の「日本語生活」の授業でした。その授業ではAコースの先生方と朗読の練習をしました。

第3時限は「日本語学Ⅰ」という授業で平山先生が私達に漢字を中心に教えてくれる事になりました。この先生の説明を聞いていると、何だか漢字がやさしくなって、もっと覚えやすくなった感じがしました。

第4時限には中学部の授業演習といって中学部を見学しました。その後、国語の先生方が紹介されて、中学部の制度について、いろいろな説明がありました。

新しい学期が始まったので、今度こそもっとがんばらなくてはいけないなあ、と思いました。

10月2日 木曜日 雨

福岡 ソフィア

今日も朝早く玉川大学に行き、立山さんのすてきなピアノのメロディーを聞き、1時間目の正善先生の日本語教育概論をAB合同の授業でした。

2時間目は授業がなくて、3時間目は長野先生の日本語教授法を玉川の学生と一緒にきびしくて、すばらしい講義を受けた。

4時間目は上原先生の日本語Ⅲを私達Bコースだけで受けました。主に先生が南米に日系人の調査に行った時の話をしていただいた。

夜は書道の授業があり、「シグナル」を練習した。

10月3日 金曜日 晴

黒田 恵美

今日の玉川大学での勉強は楽しいものだった。小学生たちの朝の体操を観て、その後、小宮路先生の指導による音楽の授業を参観させていただいた。生徒たちの内にある能力を自然に引き出すことが心がけた、とても愛情のこもった楽しく明るい授業だった。午後からは迫先生の音楽の授業によって玉川教育の一面を勉強させていただいた。技術より心(コラソン)で歌うことが大切とおっしゃった迫先生の授業も楽しい雰囲気の中で進められた。最後の授業は高橋先生の幼稚部についての講義だった。高橋先生はとても温和な方で、幼い児童たちへの細やかな愛情が感じられた。

10月4日 土曜日 晴時々曇

立山 小百合

今日は昼食を早くして新宿の CULTURE CENTER へ行きました。新宿駅で土井先生が待っていました。

日本語の発音に付いてこのセミナーが起きました。

- ・水谷先生
- ・城生 佰太郎先生
- ・今田滋子先生

この先生たちは外国人の日本語の発音に付いてみごとな（けいけん）を持っているので私たちにはとても良い話し合いだと感じました。

またそういう機会がありましたらぜひ参加したいね…と私たちは思います。

10月6日 月曜日 晴

井 関 泉

まだ秋ですが、最近、寒い日が続いている。私達はいつものとおり、玉川大学へ通って授業に参加した。1時間目は、玉川教育概論－石橋先生の授業であった。

石橋先生は初めての授業であったが、飽きないために上手に進んで行った。2時間目がなかったおかげで、町田までおいしい昼食をして、戻った。3時間目は、強い顔した先生だったが、なんとなく優しく、安心した。

10月7日 火曜日 晴

熊 谷 智 美

今日は、普段より少しゆっくりできる日なので9時頃センターを出て玉川大学へ向った。

2時限目は文学部第三校舎で、片山先生との授業、日本語学Ⅱ、だった。はじめての授業だったのでおたがいに自己紹介をした。そして先生が私たちに「どういうことを習いたいか」と一人一人に聞き、それに合った授業を行うと言った。

3時限目は何もなかった。

4時限目は長野先生の授業、日本語教授法だった。この先生そのものの教授法はとてもいいとも思っている。授業の内容の中には教育方法には、技術、教育愛、と動機づけ等が必要であると先生が言った。私も本当だと思う。でも、どのようにしてやったらいいのかが問題である。どうしたら子供が興味をもって覚えなくなるか？。それは簡単ではないが、このことについて自分自身が興味をもっている。

今日は、とても楽しい授業だった。

10月8日 水曜日 晴

辻 口 紗

今日は朝の授業がなかったので11時すぎにセンターを出、町田で昼食を食べて、少しぶらぶらして、

玉川に行った。

平山先生の漢字の授業はとても良い教え方をしてくれる。

私たちは新しい漢字の辞典を買って、それを使った授業だった。

中学部での授業演習は、先生にいろいろ質問をしたり、文法についての問題を言ったり、玉川で使っているテキストを見せてもらった。

10月9日 木曜日 晴

中津海 マルタ クリスティーナ

1時限目は正善先生の日本語教育概論の授業をAB合同で受けた。

水谷信子先生が研究なされた六つの、日本語教授法について説明があった。

2時限目は大竹先生の言語学心理の初授業を受けた。現在、言語学習に対してどのような諸問題が強調されているかが明らかになった。

3時限目は私の大すきな長野先生の授業、いつになったら先生みたいな指導ができるようになるだろうか…、今日は指導計画の意義と種類についてくわしい説明をなされた。

4時限目は私の大きらいな上原先生の授業、玉川学園のモットーに当嵌まらない教師だと思う。たぶん、もっと一人々の学生をたいせつにして指導なされたらすばらしい授業になるだろうと思う。

マイナスな点も色々あったけどとても効果的な一日だった。

10月10日 金曜日

10月13日 月曜日

肱 岡 春 香

1時限目は石橋先生の玉川教育概論の授業であった。玉川教育が何に基づいて成り立っているのか、そしてなぜそういったことを教育の原点として取り上げているかといったことを話された。玉川学園の歴史そして玉川の教育に対しての方針が本当に少しずつ理解でき始めたように思われる。今までやってきた自分なりの「教育」というものをもう一回違った観点から眺められるチャンスを与えられたような気がする。

2時限目は金平先生の日本語生活研究であった。初めに発声練習それから全員でテストの音読をやった。私達が朗読を毎回やらせられ、それがどこで日本語の生活研究につながるかが分からないのはやはり私の勉強不足なのかなと思っている。

3時限目は瀬山先生の日本事情、日本の古事記、日本書記に記されている日本の成り立ちを日本の歴史についての授業であった。

4時限目は片山先生の日本語学Ⅱで日本語らしい発音と発声そして外国人が日本語を学習する時の

発音の問題等についての授業であった。正しい発音ができるためには日本語の文節の単位を正しくとらえるところから始まる、といったような私達には気付きにくい点を少しずつ明らかにさせていてもらうようである。

10月14日 火曜日 曇

一甲 真由美 エジナ

今日の第1時限目は片山先生の日本語学Ⅱの講義だった。講義の内容は、文、文節、音節、拍と音素の説明と言葉の発音、文章のイントネーションに関する問題のことだった。外国人に日本語を教える場合に、発音の上でどんなところに注意して教えたらいいかを考えさせる講義だったのでとてもよかった。

第2時限目は、Bコースの私達には自由研究の時間だったが、Aコースの先生方の日本語学Ⅰの講義が休講になったので、AB合同で、2時限目と3時限目に、長野先生の講義を聞かせていただいた。

講義内容 : かなづかい

「指導計画」の意義と種類

カタカナを教える時の指導案の説明

片山先生と長野先生の講義は、私達が教える時に最も重要な点について反省させる講義で、とてもいい参考になると思う。

10月15日 水曜日 晴

松原 美智枝

水曜日は第1時限目がないので2時限目の時間に合わせて玉川大学へ行った。

第2時限目は金平先生の「日本語生活研究」の授業だった。今日は「きりなしうた」と言ううたの朗読の練習をした。五つのグループに別れ、練習をした後、皆の前で発表があった。その発表を先生は録音して皆で聞いた。

第3時限目は平山先生の「日本語学Ⅰ」の授業だった。漢字辞典を引きながら漢字の成り立ちを勉強した。

第4時限目は中学部の授業演習だったが体育祭の練習のため、授業は休講された。

10月16日 木曜日

福岡 ソフィア

1時限目は正善先生の日本語教育概論Aコースの先生方の学校や生徒のことを先生が聞きました。

2時限目は大竹先生の言語学習心理学で母国学習と第二言語の学習、そして第二言語の学習と教授法についての講義でした。

3時限目は私の大好きな長野先生の日本語教授法でした。そして最後の授業は私達の事をおかしな新しい人類と言う、上原先生の日本語学Ⅲだった。

10月17日 金曜日

10月20日 月曜日 晴

黒田 恵美

今日の第1時限目は石橋先生の授業の「玉川教育概論」で、「教育」という言葉を分析して、真の教育とは何であるかについて考えさせられた。一人一人の内にある良いものを自由に引き出せるよう手助けをすることが教育なのではないかということ先生は考えさせてくださった。第2時限目は金平先生の音声の授業、そして第3時限目の授業、日本事情で瀬山先生は仏教と仏教芸術について講義が行なわれた。

10月21日 火曜日 曇

立山 小百合

今日は1時間と3時間目の授業はありませんのでセンターから出て行くのは9時でした。

玉川大学へ毎日行くのはもう3週間です。とても良い経験だと思っています。良い先生、あまり良くない先生もいますが、私はああ…こんな先生になりたいなとかこのようにやったらあまり良くないね…と想像できるのでとても良い経験だと思っています。

・2時間目→せやま先生 ー正しい日本語の発音

・4時間目→長の先生 ー単要のつくり方

授業が終ってからさっそくセンターへ帰りました。

6時から開発青年たちへのWELCOME PARTY をしました。

外務省とJICA（本部）の人たちもいらっしゃいました。とても楽しいパーティを向かえる事ができました。

10月22日 水曜日 雨時々晴

井関 記

平山先生は元気で、いつも楽しい授業をしてくださる、なんとなく漢字がおもしろくなりそうである。

漢字の組み立ての種類：

① 分けられない字=口、目、日…などのように絵文字から出来た漢字は、それ以上こまかく分けられない

② 左右に分けられる字=科、計、列…どれも左と右の二の部分に分かれる。

長野先生の授業へ参加して、先生は詳しくOHPの説明をしてくださったが、私が、教える学校ではまだまだ無理で、それが、一番、残念だと思っている。

10月23日 木曜日 晴

黒田 恵美

朝早くからバタバタして7時27分の電車で飛び乗り、みんなより遅く根岸駅を出発。東神奈川へ着くと、みんなは電車の中にいた。

1時限目 日本語教育概論 正善先生

この授業は先週と同じく、私たちの学校のこと、あるいは問題点などを先生に聞かれ一人ずつ自分の学校のことを話した。この授業では、問題に対する先生の見解はなかった。ただ先生は聞くだけだった。

2時限目 言語学習心理学 大竹先生

いつもの通りの授業で特別なことはなかった。授業内容は「第一言語(母語)の習得と第二言語の学習」についての講義だった。

3時限目 日本語教授法 長野先生

学生たちと合同の授業だったのでとてもきやかだった。今週に入ってこの先生との三度目の授業だ。でもこの先生の講義はとてもよくて、「なるほど」というようなことをたくさん教えてくれるのでみんなは一生懸命聞いていた。今日も指導案の構成についての講義だった。悪い例のプリントをどのように使うかをみんなで考えた。本当に飽きがこない授業だった。

4時限目 日本語学Ⅲ 上原先生

この先生は、いつものように私たちがバカにしながらの授業。本当につまらない授業です。こんな先生の授業へは参加しない方が良くはないかともいつも思う!!

ア～いやになる。!!

10月24日 金曜日 晴

今日は2時限と3時限しか授業がなかった。

辻 口 サ

1時限目の高橋先生の授業は、私たちBコースには連絡されていなかったので参加出来なかったことをとても残念に思っている。

2時限目の小学部での授業演習は入学面接のため休校になり長野先生がゲームをいろいろ紹介してくれ、そしてゲームを使った授業も子供たちにとってはとても大切だと言うことを教えてくださった。いつも思うことだけれど、長野先生はきびしいけれどすばらしい先生です。

3時限目は音楽、楽しい歌をいろいろ教えてくださった。

今日は全員出席。

10月27日 月曜日 晴

中津海 マルタ クリスティーナ

1時限目は玉川教育概論の最後の授業であった。4回にわたって玉川学園の全人教育について根底に講義が進められた。

2時限目は日本語生活研究の授業であった。

2グループにわかれて、サトウ・ハチローさんが書かれた「おかあさん」という詩を皆で朗読した。金平先生の授業はあまり単調すぎて、もう少し変化があってほしいと思う。

3時限目は瀬山先生の都合で午後13時から14時まで日本事情の授業を受けた。

八世紀の日本の都（奈良）についてくわしい説明があった。

10月28日 火曜日 曇

星 クラール

玉川大学のキャンパスは自然が多く、はっきり季節の移り代わりを感じさせてくれる。私たちにとっては日本の秋は初めてなので毎日心はわくわく。

第1時限目：片山先生は動詞の分析を国語で教えられているものから金田一春彦の「日本語動詞のアスペクト」まで紹介してくれた。

第2時限目：長野先生は「よい授業、よい教師」についての条件をいくつか示してくれた。

それには教師は教師の仕事、役割、子供の心身の特性、自己の人柄、能力、技術についての認識が大切だといった。

10月29日 水曜日 曇

肱 岡 春 香

今日の1時限目は10時40分からで、金平先生の日本語生活研究であった。

2時限目は日本語学1で、漢字の成り立ち、構成についての話と、一字言語、二字言語、そして複合語についての話があり、語彙、漢字は、その人種の生活の中での必要性和重要性に応じてできるといったようなことを話された。

3時限目は中学部授業演習ということで、中学3年の国語の授業参観で、起承転結を意識して論理的文章を書くということをしていった。その後、中学部の国語科の鈴木先生と作文について話し合った。

11月5日 水曜日 曇

一甲 真由美 エジナ

11月3日は文化の日だった。玉川学園では1日・2日・3日の日に文化祭が行なわれた。

今日の1時限目は金平先生の講義だった。先生は先ず、日本語に関する本を8冊紹介された。それから「おかあさん」という詩をもう一度朗読させた。

第2時限目は平山先生の日本語学Ⅰの講義だった。講義内容は音読みと訓読みについてだった。漢字の読み方には日本式読み方と中国式読み方がある、音読みはどこから、どういうふうに関国へ伝わってきたか、訓読みはどういうふうにしてきたかの説明だった。

第3時限目は中学部への授業参観で、中学校1年生の国語の授業を拝見させていただいた。今日はノート提出の日だったので、生徒達は一生懸命「枕草紙」の著者や歌のことを調べて、それをまとめて、ノートに書いていた。先生が、一年生の場合は、「枕草子」の評釈の方はあまり深く調べさせなく、詩の暗誦の方に力を入れていると仰しかった。

その後中学校の藤樫先生と現在の中学校の生徒達の教育の問題点についての話し合いがあった。

11月6日 木曜日 晴

松原 美智枝

第1時限目：日本語教育概論 正善先生

授業内容：視聴覚教育

先生は発音しにくい文を選んで皆に読ませた。その後、音読について、二人の子供が文を読んでいる声をテープレコーダーで聞かせた。聞き終わってから、子供たちの音読について私たちの意見が聞かれた。

第2時限目：言語学学習心理学 大竹先生

授業内容：「第二言語学の学習上の問題と第一言語からの転移」

第3時限目：日本語教授法 長野先生

授業内容：「授業計画のキーポイント」

- ・何を教えるのか。
- ・どんな順序で教えるのか。

第4時限目：日本語学Ⅲ 上原先生

今日の授業は他のと違って、L.I.教室で受けた。上原先生は私たちの声を録音して一人一人の声を分析して研究するとおっしゃった。

夜は毎週のとおり、書道の授業を受けた。今日のお手本の字は少しつつけた字になっていたのが非常に難しかった。

11月7日 金曜日 晴

黒田 恵美

今日の第1時限目、高橋先生の授業の玉川教育概論の中で、教育に関する問題でどのようなものがあるか、またそれらの問題をどう考えていったらよいか、というテーマを基に講義が進められていった。校内暴力、いじめ、登校拒否など、子供の行動や態度に関する問題の他、社会的環境や自然的環境に関する子供の環境の問題などが挙げられた。いろいろなことが問題化されることは、人々の内にある子供（あるいは人間の）理想というものができているためであって、理想像が変わってくると、問題の見方やそれに対する考え方が変わってくる、と先生がおっしゃったとき、問題を早く解決してしまおうとすることより、人間の理想像をもっと深く考えなおすことのほうが大切なのだということ思い出した。そして、人と人との交わり合いの大切さ（子供の環境の原点は人間関係にあると先生はおっしゃった）について、再び、考えさせられた。

第2時限目は小学部の授業を見学させていただいた。長野先生に引率されて、三年生の英語のクラスを見せていただいた。声のはっきりした、女の先生で、先ずあいさつの復習のあと、絵カードを使って、Lの音を持つ名詞を言わせる復習をされた。生徒たちはとてもきれいな発音をすると思った。それから前回のドリルのまちがいを直させたあと、生徒たちが少しざわめきはじめていたので、短い歌をさりげなく歌わせた。そのあと、テキストの中の、接続詞 and を学習させた。各々、学用品を左右の手に一つずつ持ち、（生徒たちが何を持つかを選ぶ）ドリルをくりかえした。そのあと、歌詞を書いたプリント（イラストも入れてあった）をわたし、最初ゆっくりと先生が読んで、生徒たちがくりかえす。それから実際歌手が歌ったものをテープで聞かせ、次に先生が歌い、生徒たちも歌わせた。何度かくりかえし歌わせたあと、“f”の音が付く言葉に注意させる。生徒たちの興味を広げるために、歌詞を全部読んで（12番まである）、内容を説明された。とても変化のある、何をどうやって教えればいいかがはっきり構成されていて、むだのない授業だと思った。第3時限目はたいいくで、永井先生は今回、ボールを使ったいろいろな遊びを教えてくださいました。最後の4時限目には、幼稚部の本田先生の初めての講義で、幼い子供たちをよく理解する、やさしい先生という印象を与えた。そして、バリエーションにとんだ、教授法を紹介して下さり、遊びによって子供は発見し、学びとって行くんだと述べられた。

11月10日 月曜日 晴

福岡 ソフィア

今日は、すごーくステキな天気だ。どうして昨日このような天気でなかったかと少し神様いじわる。

1時限目は、授業がなくて、2時限目は金平先生の日本語生活研究で手紙の書き方についての講義を聞く。

3時限目は、瀬山先生の日本事情で日本の首府について楽しい講義をしていただく。

4時限目は、Aコースのみの授業なので私達は6人でバレーボールのジャパンカップでブラジルに

応援に行っただけで券が売り切れていたのが残念でした。有隣堂に行き、教材が沢山あるのに買うことができなくて、これもいいなあ…あれもいいなあ…と思うだけでセンターに帰った。

今日中津海さんが胃が悪くて休みました。

11月11日 火曜日 晴

井 関 泉

寒い日が続いているために、毎日起きるのが、一生けんめいである。

今日は、2時限目の日本語学Ⅱの授業だけであった。片山先生は

→形容動詞の種類と活用

→形容動詞の語例

→形容詞の種類と活用

→形容詞の音便

→形容詞の語例

→動詞の活用

それぞれについての説明をしてくれた。

長野先生の授業がなくて、残念だと思いながらセンターへまっすぐ帰った。

11月12日 水曜日 晴

立 山 記

ブルブル寒い日ですけれど良い天気です。!

今日の1時限目は金平先生の日本語生活研究でした。「おかあさん」のテキストを持って三つのグループへ分れて発表をしました。

2時限目は平山先生の日本語Ⅰで漢字を勉強をしました。

3時限目は中学部で玉川授業に付いてビデオを見せていただきました。

玉川は紅葉につつまれてとてもきれいですよ。

11月13日 木曜日 晴

熊 谷 智 美

秋も深まり寒さをだんだんきびしくなっている。寒さに弱い私は今日も気分があまりよくなかったので大学へはいかなかった。

大学へ行った他の人たちに、今日玉川で何があったかの話してもらった。

授業は

1時限目：正善先生 日本語教育概論 AB合同

2時限目：大竹先生 言語学習心理学 Bコースだけ

3時限目：長野先生 日本語教授法 AB合同

4時限目：上原先生 日本語学Ⅲ Bコースだけ

という忙しい一日だったようだ。

11月14日 金曜日

11月17日 月曜日

中津海 マルタ クリスティーナ

今日は2時限目から授業が始まったので、少し朝ねぼうをしようと思ったけど、なぜか6:30時に「パチッ」と目がさめた。ゆっくり朝食をすませ、アルゼンチンへの手紙を書き終って、9:00ごろ玉大へ向かった。

2時限目は金平先生の日本語生活の授業を受けた。

授業内容：文の表し方

文と成分の関係

成分と成分の関係

3時限目は瀬山先生の日本事情の授業であった。

授業内容：武士のおこり 源氏と平氏

藤原氏が都ではでな生活をしていたころ、地方の豪族や荘園領主は、一族やけらいに武器を持たせて土地を守らせるように、なった。これが武士であり、特に大きな武士団に成長していったが源氏と平氏であった。

鎌倉幕府

源頼朝が幕府を開き、強い武士とのつながりをもとにして武士の世の中をつくった。

11月18日 火曜日 晴

星 クラアラ

片山先生の授業は先週で終わったので、きょうは4時限目の長野先生のしかなかった。

内容：プログラム学習の原理

1 自己ペースの原理

2 スモールステップ (Small step)の原理

3 積極的反応の原理 (Learning by doing)

4 即時確認の原理 (feed back)

5 学習者検証の原理

先生は「人間の能力の差は時間問題、時間差ではないか」といった。

11月19日 水曜日 晴

豚岡春香

水曜日の1時限目はいつも休講ということになっていたが、今日は1時限目に瀬山先生からの関西旅行についての説明会が行われたので、皆早めに玉川へ行った。

説明会はA B合同で、9時30分から始められた。

11月29日から12月4日までの奈良・京都の見学の日程などについてのいろいろな説明があった。

2時限目は金平先生の日本語生活研究の授業であった。

3時限目は平山先生の日本語学Ⅲで漢字の送りがなについてのいろいろなコメントと、今回で最後の授業なので、漢字を学習させる時又は学習する時に役立つであろうと思われる参考書をいくつか紹介していただいた。

4時限目は中学部の授業演習となっていたが、最後の参観であったため中学部の校長先生のお話をうかがっただけで解散となったため皆早めにセンターへ帰ることができた。

11月20日 木曜日 曇のち晴

一甲 真由美 エジナ

第1時限は正善先生の日本語教育概論で講義の内容は次のようだった！

- ・先ず「ごんべさんの赤ちゃん」と「オーケストラ」という歌を歌わせた。
- ・「きずついたはと」と「はととあり」の劇を実際に練習させた。
- ・「子供のための日本語教育」というテーマについてお話しされた。

第2時限は大竹先生の言語学習心理学の講義だった。今日の講義の内容には、言語学だけのことでなく、いかに言語学は心理学に結びついているかについて考えはじめることができて、とてもおもしろかったが、残念なから、今日はこの科目の最後の講義だった。

講義内容

- ・第二言語学習上の問題

(認知発達の段階)

→感覚運動的段階(ピアジェ)

→延滞模倣の行い方: 以前に見たものを頭の中に貯えて、それを後で、実際に使えるようになる(言語の場合は、以前に聞いた言葉を頭の中に貯えて、それを実際に使えるようになること)

→前操作の段階: 実際に見ているものを、頭の中で、記号として考えるようになる。例えば、テーブルがあって、そのテーブルを見て、「テーブル」という言葉を覚え、その言葉が頭の

中で、一つの記号として残る。

→前概念的思考の段階：もの名前を覚えて、その名前を聞く時に、実物を思い出すことができる。例えば、「花」という言葉を聞くと、目の前に花がなくても、そのことばに対する実物を思い出すことができるようになる。

→形式的操作の段階：言葉だけで物事を説明しても理解する

第3時限は長野先生の「日本語教授法」の講義だった。「動物のへんそう」というテキストの要点をまとめさせ、それを生徒達にさせる場合、どういうふうに指導したらよいかについて話された。

第4時限は上原先生の講義だった。先生が書かれた「感懐教育論」という本の中の「母国語学習指導の支柱“構え”の提唱」について書かれたところを読ませて、説明なされた。

秋に入って寒い日が続いてきたが、今日はあまり寒くなくとてもいい天気だった。

11月21日 金曜日 晴

松原美智枝

今日の1時限目は高橋先生の最後の授業で、次のテーマを話された。

- ・教師の問題
- ・教師の役割
- ・子供の理解（学習を成立させるため）

2時限目には小学6年の国語の授業を参観した。生徒たちは和歌を勉強していて、今日は玉川学園の百人一首を暗唱していた。その後みんなでかるた遊びをやった。

3時限目は体育の最後の授業だったのでいつもよりたくさんの体操をさせられた。はれども、音楽に合わせた体操やおもしろいゲームをおぼえたのでとても楽しい授業であった。

4時限目は幼稚部の高橋先生の授業で、「母親の教育」を題して話された。

11月25日 火曜日 曇～晴

福岡ソフィア

今日は、いつもより少し早く起て、黒田さん、中津海さん、星さんと玉川小学部で3年生のリトミックを見学へ行った。

大学では、2時限目に長野先生の研究室で今までの玉川大学での研修についての話しをした。

午後から授業がないので写真や買い物をしてセンターに帰った。

11月26日 水曜日 曇

黒田恵美

今日は玉川大学で8時56分から始まったリトミックの授業を特別に見学させていただいた。小学部

の3年生で小野先生の指導によって行われた。先ず最初はいろいろリズムを色の名前で区別させ、それに合わせて、子どもたちに歩かせ、その後自由な動きでリズムを表現させたりされた。次にグループに分かれて、「玉川学園小学部3年つき組」という文に、その組のコマーシャルフレーズを考えさせ、それを動きで表現させる課題を提出された。先生は各グループを回って指導して行かれた。考えている間や発表の前の練習のときは変った活発な動作を見せている子供たちの中でも本番になるとえんりょがちになったり、表現も小さくなって、創作することの難しさと、人が見ているというプレッシャーの下では、のびのびとした動きを見せきれないでいる子供たちが何人かいた。

この後、授業がないはずだったが、長野先生が研究室で特別にBコース研修生だけに今までの学習や私たちがセンターで受け講義の内容や、どういうことをこれから勉強したいかなどを聞かれたり、いろんな本の紹介やアドバイスなどをしてくださった。この日はこれだけでかいさんになった。

11月27日 木曜日 曇

立山 小百合

今日は玉川の小学2年生のリトミック授業があり、いろいろリズムに合わせて体を動かす訓練がありました。(8:56h ~ 9:50h)

授業演習は幼稚部の本田先生と子どもたちといろいろな楽しいゲームをして遊びました。

第3時限目は幼稚部の高橋先生の講義でした。とても勉強になりました。簡単に言えば：自分たちの手で自分たちが住んでいる所、あるいはとなりの人の所も、きれいにすると、気持ちよくするという心がけを養うことができる。

4時限目は上原先生の授業でした。構(かまえ)の学習でした。

スケジュールがキッシリでしたが子どもたちと遊んだ事でとても楽しい日でした。

11月28日 金曜日 曇

井関 泉

いよいよ今日はBコースがOHPを使って授業をする日だった。

長野先生は“楽しみ”にして、待っていた。

立山さん、黒田さん、辻さんが“大きなかぶ”をととても上手でかわいい絵を書いていた。長野先生ももちろん気にいったよ。

熊谷さんの“日本のことわざ”をOHPで作ったのは皆に人気になって、アンコールまであったのは忘れられない。

たとえば：—— 印 その他

11月29日 土曜日 晴

熊谷智美

今日から私たちは京都と奈良へ行くことになりました。

朝早くから新幹線で京都まで行ってそれから電車で奈良へ行った。

玉川大学の瀬山先生と江崎さんそして日語A、Bコース全員計28名の団体だった。

奈良のホテルに荷物をあずけて奈良公園、東大寺、新薬師寺等を見学した。歩いていったので少しつかれた。

帰る時に、コーヒーとケーキを瀬山先生は全員におごってくれた。とてもおいしかったです。

ホテルへもどってゆっくりやすんだ。

奈良は横浜より少し寒い所です。

11月30日 日曜日 晴

辻ロサ

今日は奈良での二日目、昨日より一時間早くホテルを出発となったが今日は観光バスで回ったので少し楽だった。

まず最初に法隆寺、中宮寺、それから薬師寺を見物して昼食、午後からは唐招提寺、秋篠寺と興福寺を回って16時にはぶじホテルに帰った。それからは自由時間だったけれどとても疲れていたのでテレビを見ていた。

やはり奈良は思っていたより寒かった。

12月1日 月曜日 晴

今日は8:30時に奈良を出発し、京都へむかった。

中津海 マルタ クリスティーナ

奈良市の北のはずれの山地、京都、柳生の里とならんで当尾の里と呼ばれるあたりに、岩船寺、浄瑠璃寺、平等寺、醍醐寺・三寶院など、ひなびたお寺がひっそりとたたずみ、なんとなく「ノスタルジック」なおおいをただよわせてくれる町だった。

12月2日 火曜日 晴

星 クラアラ

きょうは、条成、大徳寺、竜安寺、嵐山、高山寺、神護寺と、ハードスケジュールが続いているが、三日目のきょう、みんなは旅になれてきたようだ。

竜安寺で石をかぞえるのに忙しい人々もいたが、じっと庭ぜんたいをながめていたのが印象に残った。

12月3日 水曜日 晴

肱 岡 春 香

後1日で関西旅行もおわりである。奈良、京都と日本の古都の最も美しい歴史的にも味の深い所を毎日見学している私であるが、あまりにも頭の中に入ってくるデータが多過ぎて、全部を消化するには後?日、?月もかかりそうである。

今日は午前9時にホテルをバスで出発し、東寺へと向った。東寺では、あこがれの五重の塔を、外からだけではなく、中からも見る事ができた。朝の光の中の五重の塔は最高であった。その後、瀬山先生の説明を伺い乍ら、講堂と金堂を見学し、再びバスに乗って三十三間堂へと向った。ここでは一千一体の観音の大群像に目を見はるばかりであった。次にバスは清水寺へと走った。清水寺を一回りした後、皆で昼食をとった。昼食の後、清水寺から平安神宮へと私達は先生、江崎さんと共に足を運んだ。三年坂ではころぶ人もなく無事京都の古い、静かな町並みを味わい乍ら、平安神宮に着く事ができた。朱塗りの鳥居も、その中の庭もとても印象的であった。庭の中にはまだ紅葉が少し残っていて、京の秋を少し感じる事ができた。平安神宮で一応解散となり、各自ホテルへ帰ったり買い物へ行ったりした。夜は再びバスで東山へとドライブに行った。東山からの京都の夜景はステキなものだった。特に電車の走っているところは本当にめいめいのようでただ見とれているばかりであった。今回の最後の夕食は帰りに菖蒲園で皆そろってとった。

12月4日 木曜日 曇

一甲 真由美 エジナ

今日は京都見学の最後の日だった。バスは京都東急ホテルより、8時55分に出発し、円通寺へは10時に参った。このお寺は元々天皇の御所だったと先生が説明なさった。円通寺の庭から比叡山(天台宗)の山が見えて、とてもきれいな景色だった。

円通寺を10時40分に出て、大原山の三千院へ参拝した。大原の地帯は昔から魚山(ぎょざん)と呼ばれ極楽往生を願う人々の信仰を集めた所だったそうだ。

三千院はその中央に位置し、別名には、梶井御殿・梨本門跡・円融院門跡とも呼ばれているそうだ。三千院を11時に出て、山を下って行き、11時45分に山菜料理店にて昼食を頂き、12時45分にバスに乗り、詩仙堂へ参拝した。バスに乗っている間、ガイドから色々な説明を聞いた。その説明によっては、京都には1400ぐらいのお寺があり、200あまりの神社があるそうだ。(合計1640以上のお寺と神社がある)。

13時10分に詩仙堂へ到着した。現在詩仙堂とよばれているのは、正しくは凹凸寮であり、詩仙堂はその一室だったそうだ。凹凸寮とは、でこぼこした土地に建てた住居という意味であるあるそうだ。13時40分に詩仙堂を後にして京都駅に向った。14時15分の新幹線に乗り、センターへ戻った。この旅行は、私達にとっては、とてもいい勉強になったと思う。瀬山先生が御一緒なさって、歴史的な説明をして頂いたことに感謝している。きっと一生忘れられない、いい思い出になるでしょう。

12月8日 月曜日 晴

今日は1時間目がなくて、2時間目から長野先生の授業だった。その授業ではOHPの発表があった。

2時間目も長野先生の授業で、漢字のテストがあり、たくさんの難しい問題が出た。

3時間目には植樹祭だったので、一人ずつ木を植えた。

4時間目には小宮路先生の楽しい音楽の授業を受け、新しい身体表現遊びを覚えた。

5時からレストランで謝恩会が開かれ、玉川の先生方と一緒に食事し、私たちの感謝の気持ちを伝えることができ、とても楽しい謝恩会だった。

12月9日 火曜日 晴

福岡 ソフィア

今日は玉川大学でAコースの先生と一緒にでした。瀬山先生の授業で京都と奈良への関西旅行について感想を書いた。そして1986年の最後の授業だった。

Aコースの先生方とも最後の授業でした。

昭和62年1月12日 月曜日 晴

黒田 恵美

楽しかった冬休みが終って、今日から日本語教師Bコースの研修も第4期を迎えた。

午前中の授業は政田寛子先生の文法だった。今年からは授業時間も少し変こうされて、午前9時半から12時半まで、昼食のあとは午後1時半から4時半までになった。

午後からは酒入先生の聴解の授業だった。この時間ではカセット・テープを使用して、あるラジオ番組あての投書を聞きとって理解する練習をした。そのあとで流された歌「ちいさい秋みつけた」(ボニー・ジャックスが歌ったもの)を聞きとりノートに歌詞を書いていく練習をやった。それから福井県のなまりがまじっている、映画俳優の宇野重吉の話しを聞きとる練習もやった。この授業のあと、今年からはセンター内で行なわれることになった体育の授業があった。

1月13日 火曜日 雪

立山 小百合

今日は早くおきて玉川へ行きました。電車もおくれましたが、15分おくれて玉川へつきました。

木に雪があってとてもきれいな景色でした。

1時限目は平山先生の授業で年の始めのあいさつ言葉をおしえてくださった。

2時限目は教育で高橋先生は新聞記事を持って来てくださってそれについてディスカッションがありました。テーマは「知識は沢のため。将来の現実教える子ら」とてもためになったと思いました。

1月14日 水曜日 晴

井 関 泉

寒い日が続いているために、授業参加よりも、起きることが大変である。

1時限目：政田先生→教授法→9：30～12：30

2時限目：政田先生→教授法→13：30～16：30

⇒政田先生は“にほんごのきそ1”という教科書の第1課から続いて説明してくれた。

3時限目：体育の時間であり、皆で楽しく、運動しながら、あくる日の事を思っていた。

1月16日 金曜日 晴

熊 谷 智 美

日本の冬の寒さに絶えきれずカゼをひいてしまった。今日は午前中青木先生の視聴覚教育の授業だった。青木先生とは何ヶ月ぶりに会ったがいつもと同じだった。土井先生が授業参観していた。テープレコーダやビデオ等を使いグループにわかれ聴きとりの授業だった。

午後は土井先生との授業、グループごとに教科書を研究し、それを発表しなければならないとのことだった。

教科書は子供と大人のが何種類もあった。

大人 {
• AN INTRODUCTION TO MODERN JAPANESE
• 生活日本語 Ⅰ、Ⅱ
• 日本語の基礎 Ⅰ、Ⅱ
• 日本語初歩

子供 {
• ALIANÇA CULTURAL BRASIL~JAPAO
• JAPANESE FOR CHILDREN
• わたしの にほんご 1.2.3

来週は子供の本の方からの発表に決まった。

1月20日 火曜日 晴

今日は玉大での授業

1時限目は瀬山先生の授業であった。日本の年中行事について話された。人生の節目となる折々の行事がどのようにして行われているのか、日本人にとって正月とは何か、そしてその行事の中でむかしから伝わってきた人生の哲学が書かれてある「百人一首のカルタとり」

2時限目は平山先生の漢字の授業であった。

3時限目は高橋先生の授業であった。

1月21日 水曜日 晴

星 クラール

教授法の授業はきょう6時間もあったので、かなり勉強もはかどった。「日本語のきそ1」も、もう少して終わりそうだ。成人に教えた経験がない私にとってはとてもプラスになっている。

週3回の体育も、一日中ずわっている私たちにとってはプラスになっている。

来週から、水曜日と木曜日はお茶と生花がはいるので忙しくなりそうだ。

1月23日 金曜日 曇

脇 岡 春 香

午前中(9:30~12:30)は永保先生の講読の授業であった。先生とお会いするのは10月以来であったため、その間のことそして、この後の学習することの内容そして私達の要望等を話し合ってから授業へと移った。東海大学の日本語読本の第6課の練習問題と次の課を読んだりした。先生は、この本を最後まで読んだり、練習問題を解いたりして、何とかこの本を自分のものにして帰国してほしいとおっしゃっていた…

午後は土井先生の教材研究の授業であった。今日は各グループが子供向けの日本語テキストを分析して、その構成、各課のポイント、練習問題そして、他の教科書との比較等をして発表することになっていた。

今回は、福岡さん熊谷さんのグループが「japanese for children」、星さん中津海さんのグループが「わたしの にほんご 1.2.3」を分析し、発表した。他のグループは発表する時間が足りなかったため、次回へと回った。

次回は発表と比較になるだろうと思う。

1月26日 月曜日 晴

一甲 真由美 エジナ

今日の午前中の講義は今年初めての古沢先生の講読の講義だった。井沢満作の「青い鳥ばたばた？」という小説を読んだ。そして、その中の言葉の意味を調べ、文章全体の解釈を皆、それぞれ、紙に書いて、先生にわたした。

午後の講義は、酒入先生の聴解の講義だった。

講義の内容：・対話（コミュニケーション）の為の聴解

・言葉を使って気持ち、感情、知識、意志を伝え合うことの重要性。

・聴解 { 情報の差
 { 選択の自由
 { 確認作業

・テキスト「行動としてのヒアリング」を読む

1月27日 火曜日 晴

松原 美智枝

今日は玉川大学で1時限目がなかったので、午前9時に皆と一緒にセンターをゆっくり出た。

2時限目は平山先生の講義で、現代仮名遣いを勉強した。

3時限目には高橋先生だった。今日のテーマは「日本の大学」で、私たちに南米の大学のこともいろいろお聞きになった。

先生の意見では、日本の学生だけではなく、日本の大学の先生方も外国に出て、向こうの教育や教授法を見て、日本の教育について考えなければいけないことがたくさんある。

1月28日 水曜日 晴

福岡 ソフィア

今日は一日中政田先生の教授法の授業だった。

日本語の基礎Ⅰの第15課から第24課まで勉強した。

教科書の成り立ちや個性を確かめることができとても面白いと思った。

一日中6時間もおなじ先生なので少し疲れた気分でした。

4時40分から体育の授業があった。

1月30日 金曜日 晴

黒田 恵美

今日の午前中は永保君恵先生の講読の授業だった。

教科書「日本語」（中級Ⅰ）の第7課の練習問題を通して、主にいろいろな文型を勉強した。

午後からは土井真美先生の教材研究の授業で、それぞれ違ったとくちょうや構成のしぐみを持った教科書を研究し、発表して、先生からコメントをしてもらう。

教材の研究は、何となくやさしいようでいて、かなりむずかしい。しかし、教える対象となる生徒たちに合わせて、適した教材を使用するために大切な授業だと思う。

午後の授業のあとは体育の時間だった。

2月2日 月曜日

立山 小百合

今日は政田先生と文法のはとがの使い方を勉強をさせていただきました。政田先生はとてもやさしい声で説明してくださるのでねむくなります…

2時限目は古沢先生の授業でした。

「しあわせの国青い鳥ばたばた？」のPARTⅡの読解をしました。

2月3日 火曜日 晴

井 関 泉

昨日、雪が降ったために、玉大行き“ケシキ”がとてもステキだった。

1 時限目の授業は瀬山先生だった。

先生はいつものとおり詳しく説明して下さった。

2 時限目がなくて、皆、それぞればらばらになって、町田で食事した。

3 時限目は高橋先生がビデオを見せながら、皆でそれについてのいろいろ話しあった。

2月4日 水曜日 曇

熊 谷 智 美

今日は朝早くから全員そろって東京のAJALT へ行った。渋谷からバスに乗って行った。多ぜいの人たちの中だったので着いた時はもうつかれていた。

午前中は政田先生の授業教授法だった。休み時間には先生がお茶をごちそうしてくれた。

井関さんが気分が悪くなり、ひとりでは帰らせたくない先生が心配そうに言ったので私がいっしょに連れて帰って来た。ですから午後の副教材の使い方の授業は参加できなかった。

2月6日 金曜日

2月9日 marla

2月10日 Clara

2月11日 水曜日 晴

肱 岡 春 香

越後湯沢にて

待ちに待った11日は星さんを除いた私達10人が生まれて初めてスキーを体験した日であった。

午前8時に朝食をとりそれぞれスキーウェアを着て9時15分に旅館を出かけた。スキー場に着き、目にしみるような白さに目をくらませながら、みんな初めてスキー靴をはき、スキー板を着けた。そして西村コーチに着いて私達のスキー教室が始まった。初めは片足、後で両足に板を着けて平らな所ですべった。「まあ、これぐらいなら…」と思ったのもつかの間、回り方、止まり方、スピードのコントロール、右まわり、左まわりと、自分の体が思うように動かないうちに、上へ上へと登って行ってしまった。ころんでは立ち、立ってはころび、他の人につきあたってはあやまり、あやまってはつきあたりのくり返して、やっと回りの人に笑われても、気かけなくなり、ころんでも江崎さんやコーチに助けられなくても起きられるようになったら昼食の時間になっていた。

昼食の後で、江崎さんにまた西村コーチを頼んでもらって再びスキーにチャレンジした。みんな汗だくになって、何とかすべれるようになったようだった。しかし、一番つかれへとへとになったのは江崎さんとコーチではなかったかと今になると思う。江崎さんは一人たおれるたびに写真をとりにつけ、たおれた者を起こすといった動作をくり返して、本当におつかれになっただろうと思う。

明日は皆足腰が痛くなるだろうと思うが、今日一日の体験は他の何にも換え難いものであったのではないと思う。今回このような体験をさせていただいたことに心から感謝している私です。

2月12日 木曜日 雨 越後湯沢にて

一甲 真由美 エジナ

朝7時45分に起きて、8時に朝食を頂いた。今日の朝食には、私の大好きな納豆があったので2人分も頂いた。おなかがいっぱいになってから、一度部屋へ戻り、おめかしをして、買い物へ出かけた。きのうのスキー教室で皆つかれていて、体中が痛いと言っている。けれどもすごく楽しかった。初めての体験だったので、昨晚、眠る前まで、スキー靴をはいている感じがしていた。

11時30分に皆、一応旅館に集まり、それぞれ荷物を受け取り、予定通り、12時1分発の新幹線で横浜へ戻った。センターへは15時に到着した。2月なのにすごく暑い日なので、皆あせをかいていて、浴室を早くあけてもらいシャワーを浴びた。

今日、昨年の12月からずっと会っていなかった開発青年の皆様がセンターへ再び入所してきて、久しぶりに会えたのでとても嬉しかった。

2月13日 金曜日 曇

松原 美智枝

午前中の講義は永保先生で、今日はテキスト（日本語 中級I）の第12課と13課を読んで、第9課、12課の練習問題をした。

午後から土井先生の授業で「否定疑問に対する答え」、英語やポルトガル語また、スペイン語と比較しながら勉強した。

その後、二つのグループの実習があり、それぞれのテーマは「来る、行く」と「～に～があります/います」だった。

2月14日 土曜日 晴

福岡 ソフィア

いつもは自己研修の時間でセンターにいるのだけど、今日は川端課長の引率で凡人者まで教材の本を見に行き、必要な本のリストを各々作った。

午後には科学技術館に行きNHK地球大紀行展を見ることができた。

2月16日 月曜日 晴

黒田 恵美

センター内は今日、朝からなんとなくそうぞうしかった。

明日、中・南米へ向うことになっている、開発青年たちのそうこう会があるからだったようだ。

私たちが招待されていたので、午前中の田中成子先生の授業は9時半に始まり12時に終わった。それからパーティに参加した。すごいちそうがならんだごうせいなパーティで、ブラジルのりょう事もみえていた。

午後からの白鳥先生の授業、児童教育ではいろいろなゲームを使って、動詞や数詞、数え方などの導入方を教えていただいた。

午前中の田中先生の授業もおもしろかった。ひらがなをどうやって、やさしい方法で、しかも覚えやすく教えたらよいかを習った。

2月17日 火曜日 晴

立山 小百合

今日は玉川大学へ行く日です。だから私たちは朝早くおきて出発しました。

1時限目はブラジルへ行っていた長野先生の授業でした。先生はとてつかれていらっしゃったそうです。いろいろと私たちにおもしろいお話をしてくださいました。

2時限目は平山先生の授業でテキストの177 ページから184 ページ、「現代仮名遣い」を説明してくださいました。

3時限目は瀬山先生は「日本の年中行事」を説明をしてくださいました。

すぐ後には8人で成田空港へ行きました。センターでしり会った開発青年たちを見送りに行きました。

成田空港には5時10分に着き、もうすこしでまにあわない所でした。

開発青年たちはとてもよろこんでいました。一人づつにお花をわたして「グッドラック」や「成功」を神様に願いました。

私たちがもうすぐ国へ帰る事ができます。その時も開発青年と会っていろいろと力になりたいと思っています。

2月18日 水曜日 曇

井関 泉

1時限目の授業は、参加しなかったが、プリントのとおりでは
【～て】の接続。

例：1. このりんごは安くて、おいしい。

中国は大きくて、人口も多い。

2. きょうは授業があって、会議もある。

事務所へ行って、本屋へ寄って、銀行へも行かなければならない。

2時限目は、文字の教え方の先生がかわって、その先生は、とても楽しく授業を進めた。今まで習って来た方法では、私が教えている学校で使用出来そうなのがたくさんあった。

3時限目は、体育で、水曜日だったために後7:00~9:00まで、お茶の時間もあった。

“今日は、本当におつかれさまでした”!!!

2月19日 木曜日 晴

熊谷 智美

今日は自己研修の日だったが私たちの希望で劇を見に行った。国立劇場ヘセンターの所長、梅津さん、そして私たち10名で行った。去年、所長と同じ所で歌舞伎を見に来たことがあった。今回は文学座の「華岡青洲の妻」を見た。

はじめは声がちいさくてあまり聞こえなかったり、隣りにすわっていた人がいびきをかいたりしてそわそわしていたがそのうちにだんだん聞こえて名医華岡青洲の偉業の陰に秘められた嫁と姑の凄まじいまでの確執を語ったとてもいい劇だった。

この文学座も今年でちょうど創立50周年を向かえたそうだ。

歌舞伎とはちがって言葉もはっきりしていてすじがわかったのでとても良かった。

楽しい一日だった。

2月20日 金曜日

辻 口 サ

Rosa

2月23日 月曜日

Marta

2月24日 火曜日

Clara

2月25日 水曜日

Nectchan

2月27日 金曜日 晴

一甲 真由美 エジナ

今日の1時限目は「語彙・意味」についての講義で先生は国際学友会の杉山智子先生だった。

講義の内容は、私にとってとてもおもしろくて、参考になった。

- ・実際、日本語で使われている言葉の中で一番使われるのは和語で、言葉の種類として一番多いのは漢語だと仰っしゃった。しかし、最近はかたかな語が大いに使われるようになった。それで先生は漢語や和語と外来語の使い分けとその使い方のニュアンスについて語った。

- ・漢語や和語と外来語だけに意味のニュアンスがあるのではなく、漢語で似ている意味の言葉、同義語だといわれている言葉にも意味のニュアンスがある。ですから、辞典を使って文章を作る時、気を付けて言葉を選ばなかったらおかしい文章を作ってしまうことがある。例えば「気持ち」と「気分」の使い方「私に対する気持ちを知りたい」といえるが「私に対する気分を知りたい」とは言えない。

「気持ちの悪い虫」といえるけれど「気分の悪い虫」といってはおかしい文章になる。

- ・同音意義語と生徒にとって新しい言葉の教え方に使われる練習問題の作り方についていろいろ説明なさった。

2時限目は土井先生の「教材研究」の講義だった。

今日は「あける」と「もらう」の教え方と「家族のメンバー」の教え方についての説明があった。

それから、語彙を覚える為のゲームの紹介があった。

3時限目は体育だった。今日はセンターではなく、ボーリング場で授業を行なった。ボールの苦手な私は、今日も「ゼロのペンダント」をもらってしまった。ああ、いやだ。

3月2日 月曜日 雪

松原 美智枝

3月に入り、今日は楽しみにしていた研修旅行の最初の日でした。

センターを午前7時30分に出て、羽田空港で午前9時25分の飛行機に乗り、高松に午前11時20分に着きました。始めて、小型の飛行機に乗り、ゆれ方が非常に感じられ、私たちのグループで3、4人も気分が悪くなり、少し休んでよくなりました。

11時50分にホテルリッチに着き、急いで食事をすませて、観光バスで屋島の方へ行きました。その島は高く、屋根の形であり、そこのお寺と水族館を見学しました。水族館に入るとピラル（ブラジルの最大の魚）と（leao marinho）がいたので皆でめずらしがって見ました。

屋島の後、栗林公園を見物し、たくさんの松の木が並んであり、日本どくどくなお庭もあり、本当にきれいな風景でした。

18時に所長と課長と一緒にJICAの四国支部を訪問し、支部の皆様は心よく迎えてくださいました。

今日は少しつかれましたが、明日からまた新しい所を見学するので楽しみです。

3月3日 火曜日 晴

今日は、四国研修旅行の二日目だった。

高松のホテルリッチを8:45分に出発した。

3月4日 水曜日 曇

黒田 恵美

今日は午前9時25分ににぎたつ会館をあとにして、道後温泉駅へ向い、そこからバスで松山観光港へ向った。松山市は日本の城下町という雰囲気をもどことなくただよわせていて、のどかで気持ちのいい町だと思った。何となくものがなしいような、それでいて明るい、一度も来たことがなかったこの町に、なつかしさのようなものを感じたのはなぜだろう。路面電車は熊本市や函館市でも見たのに、松山市ではこの風景によくあっていると思った。松山観光港から船で広島へ向った。広島港から電車で広島駅へ行き、そこで研修課長さんからスケジュールの変こうのお知らせを受け、荷物をコインロッカーにあずけ、昼食にする。午後1時半から平和記念公園へ行く。公園に着くと、先ず、原爆ドームの前で記念写真を撮る。公園をぐるりと一回りして、原爆資料館に入り、戦争の悲惨さを見つめる。しかし、戦争当時をきた者でないと本当のみじめさや悲しさを感じることができないだろうと思った。現在でもまだ原爆の後遺症に苦しめられている人々のことを思えば、まったくおそろしい物を人間は発明したものだと思えて考えさせられる。戦争なんて二度とやってはいけない。だからこそこれらかはいっそう人間の教育の仕方がしんげんに考えられなければいけないと思う。平和記念公園から、ホテルの予約をしてある宮島へ船で行った。宮島の旅館「かめ福」では部屋も和室だが広々としていてきれいで、お風呂も広かったので、みんな満足。

3月5日 木曜日 晴

立山 小百合

今日はかめ福ホテルから9時半に出て宮島の五重の塔、厳島神社廻廊と大鳥居遠望を見学しました。

10時半に又ロビーで集まって、10時40分のフェリーで広島にわたって、広島駅へ行きました。

広島ではバラバラになりました。せっかく四国まで来たので親戚のうちへ行った人が多いのでした。

この旅行はとてもきつくてつかれました。

3月9日 月曜日 晴

熊谷 智美

今日は東芝科学館を見学しに行った。10時13分の電車に乗り川崎駅下車をしてバスで科学館前まで

行った。

東芝の食堂で食事をすませて12時45分から見学をはじめた。

東芝は電気の総合メーカーでありあらゆる電気器械器具を製造しております。この東芝科学館は“人と科学のふれあい”の場として、電気やエレクトロニクスの高度の技術を、“動く、使う、参加する展示”でわかりやすく、おもしろく学び楽しめるように工夫していた。

時間の関係で全部は説明してもらえなかったが「電子身長、体重計」「光と音と映像のショー」、「ACi:AVi」、「乾電池ロボット」、「電子インコ」、「AVスタジオ」「レーザーギャラリー」「人力発電」「ファンタジーの森」等その他いろいろな物があつた。

これを見せてもらってすごいなあと感じた。

とても楽しい見学だった。

3月10日 火曜日 曇

井 関 泉

9時18分の電車に乗り、上野駅まで行った。

東京国立博物館を見学しながら思っていた…

日本へ来て始めてだったから、めずらしい事ばかり、本当に“ポカーン”と口をあけていた。

白鳳仏のなかには、可愛らしい子供の姿をどこかに意識した作品が数多く見られる。

片手を胸にあてる像は、比較的スラリとした姿に作られている。

日本で磁器が焼造されたのは中国や朝鮮半島よりかなりおそかった。

展覧会の作品はとても見やすく、よかつた。

こんな作品もあつた。

NAKA USO NE

この中曾根がウソを言う顔をしていますか。よく見てください。

根をぬいて中曾根を泣かそ。

3月27日 金曜日 晴

一甲 真由美 エジナ

今日、午後4時より私達の反省会が行なわれました。

・ 4 時 開会の辞 研修課長

・ 4 時10分～ 5 時20分 反省会

引き続き、5 時40分より閉講式が行なわれた。

閉講式次第

・ 開会の辞 研修課長

・ 終了証書授与

・ 所長式辞

・ 来賓祝辞 小林事務官

玉川学園 長野講師

・ 研修生代表謝辞 肱岡春香（ブラジル）

・ 閉会の辞 研修課長

6 時30分より懇親会が行なわれた。

この一年間、いろいろと楽しいことや辛いことがあったが、全ていい経験になった。

JICAの皆様、たいへんお世話になり、真にありがとうございました。

第8回現地日本語教師本邦研修日程表
昭和61年度研修生名簿
研修生一覧表

昭和61年度現地日本語教師本邦研修(Bコース)日程表(5月分)

No.	曜日	午前		午後		昼		午後		夜の		夕食	夜間	備考						
		10:00	11:00	12:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	18:00~ 20:00	17:00 9:00									
1	5、9	到着・入所																		
2	10	開講式、オリエンテーション																		
3	11																			
4	12	所	長	講	話	日本語能力評価テスト		オリエンテーション				歓迎懇親会								
5	13	本	部	表		敬		訪		問										
6	14	玉	川	大	学	表		敬		訪		問								
7	15	外	国	人	登	録	市		役		所		訪		問					
8	16	金	社	会	(丸	山)	日本語作文(土井)		日本語担当講師によるオリエンテーション									
9	17	土	自	己	研	修														
10	18																			
11	19	政	治	・	経	済	(関	田)	日本語聴解(智木)		体		育					
12	20	玉	川	大	学	研		修												
13	21	根	岸	小	学	参	観	根		岸		中		参	観					
14	22	木	歴	史	(迫	田)	日		本		語		作	文	(土	井)
15	23	金	横	浜	市	内		見		学										
16	24	土	自	己	研	修														
17	25																			

18	26	月	社 会 (丸 山)		日 本 語 聴 解 (青 木)	体 育 (鈴 木)		
19	27	火	玉 川 大	学 研 修				
20	28	水	政 治 ・ 経 済 (関 田)		日 本 語 読 解 (古 沢 ・ 永 保)			
21	29	木	歴 史 (迫 田)		自 己 研 修			
22	30	金	社 会 (丸 山)		日 本 語 作 文 (土 井)			
23	31	土	自 己 研 修					

講義開始時間：月曜日(9:50)を除いてその他の日は10:00からとする。

講義時間：原則として10:00～11:50、1:00～2:50、3:00～4:50とする。

(6月分)

No.	曜日	午前		午後		夕食	夜間	備考							
		前部の	部の	午後の	部の										
24	6.1	9:00	10:00	11:00	12:00	食	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	18:00~20:00	7:00	9:00	
25	2月	政治・経済	(関田)				日本語聴解	(青木)		体育	(鈴木)				
26	3火	玉	川	大	学	研									
27	4水		歴史	(迫田)			日本語解説	(古沢・永保)							
28	5木	歴史	外	日	本	語	研	修	(ジャパンインターナショナルスクール)						9:45~1:05
29	6金	日	本	語	作	文	(土井)		社会	(丸山)					
30	7土		自	己	研	修									
31	8														
32	9月	歴史	(迫田)				日本語聴解	(酒入)		体育	(鈴木)				
33	10火	玉	川	大	学	研									
34	11水		政治・経済	(関田)			日本語解説	(古沢・永保)							
35	12木		社	会	(丸山)		歌舞伎観賞	講座	(国立劇場)						
36	13金		政治・経済	(関田)			日本語	作文	(土井)						18:30~20:30 日本大学 ゼミナール
37	14土		自	己	研	修									
38	15														
39	16月	歴史	(迫田)				日本語聴解	(酒入)		体育	(鈴木)				
40	17火	玉	川	大	学	研									2:40 夏期大学 オリエンテー ション

41	水	18	屋	外	日	本	語	研	修	(東京外国語学部附隣日本語学校)				
42	木	19	社	会	(丸山)	日	本	語	作	文	(土井)			
43	金	20	政	治	・	経	済	(関田)	日	本	語	解	説	(古沢・永保)
44	土	21	自	己	研	修								
45	㊦	22												
46	月	23	社	会	(丸山)	日	本	語	聴	解	(酒入)	体	育	(鈴木)
47	火	24	五	川	大	学	研	修						
48	水	25	政	治	・	経	済	(関田)	日	本	語	解	説	(古沢・永保)
49	木	26	歴	史	(迫田)	防	災	訓	練	(2:00～)				
50	金	27	社	会	(丸山)	日	本	語	作	文	(土井)			
51	土	28	日	本	語	教	授	法	(永保)					
52	㊦	29												
53	月	30	社	会	(丸山)	日	本	語	聴	解	(鈴木)	体	育	(鈴木)

講義開始時間：月曜日と28日(土)を除いて、その他の日は10:00からとする。

講義時間：原則として10:00～11:50、1:00～2:50、3:00～4:50とする。

(7月分)

No	曜日	午前		昼食	午後		夜		備考
		10:00	11:00		12:00	13:00	14:00	15:00	
54	7.1 火	玉	川	大	学	研	修		
55	2 水		政治・経済(関田)		日本語読解(古沢・永保)				
56	3 木	屋	外	本	語	研	修	(国際学友会)	
57	4 金		歴史(迫田)		自	己	研	修	
58	5 土		日本語教授法(永保)						
59	6 日								
60	7 月	政治・経済(関田)			日本語読解()		体育(鈴木)		
61	8 火	玉	川	大	学	研	修		2:40 夏期大学 オリエンテー ション
62	9 水		社会(丸山)		日本語読解(古沢・永保)				
63	10 木		歴史(迫田)		夏期キャンプ(根岸小)説明会 (於:根岸小)				
64	11 金		政治・経済(関田)		日本語作文(土井)				
65	12 土	日	本	語	教	授	法	(永保)	
66	13 日								
67	14 月	歴	史	(迫	田)	日本語読解()	体育(鈴木)
68	15 火	玉	川	大	学	研	修		
69	16 水		社会(丸山)		日本語読解(古沢・永保)				
70	17 木		政治・経済(関田)		日本語作文(土井)				

71	18	金	屋	外	日	本	語	研	修	(新	宿	日	本	語	学	校)																				
72	19	土							自	己	研	修																									
73	20	日																																			
74	21	月																																			
75	22	火							夏	休	み																										
76	23	水																																			
77	24	木							夏	期	キ	ャ	ン	プ	根	岸	小	学	校	児	童	(5	年	生)	に	同	行	(箱	根、	1	泊	2	日)		
78	25	金							"																												
79	26	土																																			
80	27	日																																			
81	28	月																																			
82	29	火							夏	期	集	中	講	座	(於	新	宿	日	本	語	学	校)														
83	30	水																																			
84	31	木							学	校	劇	夏	期	大	学	(於	伊	豆	長	岡)																

(8月分)

No.	月日	曜	午 前 の 部 昼			夕 食 夜 間	備 考
			9:00	10:00	11:00		
85	8.1	金	学 校 劇 夏 期 大 学 (於 : 伊 豆 長 岡)				
86	2	土					
87	3	日					
88	4	月	学 校 劇 夏 期 大 学 参 加 研 修 レ ポ ー ト 作 成				
89	5	火					
90	6	水					
91	7	木	日 本 の 唄 …… 若 松 先 生 10:00~16:00				
92	8	金	日 本 語 児 童 教 育 …… 白 鳥 先 生 "				
93	9	土	日 本 語 児 童 教 育 …… 正 等 (多) 先 生 9:00~12:00				
94	10	日	夏 期 集 中 講 座				
95	11	月	学 習 へ の 導 入 と レ ク リ エ ー シ ョ ン …… 石 井 先 生 10:00~16:00				
96	12	火					
97	13	水					
98	14	木	ホ ー ム ・ ス テ ー イ (3 泊 4 日 、 県 内 農 家 に て 体 験)				
99	15	金					
100	16	土					
101	17	日					

102	18	月			
103	19	火	日本語作文……土井先生（7月第1週予定分の振替授業）	13:00～16:00	
104	20	水			
105	21	木	文法……野田先生	10:00～16:00	
106	22	金	視聴覚……青木	"	
107	23	土	教授法……永保(登)、直接法……今泉先生	"	
108	24	㊦			
109	25	月			
110	26	火			
111	27	水	夏休	み	
112	28	木			
113	29	金			
114	30	土			
115	31	㊦			

(9月分)

No.	月日	曜日	午 前 の 部 屋		夕 食 夜 間	備 考
			10:00	11:00		
116	9.1	月	歴 史 (迫 田)		1:00 2:00 3:00 4:00 5:00	日本語聴解(中里)
117	2	火				
118	3	水	明 治 村 見 学			
119	4	木	コンピューター活用による日本語学習の研修(於:名古屋大学)			
120	5	金	"			
121	6	土	自 己 研 修			
122	7	日				
123	8	月	鎌 倉 ツ ア			(観 光 及 び 歴 禪)
124	9	火	"			"
125	10	水	社 会 (丸 山)		日本語読解(古沢)	日本語読解(永保)
126	11	木	政 治 ・ 経 済 (関 田)		日 本 語 作 文 (土 井)	
127	12	金	屋 外 日 本 語 研 修 (セ ン ト ジ ュ セ フ ・ イ ン タ ー ナ シ ョ ナ ル ス ク ー ル)			
128	13	土	自 己 研 修			
129	14	日				
130	15	月				
131	16	火	社 会 (丸 山)		政 治 ・ 経 済 (関 田)	歴 史 (迫 田)
132	17	水	政 治 ・ 経 済 (関 田)		日 本 語 読 解 (古 沢)	日 本 語 読 解 (永 保)

133	18	木	歴史 (迫田)	自	己	研	修	
134	19	金	社会 (丸山)	日	本	語	作文 (土井)	
135	20	土	日本語教授法 (永保)					
136	21	㊦						
137	22	月	政治・経済 (関田)	社	会 (丸山)	日	本語読解 (中里)	
138	23	火						
139	24	水	歴史 (迫田)	日	本語読解 (古沢)	日	本語読解 (永保)	
140	25	木	社会 (丸山)	日	本	語	作文 (土井)	
141	26	金	屋外 日 本 語	研	修	(早稲田大学)		
142	27	土	自 己 研 修					
143	28	㊦						
144	29	月	歴史 (迫田)	自	己	研	修	日 本 語 読 解 (中 里)
145	30	火	玉川大学第2期オトリ	エ	ン	テ	ィ	ン (於: 玉川大学)

・週間授業・演習スケジュール

	月	火	水	木	金
1	言語学習心理学 AB合同(大竹) II-405		日本事情 Aのみ(瀬山) II-306	日本語教育概論 AB合同(正善) II-309	玉川教育-概論 AB合同(石橋) II-204
2	日本語生活研究 AB合同(金平) I-406	日本語学II Bのみ(片山) II-406	日本語生活研究 AB合同(金平) II-204	日本語学II Aのみ(片山) II-204	授業演習-小学部 AB合同(長野) II-308
3	日本事情 Bのみ(瀬山) II-406	日本語学I Aのみ(平山) II-306	日本語学I Bのみ(平山) II-505	日本語教授法 AB合同(長野) II-502	玉川教育-音楽・体育 AB合同(迫・永井) II-402
4	日本語学III Aのみ(上原) II-502	日本語教授法 AB合同(長野) II-306	授業演習-中等部 AB合同(菅) II-502	日本語学III Bのみ(上原) II-306	授業演習-幼稚部 AB合同(高橋) II-308

・講師:

長野正	玉川大学文学部講師	(日本語教授法)
平山忠義	玉川学園女子短期大学教授	(日本語学I)
片山明	玉川大学文学部助教授	(日本語学II)
上原輝男	玉川大学文学部教授	(日本語学III)
金平正	玉川大学文学部助教授	(日本語生活研究)
瀬山健一	玉川大学文学部教授	(日本事情)
高橋靖	玉川学園幼稚部長	(授業演習-幼稚部)
長野正	玉川大学文学部講師(兼)	(授業演習-小学部)
菅吉信	玉川学園中学部教諭	(日本語教育概論)
正善達三	玉川大学文学部非常勤講師	(日本語教育概論)
大竹信子	玉川大学文学部助教授	(言語学習心理学)
石橋哲成	玉川大学文学部助教授	(玉川教育-概論)
迫新一郎	玉川大学文学部助教授	(玉川教育-音楽)
永井三千昭	玉川学園女子短期大学教授	(玉川教育-体育)

以上13名、順不同。

・授業日程：

9/30 : オリエンテーション (13:30 ~15:30) (文学部第2校舎 306号)

月日(曜)	9:00	10:40	13:00	14:40	(各90分)
	1限	2限	3限	4限	
10 1 (水)	---	金平 AB	平山 B	菅 AB	菅 AB
2 (木)	正善 AB	片山 A	長野 AB	上原 B	上原 B
3 (金)	石橋 AB	長野 AB	迫 AB	高橋 AB	高橋 AB
6 (月)	大竹 AB	金平 AB	瀬山 B	上原 A	上原 A
7 (火)	---	片山 B	平山 A	長野 AB	長野 AB
8 (水)	瀬山 A	金平 AB	平山 B	菅 AB	菅 AB
9 (木)	正善 AB	片山 A	長野 AB	上原 B	上原 B
13 (月)	大竹 AB	金平 AB	瀬山 B	上原 A	上原 A
14 (火)	---	片山 B	平山 A	長野 AB	長野 AB
15 (水)	瀬山 A	金平 AB	平山 B	菅 AB	菅 AB
16 (木)	正善 AB	片山 A	長野 AB	上原 B	上原 B
17 (金)	石橋 AB	長野 AB	永井 AB	高橋 AB	高橋 AB
20 (月)	大竹 AB	金平 AB	瀬山 B	上原 A	上原 A
21 (火)	---	片山 B	平山 A	長野 AB	長野 AB
22 (水)	瀬山 A	金平 AB	平山 B	菅 AB	菅 AB
23 (木)	正善 AB	片山 A	長野 AB	上原 B	上原 B
24 (金)	石橋 AB	長野 AB	迫 AB	高橋 AB	高橋 AB
27 (月)	大竹 AB	金平 AB	瀬山 B	上原 A	上原 A
28 (火)	---	片山 B	平山 A	長野 AB	長野 AB
29 (水)	瀬山 A	金平 AB	平山 B	菅 AB	菅 AB
11 5 (水)	瀬山 A	金平 AB	平山 B	菅 AB	菅 AB
6 (木)	正善 AB	片山 A	長野 AB	上原 B	上原 B
7 (金)	石橋 AB	長野 AB	永井 AB	高橋 AB	高橋 AB
10 (月)	大竹 AB	金平 AB	瀬山 B	上原 A	上原 A
11 (火)	---	片山 B	平山 A	長野 AB	長野 AB
12 (水)	瀬山 A	金平 AB	平山 B	菅 AB	菅 AB
13 (木)	正善 AB	片山 A	長野 AB	上原 B	上原 B
14 (金)	石橋 AB	長野 AB	永井 AB	高橋 AB	高橋 AB
17 (月)	大竹 AB	金平 AB	瀬山 B	上原 A	上原 A
18 (火)	---	片山 B	平山 A	長野 AB	長野 AB
19 (水)	瀬山 A	金平 AB	平山 B	菅 AB	菅 AB
20 (木)	正善 AB	片山 A	長野 AB	上原 B	上原 B
21 (金)	石橋 AB	長野 AB	永井 AB	高橋 AB	高橋 AB
25 (火)	---	片山 B	平山 A	長野 AB	長野 AB
26 (水)	調整 枠	調整 枠	調整 枠	調整 枠	調整 枠
27 (木)	調整 枠	調整 枠	調整 枠	調整 枠	調整 枠
28 (金)	石橋 AB	長野 AB		上原 B	上原 B

11 28 : 修了式 (13:30~14:30)

昭和61年度日本語教師Bコース研修日程

月日	9:30	午前 の部	12:30	昼食	13:30	午後 の部	16:30	16:40	17:20	夕食	19:00	21:00	備考
1/12	月	文法	(政田 寛子)		聴解	(酒入 郁子)		体育					註 土曜日の自己研修は講師の都合により休校になる場合の調整料とする。 註 2月4日の講義は港区西麻布・国際日本語普及協会で 行なう。
13	火	玉川大学			同	左							
14	水	教授法	(政田 寛子)		"	(同 左)		体育					
15	木												
16	金	視聴覚教育	(青木 直子)		教材研究	(土井 真美)		体育					
17	土	自己研修											
18	日												
19	月	聴解	(長田みづえ)		同	左 (酒入 郁子)		体育					
20	火	玉川大学			"								
21	水	教授法	(政田 寛子)		"	(同 左)		体育					
22	木	自己研修			"								
23	金	講義	(永保 君恵)		教材研究	(土井 真美)		体育					
24	土	自己研修											
25	日												
26	月	読書	(古沢 典子)		聴解	(酒入 郁子)		体育					
27	火	玉川大学			同	左							
28	水	教授法	(政田 寛子)		"	(同 左)		体育			お茶		
29	木	自己研修			"						生花		

30	金	講 義 (永保 君憲)		教材研究 (土井 真美)	体 育		
31	土	自 己 研 修					
2/1	日						
2	月	文 法 (政田 寛子)		講 義 (古沢 典子)	体 育		
3	火	玉川大学		同 左			
4	水	教 授 法 (政田 寛子)		副教材の使い方 (宮崎 茂子)		お 茶	

月日	曜	9:30	午前の部 12:30	昼食	13:30	午後の部 16:30	16:40 17:20	夕食	19:00 21:00	備考
2/5	木	自己研修			同	左			生花	
6	金	講読(永保君恵)			教材研究(土井真美)		体育			
7	土	自己研修								
8	日									
9	月	レクリエーション(石井和生)			幼児教育(白鳥幸子)		体育			
10	火	越後潟沢方面研修			旅行					
11	水		"							
12	木		"							
13	金	講読(永保君恵)			教材研究(土井真美)		体育			
14	土	自己研修								
15	日									
16	月	表記(田中成子)			幼児教育(白鳥幸子)		体育			
17	火	玉川大学			同	左				
18	水	教授法(政田寛子)			文字の教え方(山本紀美子)		体育		お茶	
19	木	自己研修			"				生花	
20	金	講読(永保君恵)			教材研究(土井真美)		体育			
21	土	自己研修								
22	日									

23	月	幼児教育 (正善多壽子)	同	定 (同左)	体 育		
24	火	玉川大学	"				
25	水	教授法 (政田 寛子)	子どものための教習 (歴代 瑛子)	体 育		お 茶	
26	木	自己研修	同 左			生 花	
27	金	鑑賞・意味 (石井 智子)	教材研究 (土井 真美)	体 育			註 3/11(水)お茶
28	土	自己研修					3/12(木)お花

昭和61年度日本語教師Bコース第4期研修日程

月日	曜日	研修事項	研修実施場所	備考	月日	曜日	研修事項	研修実施場所	備考
3/1	日				17	火	レポート等作成	センター	
2	月	地方文化視察旅行	高松		18	水	伊豆方面研修旅行	修善寺	
3	火	"	松山		19	木	"	下田	
4	水	"	広島		20	金	"		
5	木	"			21	土			
6	金	自己研修	センター		22	日			
7	土	"	"		23	月	レポート等作成	センター	
8	日				24	火	"	"	
9	月	東芝科学館	川崎		25	水	"	"	
10	火	美術館・博物館	都内		26	木	"	"	
11	水	研修総括報告書作成	センター	19:00 ~ 21:00 お茶	27	金	研修成果発表会・修了式	"	16:00発表会17:30 修了式18:00懇親会
12	木	"	"	"	28	土	帰国準備		
13	金	"	"		29	日	帰国		13:00センター出発 18:00成田発
14	土	"	"		30	月			
15	日				31	火			
16	月	自己研修発表会	センター	土井・白鳥両講師出席					

昭和61年度現地日本語教師本邦研修生名簿(3ヶ月コース)

	氏名	推せん事務所	地区	年齢	性別	国籍	出身地	学歴	所属先
1	西 啓 立 美 子	レ シ フ エ	バ イ ヤ 州	46	女	日 本	福 島	有 識 学 校 卒	ジュゼリーノクビチエック日伯日本語学校
2	緒 希 本 メ	レ シ フ エ	ア マ ノ ネ ス 州	51	女	日 本	青 森	中 卒	マナウス日語学校
3	新 井 躰 子	レ シ フ エ	バ ラ ー 州	49	女	ブ ラ ジ ル	北 海 道	高 卒	トメアスブレウ分校
4	菅 由 好 江 子	リ シ フ オ	ミ ナ ス ジ ュ ラ イ ス 州	49	女	日 本	東 京	高 卒	ミスナ日伯文化協会教育部日語学校
5	藤 井 由 美 子	リ シ フ オ	エ ス ビ リ ッ ト サ ン ト 州	43	女	日 本	佐 賀	高 卒	ザイトリア日系協会日語学校
6	半 由 紀 子	サ シ フ ロ	サ ン ・ パ ウ ロ 州	33	女	ブ ラ ジ ル	静 岡	大 卒	学習館
7	菅 崎 高 子	サ シ フ ロ	サ ン ・ パ ウ ロ 州	45	女	日 本	大 阪	高 卒	宮崎高子日本語学校
8	上 村 マ ス 子	サ シ フ ロ	バ ラ ナ 州	48	女	ブ ラ ジ ル	長 崎	中 卒	アシスシャトープリアン市日本語学校
9	水 澤 京 子	サ シ フ ロ	サ ン ・ パ ウ ロ 州	48	女	日 本	長 野	高 卒	サウデ日語学校
10	塚 由 美 子	ア ル ゼ ン テ イ ン	ア ル バ タ カ ル	50	女	日 本	福 島	短 大 卒	メルロ日語学校
11	岩 白 オ ラ シ オ	ア ル ゼ ン テ イ ン	ブ エ ノ ス ・ ア イ レ ス	51	男	日 本 (二重国籍)	沖 縄	高 中 退	ウルキーサ日語学校
12	藤 山 藤 寛 巽	バ ラ グ ア イ	ア ス シ オ ン	37	男	日 本	東 京	大 卒	アスンシオン日本人会日本語学校
13	中 古 味 馨 寛	バ ラ グ ア イ	イ タ ブ ア 県	39	男	日 本	高 知	中 卒	ピラゴ第一日本語小学校
14	松 岸 馨 江 子	ボ リ ザ イ ア	サ ン タ ・ ク ル ス 州	46	女	日 本	長 崎	保 育 専 修 校	ヌエバエスベランサ小中学校
15	久 保 啓 信 浩	カ ナ ダ	プ リ テ イ シ ュ コ ロ ン ビ ア 州	37	男	カ ナ ダ	広 島	工 業 高 卒	バーナビー日本語学校

昭和61年度現地日本語教師本邦研修生名簿（1年コース）

氏名	推せん事務所	地区	年齢	性別	国籍	出身地	学歴	所属先
1 麻間 香	サンパウロ	ピリチーバミリン市	23	女	ブラジル	鹿児島	大中退	ピリチーバミリン日本語学校教師
2 伊原 真由美	サン・パウロ	サン・パウロ市	23	女	ブラジル		大卒	日文連日語教師
3 松原 美穂	サン・パウロ	サン・パウロ市	23	女	ブラジル	宮崎	大卒	日文連日語教師
4 榎 ソフィア	サン・パウロ	ポルト・アレグレ市	24	女	ブラジル	熊本	大卒	アニブラ日語教師
5 黛 恵	サン・パウロ	サン・パウロ市	31	女	ブラジル		大卒	市立中学教師
6 立山 小百合	サン・パウロ	サン・パウロ市	22	女	ブラジル	東京	大卒	幼稚園日語部教師
7 井 蘭	レシフ	バイア州	21	女	ブラジル	愛媛	専卒	南米銀行サルパドール支店（日語学校補助）
8 熊谷 智	バラダグ	エンカルナシオン市	22	女	ブラジル	福岡	大卒	エンカルナシオン日語学校助手
9 辻 羅	アルゼンティン	ボサーダス市	21	女	アルゼンティン	神奈川	大中退	ボサーダス日語学校教師
10 中津海 マルタクリスティーナ	アルゼンティン	ブエノス・アイレス州	27	女	アルゼンティン	熊本	専卒	モロン市日語学校教師
11 山 くらー	ペル	リマ市	25	女	ブラジル	熊本	大卒	いちご文化協会日語学校教師

昭和60年度現地日本語教師本邦研修生名簿(3ヶ月コース)

氏名	推せん支部	地区	年齢	性別	国籍	出身地	学歴	所属学校	校名
山根 縁	ベレ	パラ州トメアス郡	45	女	日	山口	短大卒	第二トメアス日本語学校	
純 由 ますみ	"	パラ州イガラツベアス郡	35	女	日	青森	高卒	イガラツベアスー日本語学校	
竹 村 美代子	フエ	バイ州イツベラ郡	42	女	日	東京	大卒	イツベラ日本語学校	
三 阪 尚子	リオ・デ・ジヤネイロ	ミナス・ジエイラス州イパチカ市	42	女	日	広島	高卒	イパチカ日本語学校	
河 埜 弘子	サンパウロ	サンパウロ市	45	女	日	東京	高卒	ピラマリア日本語学校	
佐 藤 吉弘	"	"	47	男	日	北海道	高卒	ジャグラーひまわり学園	
佐 藤 三 翁 くらら	"	パラナ州クリチーバ市	35	女	ブラジル		大卒	クリチーバ日伯文化看護協会日本語講座	
菅 野 初 江	ポルト・アレグレ	リオグランデドスル州カシヨエラドスル市	48	女	日	北海道	中卒	カシヨエラドスル日本語学校	
花 蘭 卓 慧 藤	アスンシオン	アマゾンバイイ県	46	女	日	高知	中卒	アマゾンバイイ日本語学校	
弥 鼓 悠 裕	"	イタプア県	40	男	日	山口	高中退	ラパス日本語学校	
木 由 美 和 子	ブエノス・アイレス	ブエノス・アイレス市	45	女	日	熊本	短大卒	アカスーソ日本語学校	
志 賀 美 穂 代 子	サンタ・クルス	サンタ・クルス市	43	女	日	高知	高中退	サンタクルス日本語学校	
川 柳 隆 富 士 子	サントドミンゴ	ラベール県	49	女	日	熊本	中卒	ラベール日本語学校分校	
柴 由 富 順 美 枝	ポルト	パルジエ	54	女	日	愛知	高卒	コロンビア日系人協会付属日本語学校ひかり園	
一 木 順 美 枝	トルグアイ大使館	オンタリオ州ウイロデイルモントン	43	女	日	青森	高卒	トロント国語教室日本語学校	
山 由 美 枝	ウルグアイ大使館	モンテビデオ市	57	女	日	兵庫	専門卒	ウルグアイ日本人会付属日本語学校	

昭和60年度現地日本語教師本邦研修生名簿（1年コース） Bコース

氏名	推せん支部	地区	年齢	性別	国籍	籍地	出身地	学歴	
1 上 由 意 美	サン・パウロ	サン・パウロ	22	女	ブラジル	ル	長崎	大卒	松伯学園、大志万語学協同学院
2 糸 仁 子 マルガレツテ	"	"	23	女	ブラジル	ル	福岡	大卒	マハーヤーナ学園
3 粉 川 華 枝 イザウラ	"	ロンドン	23	女	ブラジル	ル	茨城	大卒	ロンドンリーナ州立総合大学語学研究課
4 菅 野 吾 吾 子 テレーザ	"	サン・パウロ	23	女	ブラジル	ル	福島	大卒	イタマラチー学園
5 玉 白 ル シ ア ア め く み	"	アトルジャ	27	女	ブラジル	ル	宮城	大卒	アニヤンゲラーラ日本語教室
6 錦 南 ジ ル ダ	"	サン・パウロ	24	女	ブラジル	ル	宮崎	大卒	日伯文化連盟
7 池 由 グ ロ リ ア	マリ	マリ	31	女	ペル	ル	栃木	高卒	ラユニオン総合学校
8 杉 山 ノ ル マ ク リ ス テ ィ ー ナ	ブエノス・アイレス	ブエノス・アイレス	31	女	アルゼンティン	ン	青森	大卒	ブエノス・アイレス日語学院
9 井 内 典 子	ベレ	パトラ	24	女	ブラジル	ル	北海道	大卒	サントアントニオ日語学校
10 矢 口 真 理 子	トロント	トロント	23	女	カナ	ダ	神奈川県	大卒	トロント大学東洋学科日本語日本文学専攻

昭和59年度現地日本語教師本邦研修生一覽

◎印：研修期間6カ月

推せん支部	地 区	氏 名	性別	年 令	国 籍	出 身 地	学 歴	経 験 年 数	所 属 学 校 名
ベレ	ン	藤野 章	男	37	日 本	東 京	高 卒	4	ロシア語日本語学校
ベレ	ン	◎小山 拓枝	女	39	ブラジル	富 城	大 卒	2	汎アムゾンニア日伯協会日本語講座教室
レ	エ	大矢 百々代	女	36	日 本	福 岡		7	ポスト・デ・マンタ日本語学校
リオ・デ・ジャネイロ	サンコタルド	江上 職生	男	46	日 本	秋 田	大 卒	6	サンコタルド日本語学校
サン・パウロ	レジストロ	馬場 康二	男	45	日 本	東 京	大 卒	12	レジストロ日本語校
	カンピナース	坂野 恵美子	女	45	日 本	東 京	高 卒	10	カンピナース日本語学校
	クリチーバ	大山 多恵子	女	47	ブラジル	愛 知	短大 卒	1	クリチーバ日伯文化振興協会日本語講座
	サン・パウロ	◎物部アレイザ代子	女	25	ブラジル	福 岡	大 卒	4	サン・パウロ日伯文化連盟
	サンベルナルド	◎中原 マリア	女	38	ブラジル	山 口	大 卒	2	サンベルナルド日本語学校
ポルト・アレグレ	ポルト・アレグレ	宇都 武仁	男	49	日 本	鹿児島	大 卒	3	ポルト・アレグレ日本語教室
アスンシオン	イグアス	佐藤 邦夫	男	33	日 本	福 岡	大 卒	4	イグアス日本語学校
	アルトパラナ	四方 都	女	42	日 本	愛 知	大 卒	4	富美村小学校
アエノス・アイレス	ガルアペー	脇田 信子	女	34	日 本	大 阪	短大 中退	10	ガルアペー日本語学校 {アルトパラナ日本語学校
	エル・タラル	◎高市 春子	女	29	アルゼンティン	愛 媛	短大 卒	6	ノルテ日本語学校
サンタ・クルス	サンタ・クルス	近藤 幸男	男	58	日 本	高 知	中 卒	6	サンタ・クルス日本語学校

推せん支部	地 区	氏 名	性別	年令	國 籍	出身地	学歴	経験年数	所 属 学 校 名
セント・ドミニゴン	コンスタンス	西尾 藤子	女	42	日 本	福 島	中・中退	7	ドミニカ日本語学校コンスタンス分校
マ	マ	具志堅 美智子	女	41	ル ー		高 卒	9	ラ・ビクトリア学校
	マ	⑧ 太 田 みどり	女	24	ル ー	沖 縄	大 在		日秘文化会館
ボ	カ	筒井 菊代	女	46	日 本	高 知	短大卒	15	日本語学校ひかり園
ト	ト	鈴木 美知子	女	46	日 本	東 京	高 卒	5	トロント国語教室日本語学校

昭和58年度現地日本語教師本邦研修生一覽

支	部	地	区	氏名	性別	年齢	国籍	出身地	学歴	経歴 年数	学校名
リオ・デ・ジャネイロ		ニテロイ	イ	富永由美子	女	40	日	熊本	高卒	8	ニテロイ日本語学校
ベレ	ン	マナウ	ス	木場克子	女	42	ブラジル	青森	高卒	4	エフゼニオ・サールス日本語学校
		トメア	ス	榎末子	女	44	日	岐阜	中卒	4	トメアスー日本語学校
サン・パウロ	ロ	ドウラ	ードス	城田志津子	女	46	日	北海道	高卒	13	共栄日本語学校
		サンミゲール・アルカンジ	ョ	石川勤	男	49	日	福島	高卒	7	サンミゲール・アルカンジ日本語学校
レシフ	エ	テイシェラ・ダ・フレイタス		羽広妙子	女	39	ブラジル	愛知	中卒	5	テイシエラ日本語学校
アエノス・アイレス		モロ	ン	貝原嗣子	女	48	アルゼンチン	岡山	高卒	25	西部日本語学校
		フロレンシオ・パレーラ		佐藤富美	女	46	日	三重	大卒	4	フロレンシオ・パレーラ日本語学校
アスンシオン		アスンシオン		山真美子	女	26	日	鹿児島	大卒	3	パラグアイ三育学院
		エンカルナシオン		小田俊春	男	41	日	広島	中・中退	4	エンカルナシオン日本語学校
サンタ・クルス		サンフア	ン	二階堂慈子	女	46	日	北海道		16	サンフア日本語校
サント・ドミンゴ	ゴ	サント・ドミンゴ		小松和恵	女	25	ドミニカ	高知	大在	5	サント・ドミンゴ日本語学校
リ	マ	リ	マ	村上みさお	女	48	ペル	岡山	中卒	4	ラ・ウニオン総合学校
		リ	マ	東恩納弘美	女	27	日	沖縄	中卒	1	ペルー中央日本人会文化部日本語講習会

昭和57年度現地日本語教師本邦研修生一覧

支	郡	地	区	氏	名	性別	年令	国	籍	出身地	学歴	送験 年数	学	校	名
リオ・デ・ジャネイロ		カンボ・グランデ		堀	桐子	女	40	日	本	福島	高卒	3	カンボ・グランデ	日本語学校	
ベ	ン	トメアス		松	崎紀太郎	男	43	ブラジル		福島	高中退	3	トメアス	日本語学校	
サン・パウロ		カストロ		小	林一世	男	51	日	本	東京	大中退	7	カストロ	奨学会	
		サント・アンドレ		宮	田素子	女	47	日	本	愛媛	高卒	11	旭	日本語学校	
ボルト・アレグレ		ボルト・アレグレ		児	玉芳子	女	53	日	本	鹿児島	大中退	4	ボルト・アレグレ	日本語教室	
アエノス・アイレス		コルドバ		今	井瑩都子	女	50	日	本	富崎	高卒	15	コルドバ	日本語学園	
アスンシオン		アラム		小	倉正義	男	47	日	本	徳島	中卒	6	サンタローサ	日本語学校	
サンタ・クルス		オキナワ		大	熊豊子	女	42	日	本	埼玉	高卒	4	沖縄	第一学校	
サント・ドミンゴ		コンスタンサ		神	前和子	女	36	日	本	鹿児島	小中退	5	コンスタンサ	日本語学校	
リ	マ	マダグレ		棚	原恵子	女	28	日	本	沖縄	大卒	7	ラ・ウニオン	総合学校	

昭和56年度現地日本語教師本邦研修生一覧

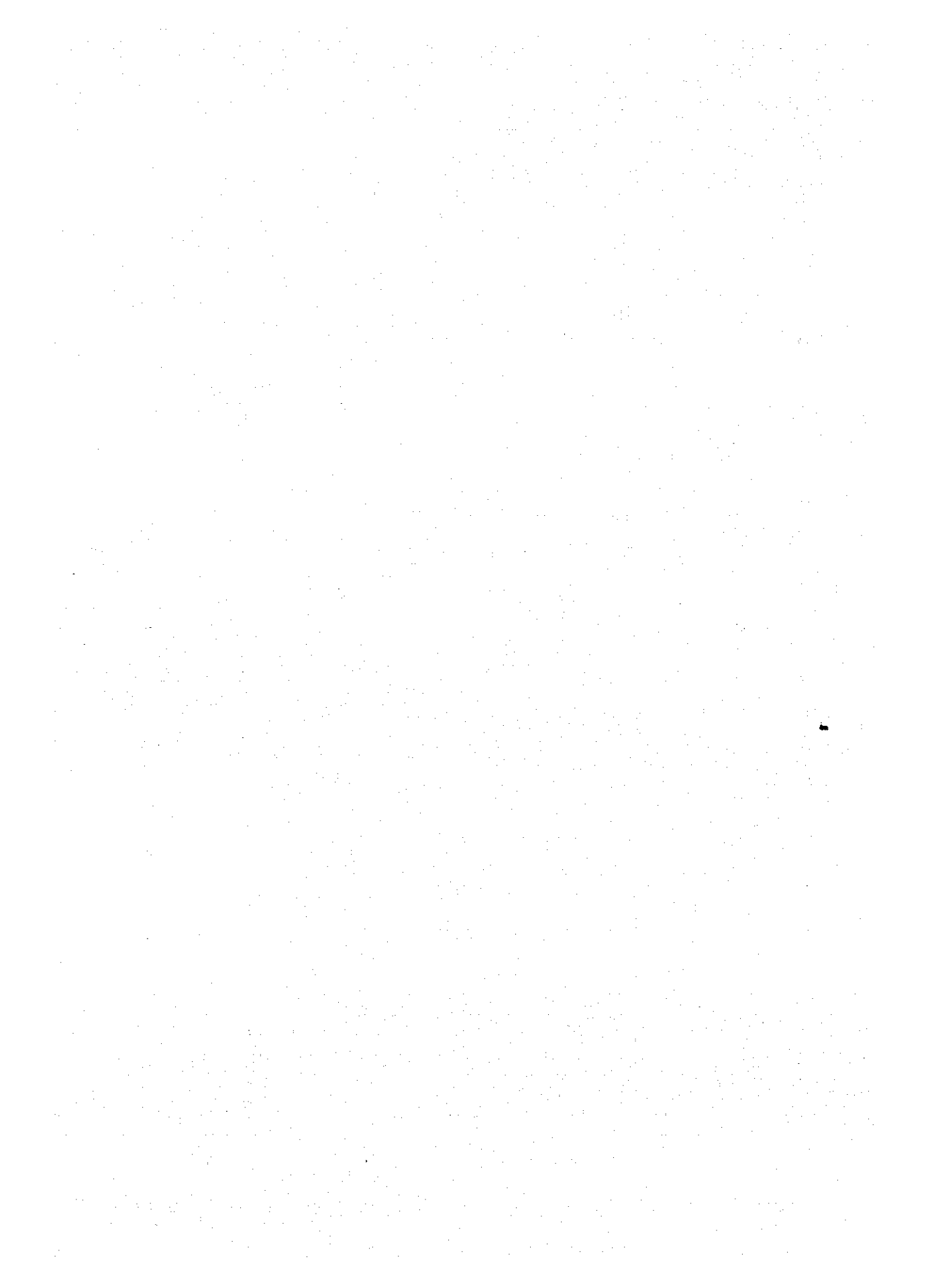
支 部	氏 名	性	年 令	國 籍	出身 県	最 終 学 歴	学 校 名	学 校 所 在 地	経 験 年 数	備 考
サン・パコロ	酒井 政広	男	48才	日 本	東 京	高 卒	ロンドリーナ文化体育協会	パラナ州 ロンドリーナ市	22年	団 長
	木内 務	男	41才	日 本	静 岡	高 校 中 退	イビクワン日本語学校	サンパウロ州 イビクワン市	11年	
ベレレーン	佐々木 邦子	女	36才	日 本	兵 庫	看護婦養成所 卒	イガラッペス日本語学校	パラナ州 イガラッペス郡	3年	副団長
	大西 保子	女	44才	日 本	香 川	高 卒	トメアス文化協会日本語学校	パラトメアス郡	3年	
レシーフェ	西山 喜多雄	男	56才	日 本	愛 媛	尋常小学校卒	クビチエック日本語学校	バイヤ州 マッタ・ヂ・サンジョアン郡	12年	
サンタ・クルス	笹本 久美子	女	21才	日 本 ポリグリア	東 京	高 卒	サンファン日本語学校	サンタ・クルス州 サンファン	4年	2 世
アスンソン	樽木 寿	男	59才	日 本	福 岡	農 学 校 卒	アコンバイ日本人会	パラグアイ州 アマンバイ県	20年	
サント・ドミンゴ	矢内 愛子	女	41才	日 本	福 島	高 卒	ドミニカ日本語学校	ドミニカ国 ラベール州	11年	
アルゼンティン	塚田 弼	男	54才	日 本	長 野	農 学 校 卒	西部日本語学校	アルゼンティン国 フエノス・アイレス州	15年	
リマ	森川 早苗	女	37才	ベ ルー	広 島	女子専門学校卒	ワラル日本人学校	ペルー国 リマ 県	3年	

昭和55年度現地日本語教師本邦研修生一覧

支	部	地	区	氏	名	年	齢	年	校	名	生	徒	数	渡	航	年	本	籍	地
ベ	レ	ラ	ン	古	和	田	道	弘	5	サンタ・イザベル 日伯文化協会	92名	1972年	京都府綾部市五津合町前56番地						
		ベ	ラ	小	荒	子	川	力	8	ベラビスタ植民地自治 会アサヒ日本語学校	56名	1953年	宮城県遠田郡西郷町二郷字才兵 工沖名						
リ	オ	デ	・	加	藤	英	子	57	13	フンションール日本語校	48名	1961年	長崎県諫早市高城町734番地						
				山	本	豊		38	8	アクトハク日本語学校	131名	1960年	兵庫県水上郡春日町野山15						
サ	ン	・	バ	森	徳	子	41	3	3	ラモース日本語学校	48名	1967年	三重県桑名市和泉904						
				岸	本	久	子	54	9	両部メンドサ日本語学校	25名	1963年	大阪市浪速区塩草町1134						
ポ	ル	ト	・	水	見	悦	子	40	4	ピラポ中央日語小学校	53名	1960年	高知県高岡郡越知町横島226						
				鍋	山	絏	一	39	2	アスンシオン日本語学校	82名	1976年	東京都立川市羽衣町2-28-6						
ア	ス	ン	・	儀	間	弘	治	40	9	オキナワ第1日語校	101名	1958年	沖縄県中頭郡読谷村字名渡						
				深	浦	晴	子	49	15	サンフアン日語学校	207名	1961年	長崎県長崎市東立神町74						

昭和54年度現地日本語教師本邦研修生一覽

支 部 名	教 師 名	学 校 名	生徒数	経営形態	授業時間	備 考
ベレレーン支部	上田 和子	サンタイザベル日本語学校	88名	日本人会の中 の教育委員会	週 3~5hr 年 200hr	日本語のみ
レシーフェ支部	西本 フミ	クナ稲民地日本語学校	25名	個 人	週 3hr 年 200hr	日本語のみ
サン・パウロ支部	森 脇 礼之	カン・エリンニャだるま塾	65名	個人 日本人会後援	週 33hr 年 320hr	日本語、音楽、体育、図工
	渡 辺 次 雄	アラサツパーバ日本語学校	348名	日本人会経営	週 7.5hr 年 300hr	日本語、絵画、音楽
サント・ドミンゴ支部	上 原 邑 子	ドミニカ日本語学校	38名	個 人	週 7hr 年 367hr	日本語
リマ 事務所	橋 田 久 子	ラ・ビクトリア小学校	389名	父母会経営	週 5hr 年 150hr	日本語
サンタ・クルス支部	高 野 美穂夫	サンフアン 日 語 校	188名	日本人会経営	週 10hr 年 320hr	日本語、数学、社会、情操教育
アスンシオン支部	野 本 武 生	サンタローサ日本語小学校	66名	日本人会経営	週 4hr 年 225hr	日本語、算数
フエノス・アイレス支部	石 川 宏 紀	ビジャ・エリサ日本語学校	24名	父母会経営	週 9hr 年 410hr	日本語、音楽、工作、絵画、体操
	古 川 鶴 雄	ノルチ日本語学校	66名	日本語クラブ	週 16hr 年 660hr	日本語



JICA